

第1部

就学前の子どもの保護者調査

1 子どもと家族の状況等

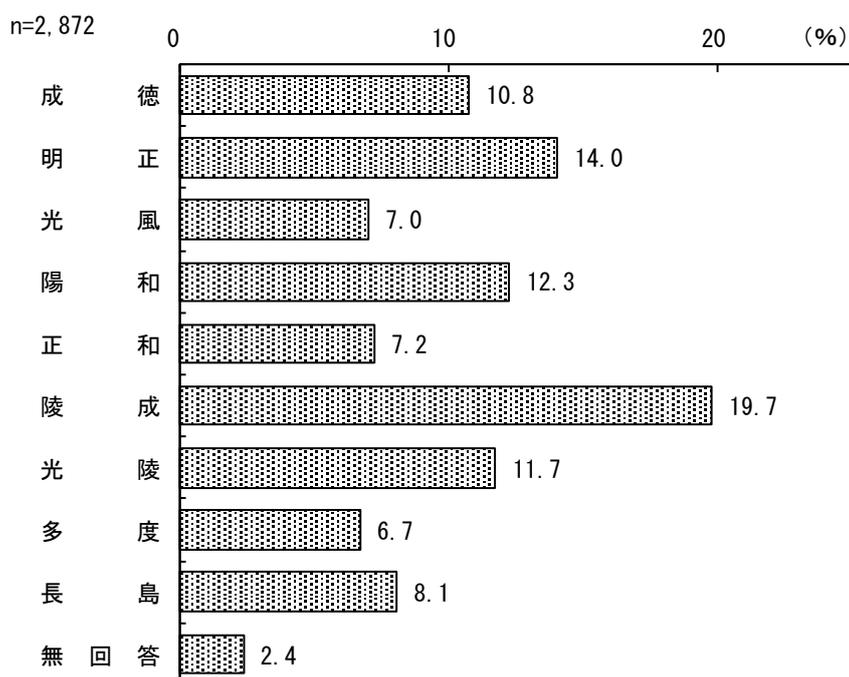
(1) 居住地区 [Q 1]

回答のあった子どもの居住地区は、図表1-1・2のとおりです。

図表1-1 居住地区〈小学校区〉

地区	日進	精義	立教	城東	益世	修徳	大成	桑部	在良	七和	久米	深谷	城南
人	112	73	51	15	166	129	231	81	156	107	101	34	174
%	3.9	2.5	1.8	0.5	5.8	4.5	8.0	2.8	5.4	3.7	3.5	1.2	6.1
地区	大和	大山田東	大山田北	大山田西	大山田南	藤が丘	星見ヶ丘	多度東	多度中	多度北	多度青葉	長島北部	長島中部
人	44	311	189	34	110	146	114	14	124	33	22	47	140
%	1.5	10.8	6.6	1.2	3.8	5.1	4.0	0.5	4.3	1.1	0.8	1.6	4.9
地区	伊曾島	無回答	全体										
人	45	69	2,872										
%	1.6	2.4	100.0										

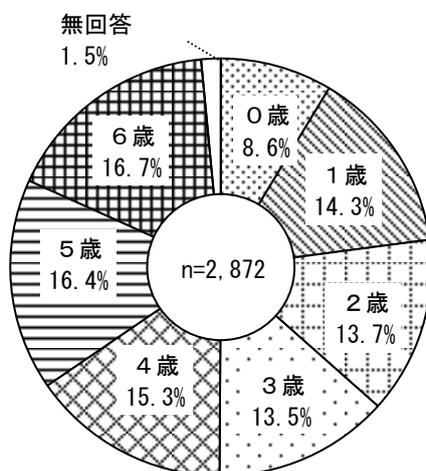
図表1-2 居住地区〈中学校ブロック〉



(2) 子どもの年齢 [Q 2]

回答のあった子どもの年齢は、図表 1 - 3 のとおりです。

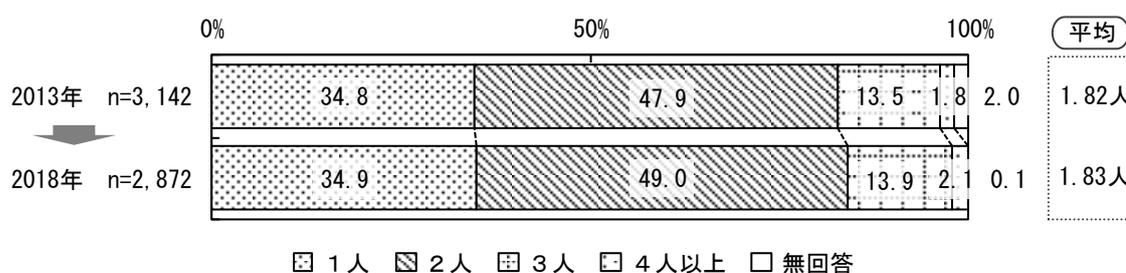
図表 1 - 3 子どもの年齢



(3) 子どもの人数 [Q 3]

子どもの人数は、「2人」が49.0%を占めており、「1人」「3人」「4人以上」の順となっています。子ども数の平均は1.83人です。

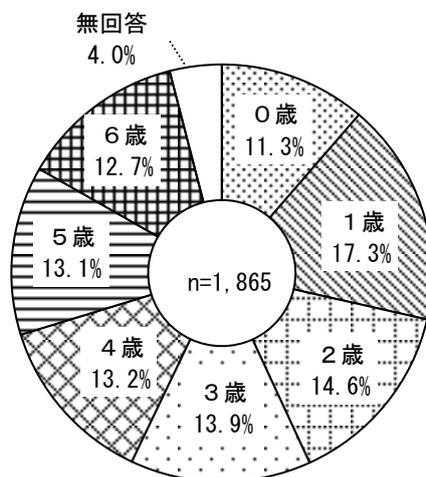
図表 1 - 4 子どもの人数



(4) 一番小さい子どもの年齢 [Q 4]

2人以上子どものいる保護者の一番小さい子どもの年齢は、「1歳」が17.3%と最も高くなっています。

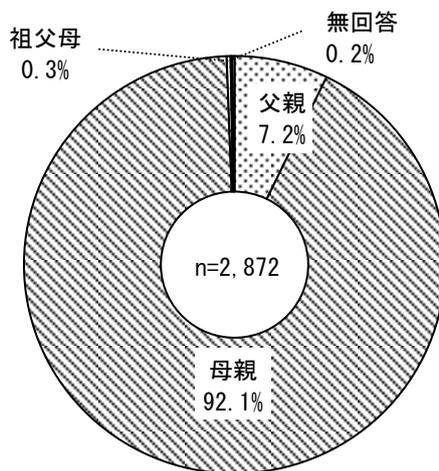
図表 1-5 一番小さい子どもの年齢



(5) 調査の回答者 [Q 5]

本調査の回答者は、「母親」が92.1%を占めています。

図表 1-6 調査の回答者

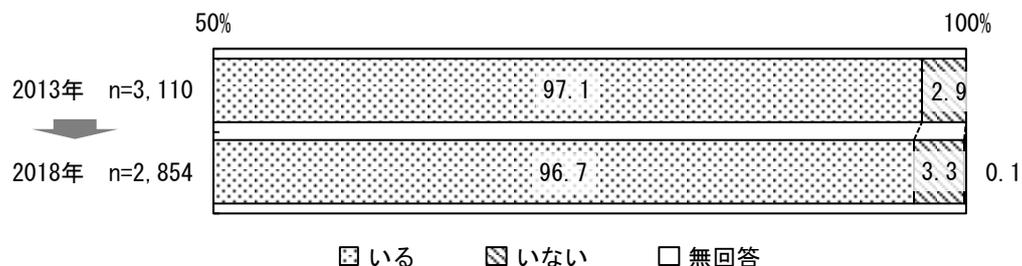


(6) 配偶関係 [Q 6]

回答者の配偶関係をたずねたところ、配偶者が「いる」が96.7%、「いない」が3.3%となっています。

2013年の調査結果との比較では、「いない」が0.4ポイント上昇しています。

図表 1-7 配偶関係

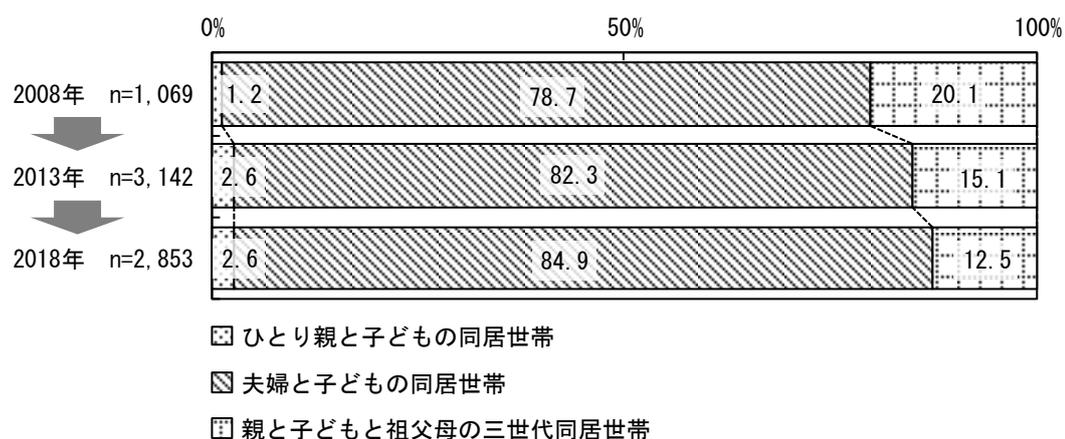


(7) 同居家族 (世帯構成) [Q 7]

同居者から世帯構成をみると、夫婦と子どもの同居世帯が84.9%と圧倒的に高く、親と子どもと祖父母の三世帯同居世帯が12.5%、ひとり親と子どもの同居世帯は2.6%です。

過去の調査結果との比較では、夫婦と子どもの同居世帯が上昇する一方、親と子どもと祖父母の三世帯同居世帯が低下しています。

図表 1-8 世帯構成



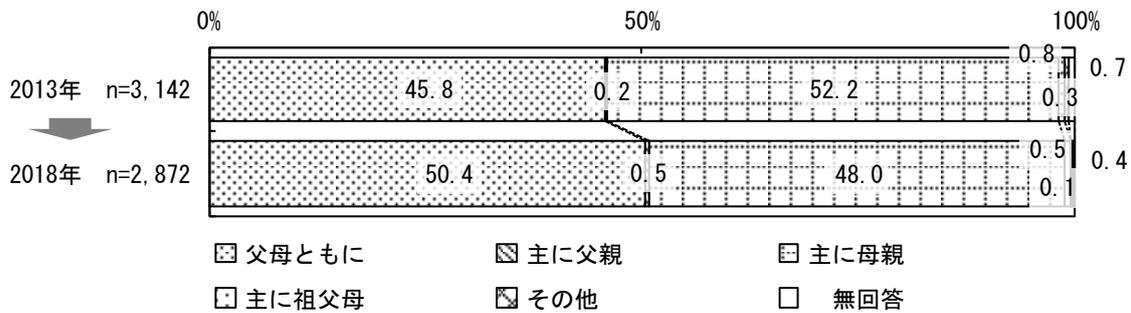
注：無回答等を除く

(8) 子育てを主に行っている人 [Q 8]

子育てを主に行っているのは、「父母ともに」が50.4%と最も高く、次いで「主に母親」が48.0%、「主に父親」及び「主に祖父母」は0.5%です。2013年の調査結果との比較では、「父母ともに」が4.6ポイント上昇しています。

「その他」として、「里母」の記載がありました。

図表 1-9 子育てを主に行っている人

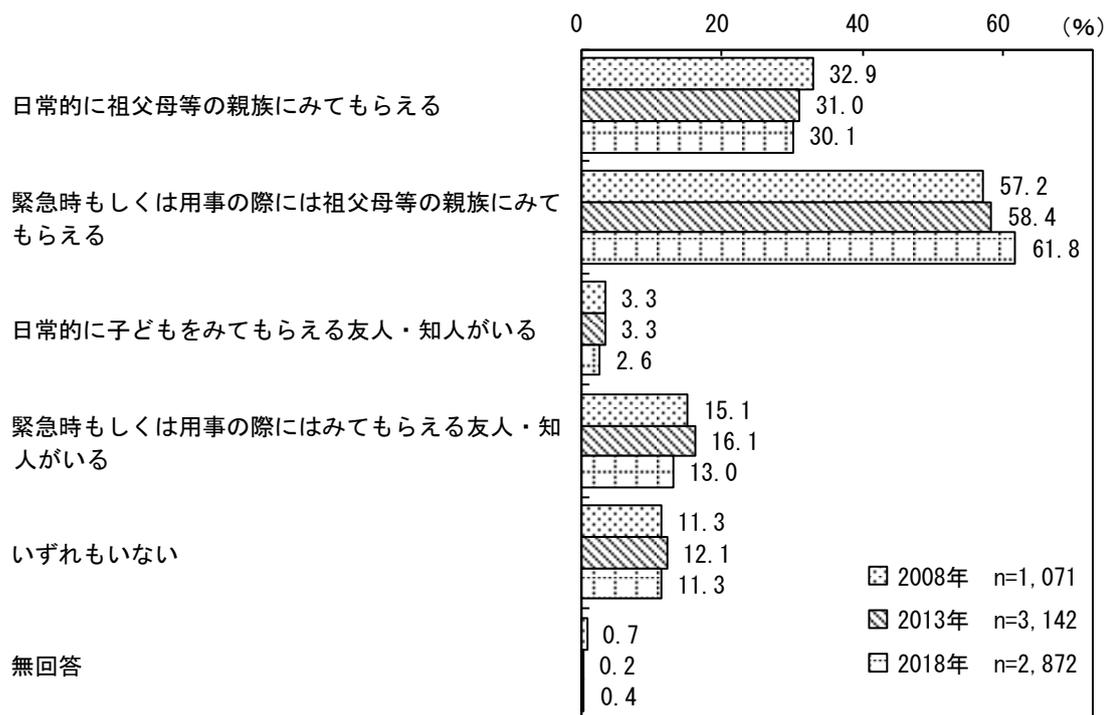


(9) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無 [Q 9]

子どもをみてもらえる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が61.8%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が30.1%、「緊急時もしくは用事の際にはみてもらえる友人・知人がいる」が13.0%となっています。

過去の調査結果との比較では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が上昇している反面、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が低下しています。

図表 1-10 子どもをみてもらえる親族・知人の有無 (複数回答)



2 保護者の就労状況

(1) 母親の就労状況

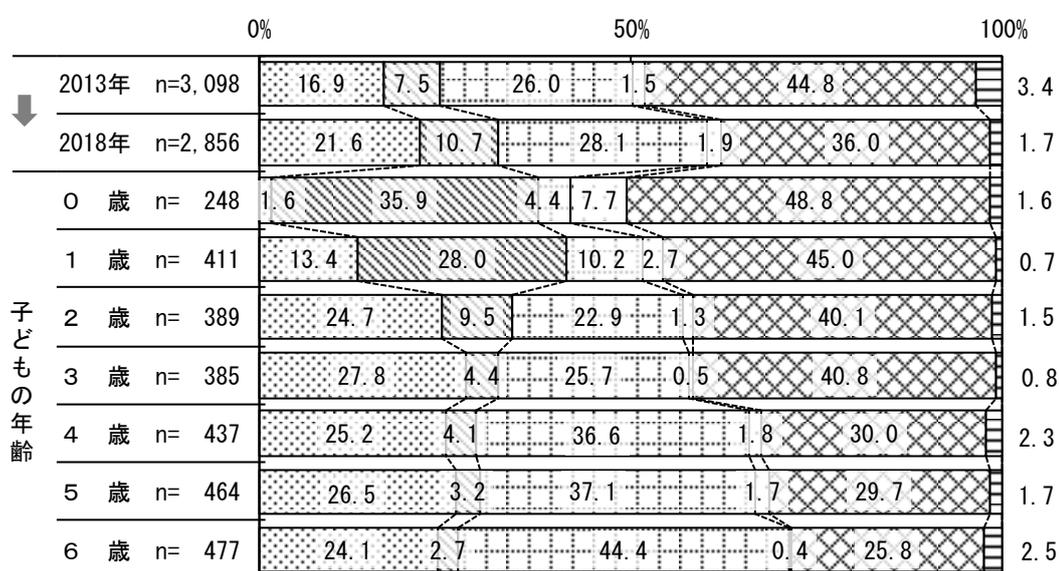
① 就労状況 [Q10]

母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が36.0%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等」が28.1%、「フルタイム」が21.6%です。

2013年の調査結果との比較では、「フルタイム」「パート・アルバイト等」など〈仕事をしている〉が上昇し、〈仕事をしていない〉が低下しています。

子どもの年齢別にみると、年齢が上がるにしたがい「パート・アルバイト等」が高くなる傾向にあり、6歳では44.4%となります。

図表 1-11 母親の就労状況



- ☐ フルタイム
- ▨ フルタイムで仕事をしているが、産休・育休・介護休業中
- ▤ パート・アルバイト等
- ▧ パート・アルバイト等で仕事をしているが、産休・育休・介護休業中
- ▩ 以前は仕事をしてきたが、現在は仕事をしていない
- これまでに仕事をしたことがない

② 平均就労日数 [Q10-1]

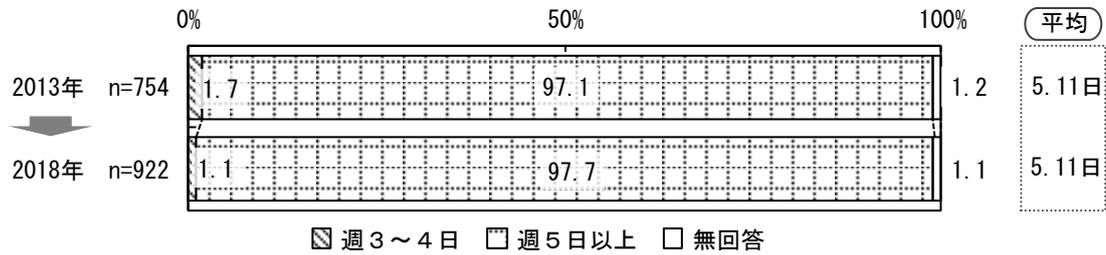
フルタイムの就労日数は、「週5日以上」が97.7%を占めています。

パート・アルバイト等の母親の就労日数は、「週3～4日」が48.8%と最も高く、次いで「週5日以上」が39.4%となっており、1週あたりの平均就労日数は3.99日です。

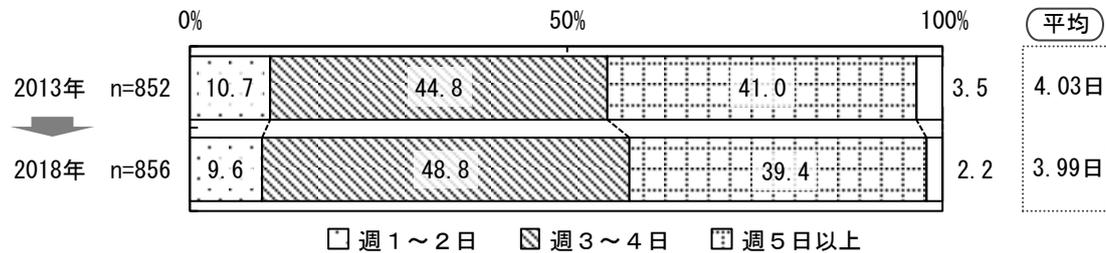
2013年の調査結果との比較では、フルタイムには大きな差異は見られませんが、パート・アルバイト等は「週5日以上」が低下する一方、「週3～4日」が上昇しており、平均も0.04日減少しています。

図表 1-12 母親の就労日数

<フルタイム>



<パート・アルバイト等>



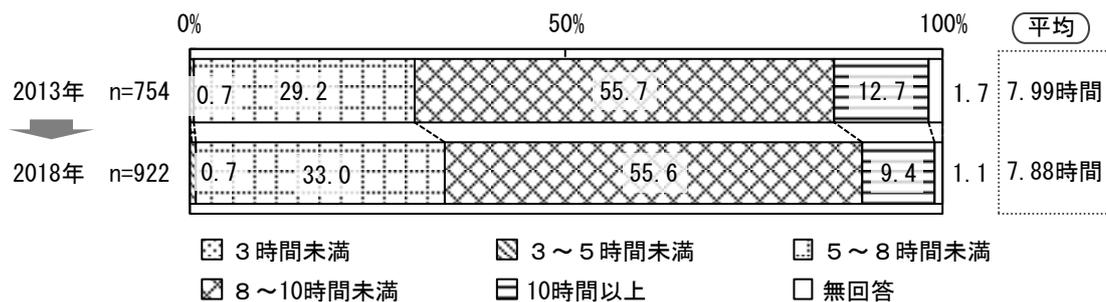
③ 就労時間 [Q10-1]

フルタイムの1日あたりの就労時間は、「8～10時間未満」が55.6%と最も高く、次いで「5～8時間未満」が33.0%、「10時間以上」が9.4%となっています。就労時間の平均は7.88時間です。2013年の調査結果との比較では、「10時間以上」が低下し、平均も0.11時間減少しています。

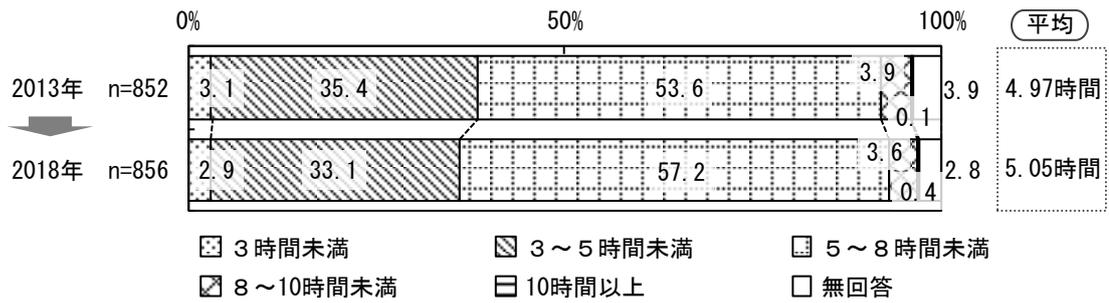
パート・アルバイト等の1日あたりの就労時間は、「5～8時間未満」が57.2%を占めており、次いで「3～5時間」が33.1%となっています。就労時間の平均は5.05時間となっています。2013年の調査結果との比較では、「5～8時間未満」が上昇する一方、「3～5時間」が低下しており、平均は0.08時間増加しています。

図表 1-13 母親の就労時間

<フルタイム>



<パート・アルバイト等>



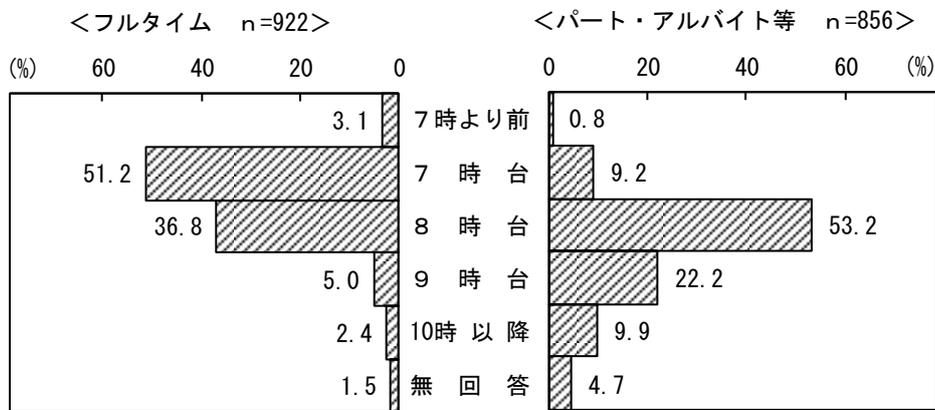
④ 家を出る時刻、帰宅時刻 [Q10-2]

母親が家を出る時刻をみると、フルタイムは、「7時台」が51.2%、「8時台」が36.8%、「7時より前」が3.1%となっており、これらを合計した91.1%が9時前に家を出ていることとなります。パート・アルバイト等は、「8時台」が53.2%と最も高く、次いで「9時台」が22.2%です。

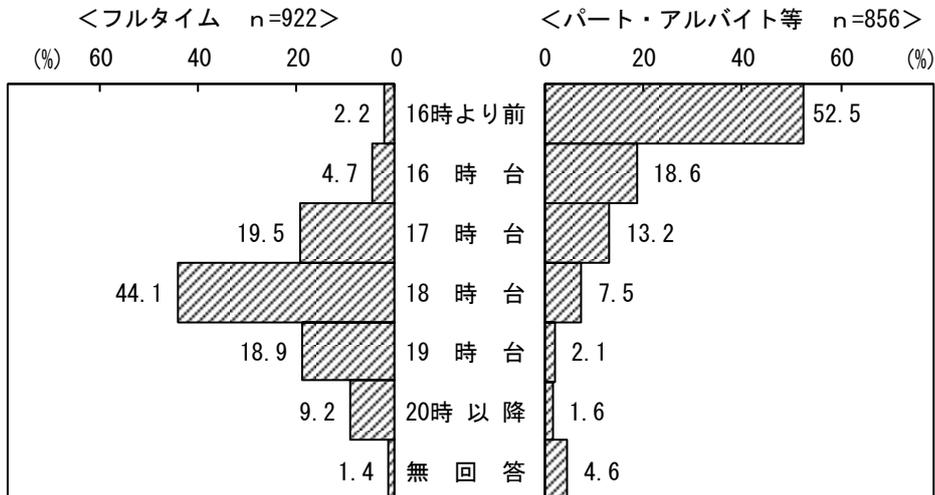
帰宅時刻は、フルタイムは「18時台」が44.1%と最も高く、次いで「17時台」が19.5%、「19時台」が18.9%となっています。パート・アルバイト等は、「16時より前」が52.5%を占め、18時までには80%以上が帰宅しています。

図表1-14 母親の家を出る時刻、帰宅時刻

■家を出る時刻



■帰宅時刻

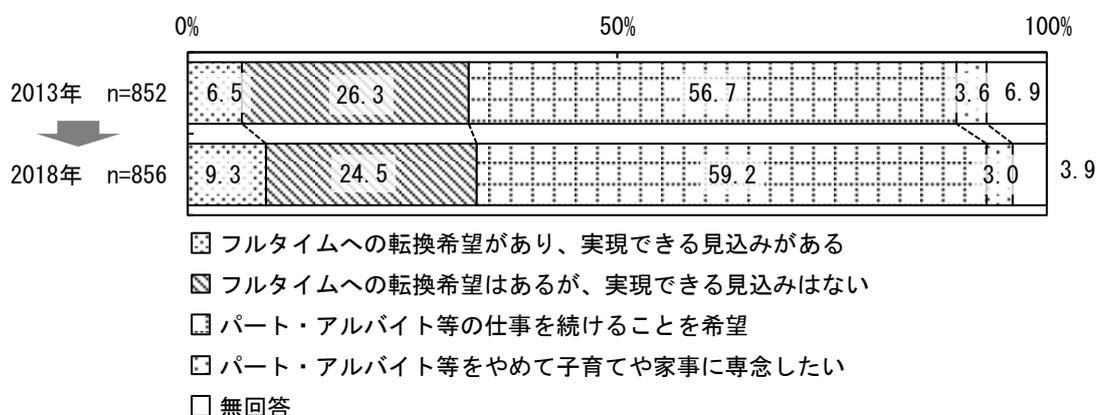


⑤ フルタイムへの転換希望 [Q12]

パート・アルバイト等と回答した人にフルタイムへの転換希望をたずねたところ、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が59.2%を占めています。「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みがない」が24.5%、「フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある」が9.3%であり、合わせて《フルタイムへの転換希望がある》は33.8%となっています。「パート・アルバイト等をやめて、子育てや家事に専念したい」は3.0%です。

2013年の調査結果との比較では、「フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある」が2.8ポイント上昇しています。

図表 1-15 フルタイムへの転換希望



(2) 現在、仕事をしていない母親の就労意向 [Q13]

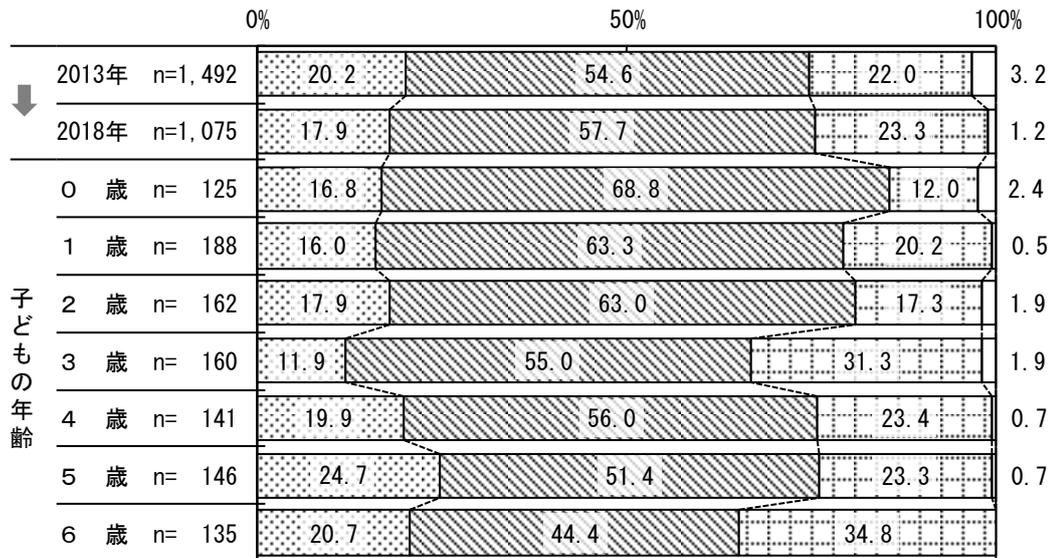
① 就労意向

現在、仕事をしていない母親の就労意向は、「1年より先、一番下の子どもが□歳になった頃に就労したい」が57.7%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が23.3%、「子育てや家事に専念したい（仕事をする予定はない）」が17.9%となっています。「1年より先、一番下の子どもが□歳になった頃に就労したい」及び「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の合計《就労したい》は81.0%になります。

2013年の調査結果との比較では、「子育てや家事に専念したい（仕事をする予定はない）」が2.3ポイント低下する一方、《就労したい》は4.4ポイント上昇しています。

子どもの年齢別にみると、3歳及び6歳では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が30%以上の高い率を示しています。

図表 1-16 母親の就労意向

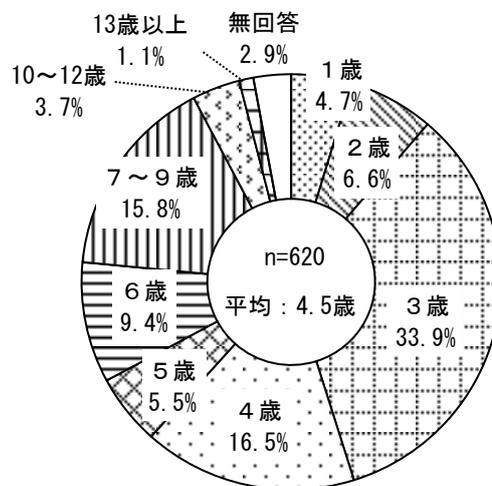


- ☐ 子育てや家事に専念したい（仕事をする予定はない）
- ▨ 1年より先、一番下の子どもが□歳になった頃に仕事をしたい
- ▩ さらにでも、もしくは1年以内に仕事をしたい
- 無回答

② 子どもが何歳になったら就労したいか

①で、「1年より先、一番下の子どもが□歳になったら就労したい」と回答した620人に、子どもが何歳になったら就労したいかをたずねたところ、「3歳」が33.9%を占めており、次いで「4歳」が16.5%、「7～9歳」が15.8%となっています。平均は4.5歳です。

図表 1-17 子どもが何歳になったら就労したいか

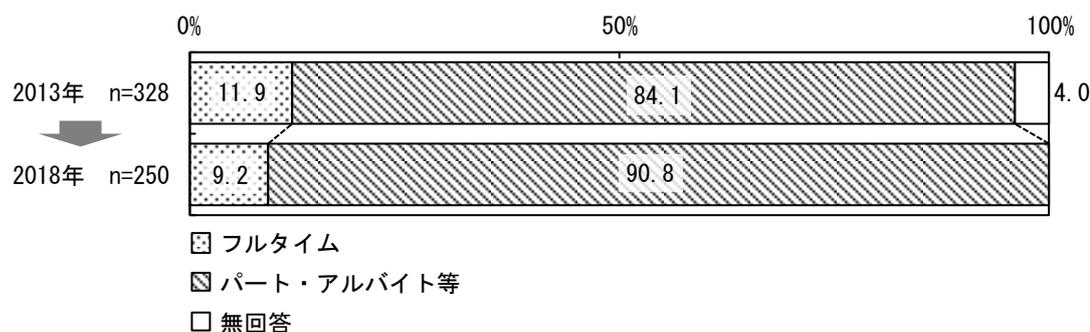


③ 希望する就労形態

①で、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した250人に、希望する就労形態をたずねたところ、「パート・アルバイト等」が90.8%を占めています。

2013年の調査結果との比較との比較では、「フルタイム」が2.7ポイント低下しています。

図表 1-18 希望する就労形態



④ 希望する就労日数、就労時間

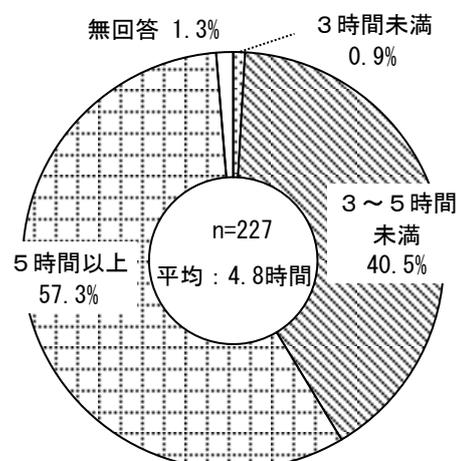
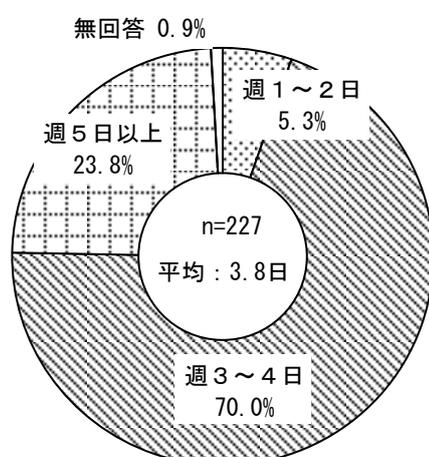
③で、「パート・アルバイト等」と回答した227人に、希望する就労日数をたずねたところ、「週3～4日」が70.0%を占めています。次いで「週5日以上」が23.8%となっており、希望就労日数の平均は3.8日です。

希望する1日あたりの就労時間は、「5時間以上」が57.3%、「3～5時間未満」が40.5%で、平均は4.8時間となります。

図表 1-19 希望する就労日数、就労時間

■ 就労日数

■ 就労時間

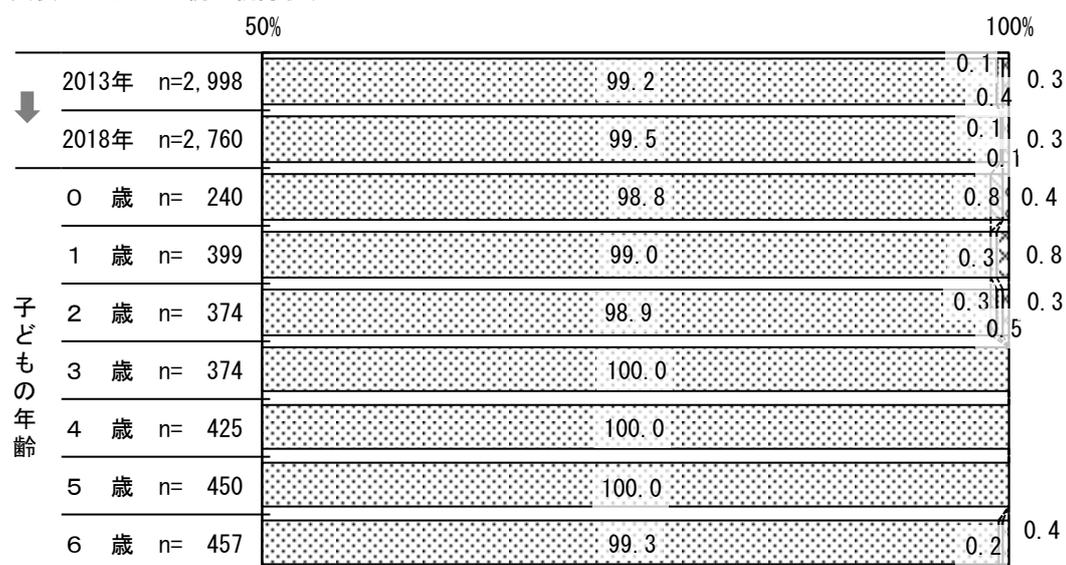


(3) 父親の就労状況

① 就労状況[Q14]

父親の就労状況は、「フルタイム」が99.5%を占めており、「パート・アルバイト等」が0.1%（4人）、「以前は仕事をしていましたが、現在は仕事をしていない」が0.3%（7人）です。「フルタイムで仕事をしているが、育休・介護休業中」「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中」及び「これまでに仕事をしたことがない」という選択肢が用意されていましたが、回答はありませんでした。

図表 1-20 父親の就労状況

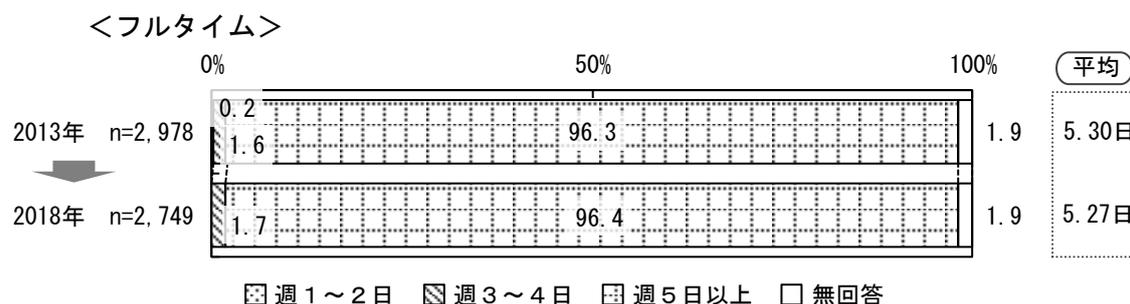


- フルタイム
- フルタイムで仕事をしているが、産休・育休・介護休業中
- パート・アルバイト等
- パート・アルバイト等で仕事をしているが、産休・育休・介護休業中
- 以前は仕事をしていましたが、現在は仕事をしていない
- これまでに仕事をしたことがない

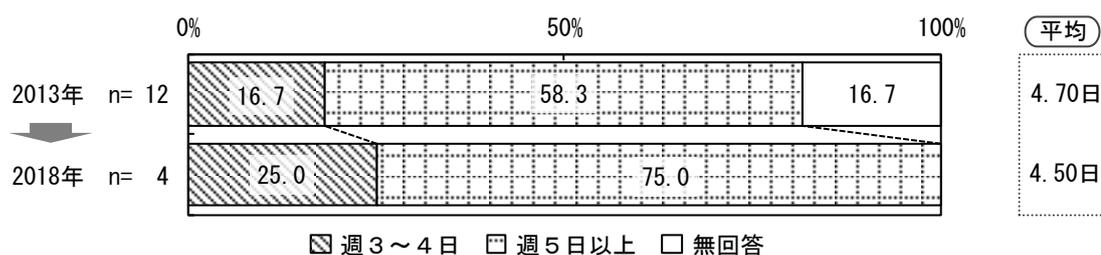
② 平均就労日数 [Q15-1]

フルタイムの就労日数は、「週5日以上」が96.4%を占めており、平均は5.27日です。パート・アルバイト等の就労日数は、「週5日以上」が75.0%（3人）、「週3～4日」が25.0%（1人）となっています。なお、1週あたりの就労日数の平均は4.50日です。

図表 1-21 父親の平均就労日数



<パート・アルバイト等>



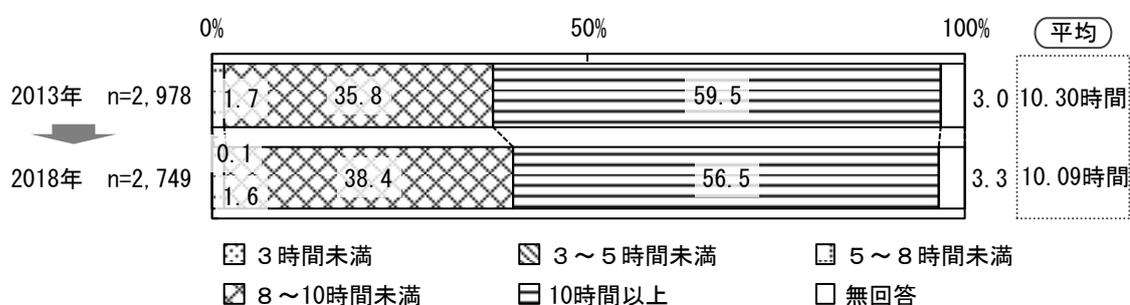
③ 就労時間 [Q15-1]

フルタイムの1日あたりの就労時間は、「10時間以上」が56.5%と最も高く、次いで「8～10時間未満」が38.4%となっています。就労時間の平均は10.09時間です。パート・アルバイト等の就労時間は、「5～8時間」が50%（2人）、「8～10時間未満」及び「10時間以上」がそれぞれ25.0%（1人）で、1日あたりの就労時間の平均は10.00時間となっています。

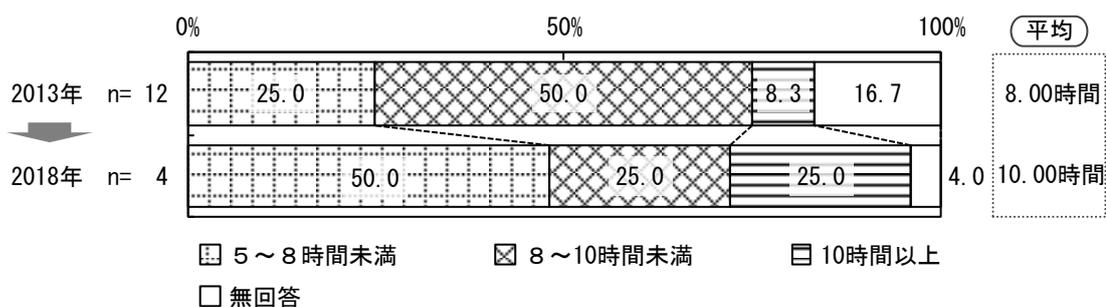
2013年の調査結果との比較では、平均就労時間がフルタイムは短くなってきている一方、パート・アルバイト等は長くなっています。

図表1-22 父親の平均就労時間

<フルタイム>



<パート・アルバイト等>



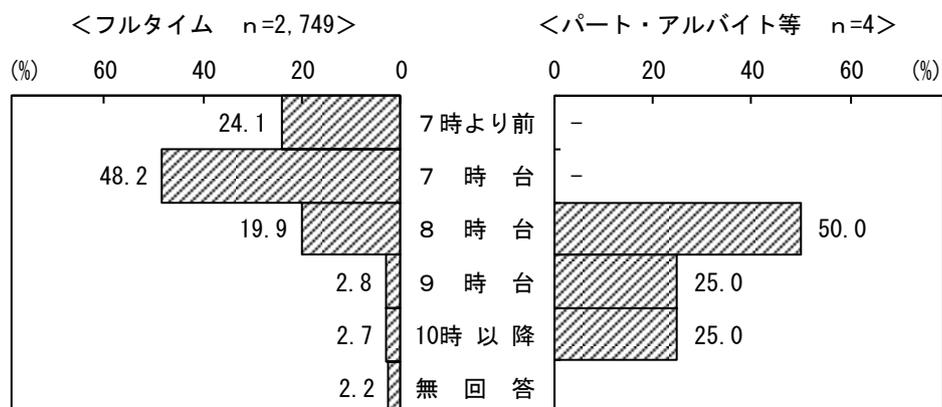
④ 家を出る時刻、帰宅時刻 [Q15-2]

父親が家を出る時刻をみると、フルタイムは、「7時台」が48.2%、「7時より前」が24.1%、「8時台」が19.9%となっています。パート・アルバイト等は、「8時台」が50.0%（2人）、「9時台」及び「10時以降」それぞれ25.0%（1人）です。

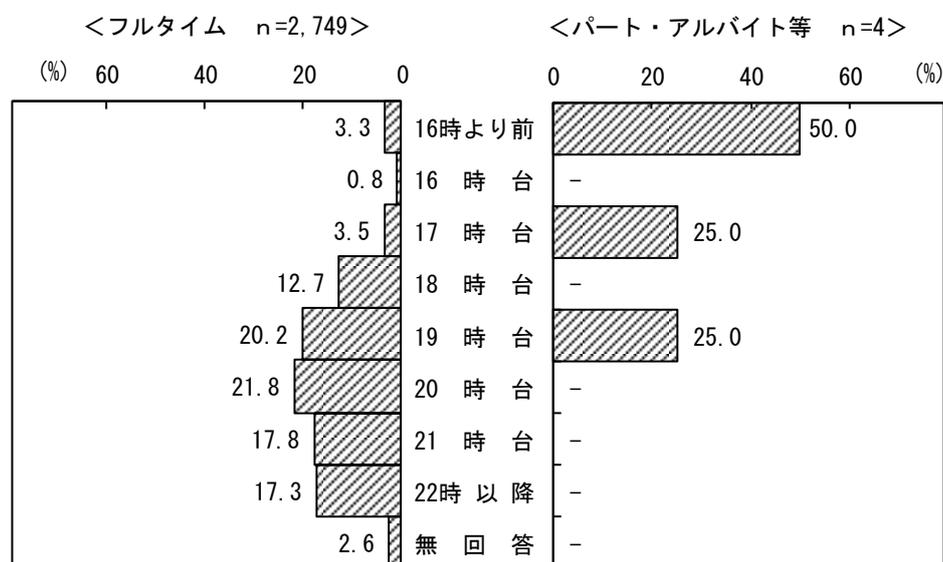
帰宅時刻は、フルタイムは「20時台」が21.8%、「19時台」が20.2%、「21時台」が17.8%、「22時以降」が17.3%などとなっています。パート・アルバイト等は「16時より前」が50.0%（2人）となっています。

図表 1-23 父親の家を出る時刻、帰宅時刻

■家を出る時刻



■帰宅時刻



⑤ フルタイムへの転換希望 [Q16]

パート・アルバイト等と回答した4人にフルタイムへの転換希望をたずねたところ、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」及び「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」とそれぞれ2人が回答しています。「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」及び「パート・アルバイト等をやめて、子育てや家事に専念したい」という選択肢が用意されていましたが、回答はありませんでした。

(4) 父親の就労意向 [Q17]

現在、仕事をしていない父親（Q14で「以前は仕事をしていたが、現在は仕事をしていない」と回答した7人）の就労意向は、4人が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」、2人が「子育てや家事に専念したい（仕事をする予定はない）」と回答しており、1人が無回答です。「1年より先、一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい」という選択肢が用意されていましたが、回答はありませんでした。

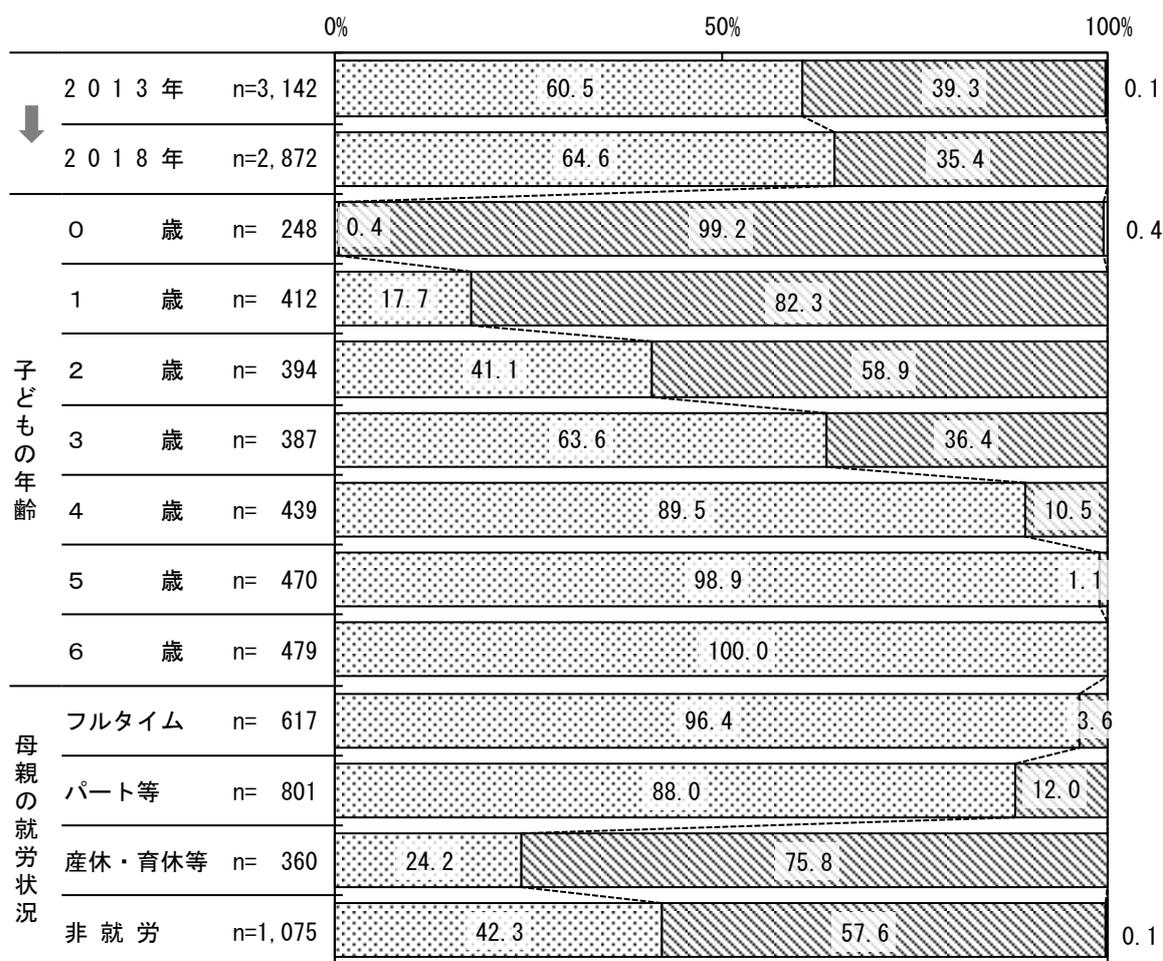
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した4人は、すべて「フルタイム」を希望しています。

3 平日の定期的な教育・保育事業

(1) 定期的な教育・保育事業の利用の有無 [Q18]

定期的な教育・保育事業は、調査回答者の64.6%が利用しています。子どもの年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがい高くなり、4歳では90%近くになり、6歳では100.0%となります。母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート等が高くなっています。

図表 1-24 定期的な教育・保育事業の利用の有無

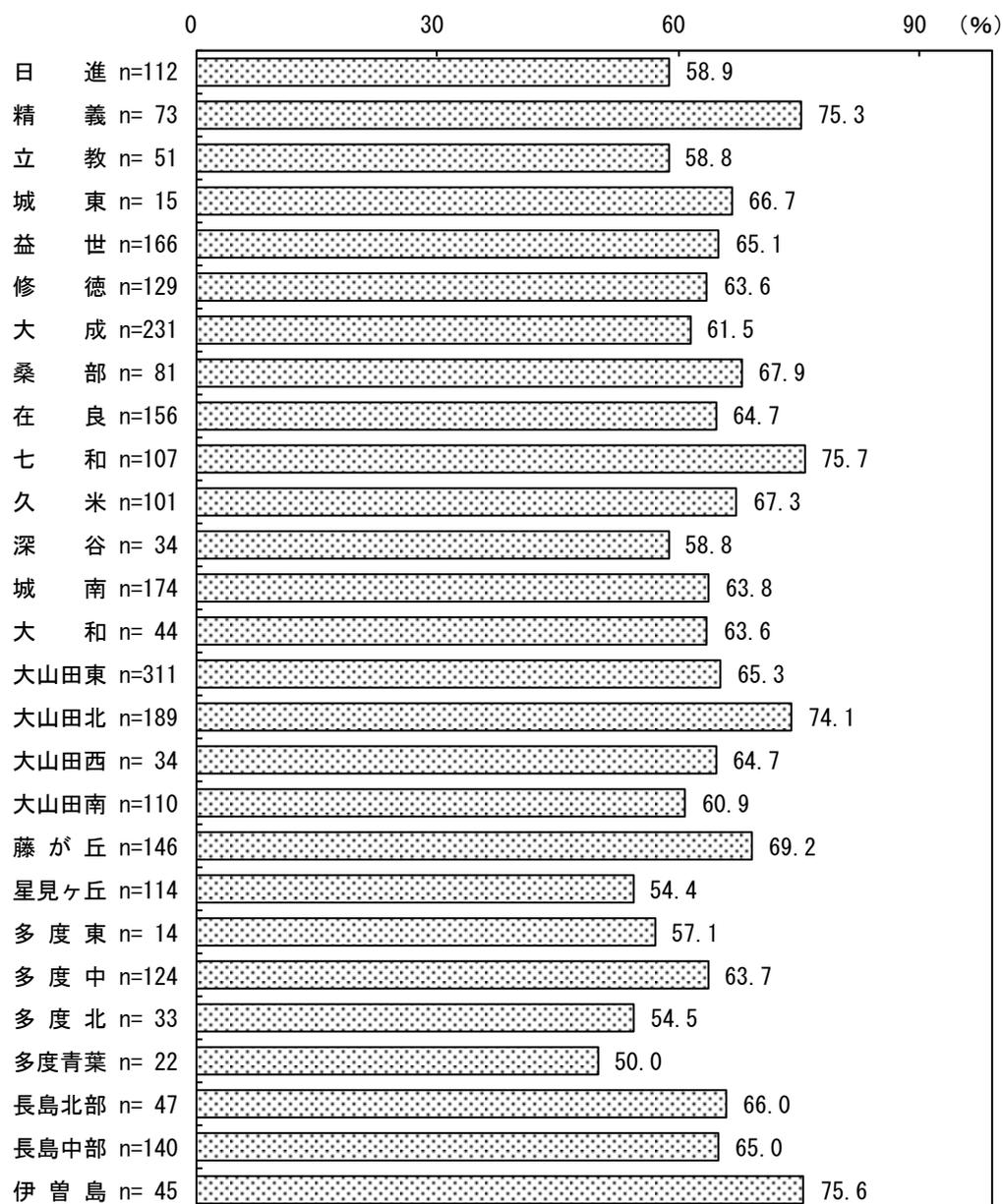


■ 利用している ■ 利用していない □ 無回答

注：本調査における「定期的な教育・保育事業」とは、幼稚園、幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業）、保育所・保育園（認可保育所）、認定こども園、小規模保育施設、事業所内保育施設（企業や病院等が従業員のために運営する施設）、一時保育（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）、ファミリーサポートセンター（地域住民による子どもの預かり事業）、その他で月単位で定期的に利用している事業を指します。

小学校区別に利用率（「利用している」の割合）をみると、70%を超えているのが七和、伊曾島、精義及び大山田北です。最も高い七和と最も低い多度青葉の間には25ポイント以上の差があります。

図表 1-25 定期的な教育・保育事業の小学校区別利用率（「利用している」の割合）



(2) 利用している事業の種類 [Q19-1]

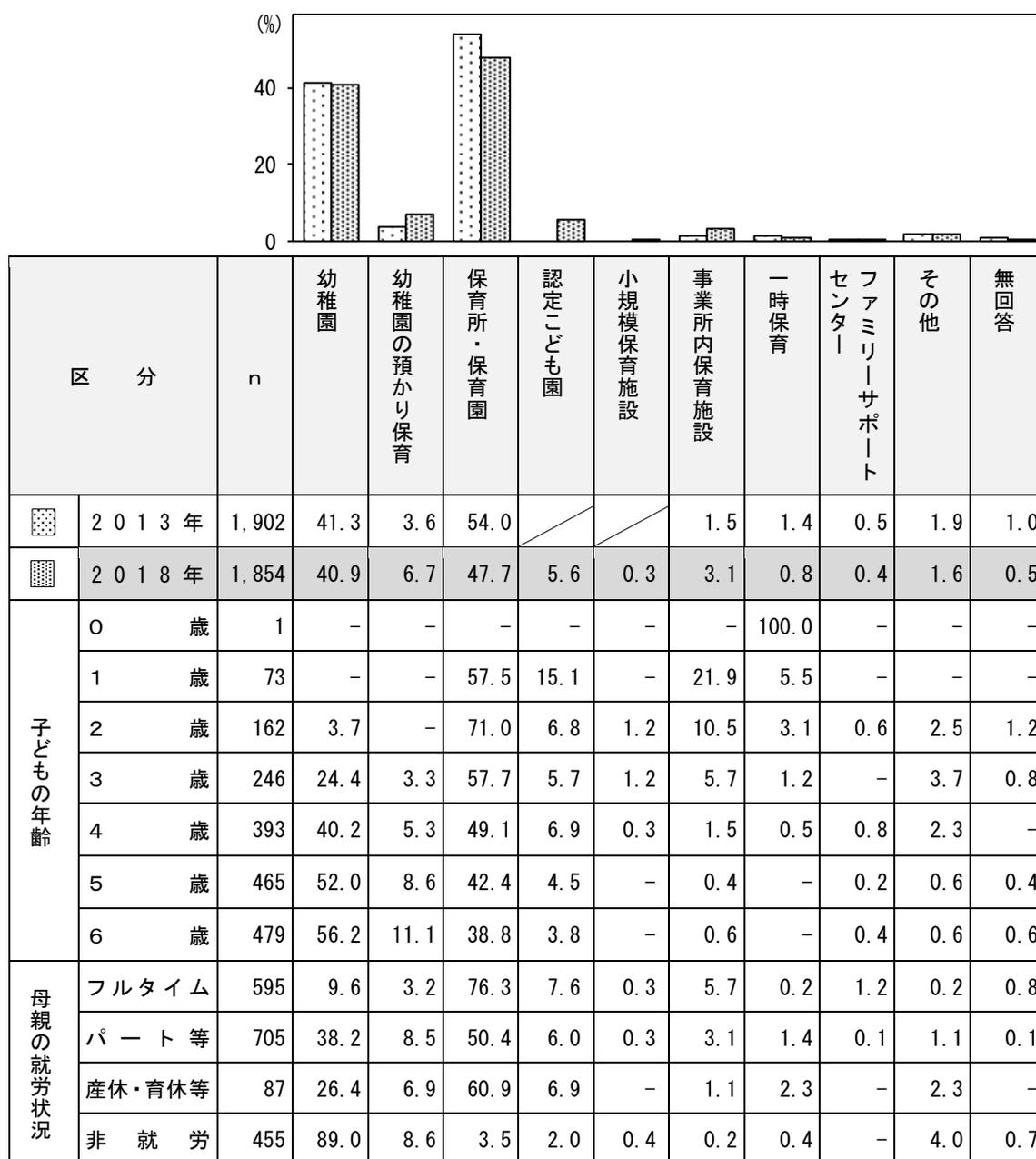
定期的に利用している教育・保育事業の種類は、「保育所・保育園」が47.7%と最も高く、次いで「幼稚園」が40.9%などとなっています。子どもの年齢別にみると、1～4歳は「保育所・保育園」、5・6歳は「幼稚園」が最も高くなっています。母親の就労状況別にみると、非就労は「幼稚園」、それ以外は「保育所・保育園」が高くなっています（図表1-26）。

「その他」として、「療育センター」「放課後等デイサービス」「森のようちえん」「プレスクール」などの記載がありました。

小学校区別にみると、地区により利用している事業に違いがあることがわかります（図表1-27）。

図表1-26 利用している事業の種類（複数回答）

単位：nは人、他は%



図表 1-27 利用している事業の種類（小学校区別／複数回答）

単位：nは人、他は%

区 分	調査数 (n)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育園	認定こども園	小規模保育施設	事業所内保育施設	一時保育	ファミリーサポートセンター	その他	無回答
日進	1,854	40.9	6.7	47.7	5.6	0.3	3.1	0.8	0.4	1.6	0.5
精義	66	39.4	7.6	36.4	19.7	1.5	3.0	-	-	-	-
立教	55	56.4	16.4	23.6	16.4	-	-	1.8	-	-	1.8
城東	30	23.3	-	53.3	16.7	-	3.3	-	3.3	3.3	-
益世	10	10.0	-	60.0	20.0	-	10.0	-	-	-	-
修徳	108	41.7	9.3	39.8	13.0	-	2.8	0.9	0.9	1.9	-
大成	82	43.9	11.0	32.9	11.0	1.2	3.7	1.2	-	3.7	2.4
桑部	142	49.3	12.7	43.7	6.3	-	0.7	-	0.7	0.7	-
在良	55	38.2	3.6	58.2	1.8	-	-	-	-	1.8	-
七和	101	38.6	8.9	51.5	4.0	-	3.0	2.0	-	3.0	-
久米	81	42.0	3.7	53.1	2.5	-	3.7	-	-	-	-
深谷	68	39.7	1.5	54.4	-	-	4.4	-	-	-	1.5
城南	20	25.0	5.0	70.0	-	-	5.0	-	-	-	-
大和	111	28.8	4.5	51.4	14.4	-	2.7	0.9	-	2.7	-
大山田東	28	21.4	-	60.7	3.6	-	10.7	-	-	3.6	-
大山田北	203	56.7	6.9	39.4	1.0	0.5	1.5	-	0.5	1.0	-
大山田西	140	44.3	7.1	47.1	1.4	-	7.1	-	-	0.7	0.7
大山田南	22	27.3	-	63.6	4.5	-	-	-	-	4.5	-
藤が丘	67	44.8	11.9	47.8	3.0	1.5	-	3.0	-	-	-
星見ヶ丘	101	48.5	7.9	38.6	5.0	-	5.0	1.0	2.0	2.0	1.0
多度東	62	45.2	1.6	48.4	-	-	-	1.6	1.6	4.8	-
多度中	8	12.5	-	75.0	-	-	-	-	-	12.5	-
多度北	79	25.3	1.3	69.6	-	1.3	2.5	1.3	1.3	-	-
多度青葉	18	16.7	-	72.2	-	-	-	5.6	-	5.6	-
長島北部	11	9.1	-	72.7	-	-	9.1	-	-	-	9.1
長島中部	31	41.9	9.7	48.4	3.2	-	3.2	-	-	3.2	-
伊曾島	91	31.9	4.4	58.2	2.2	1.1	2.2	2.2	-	1.1	1.1

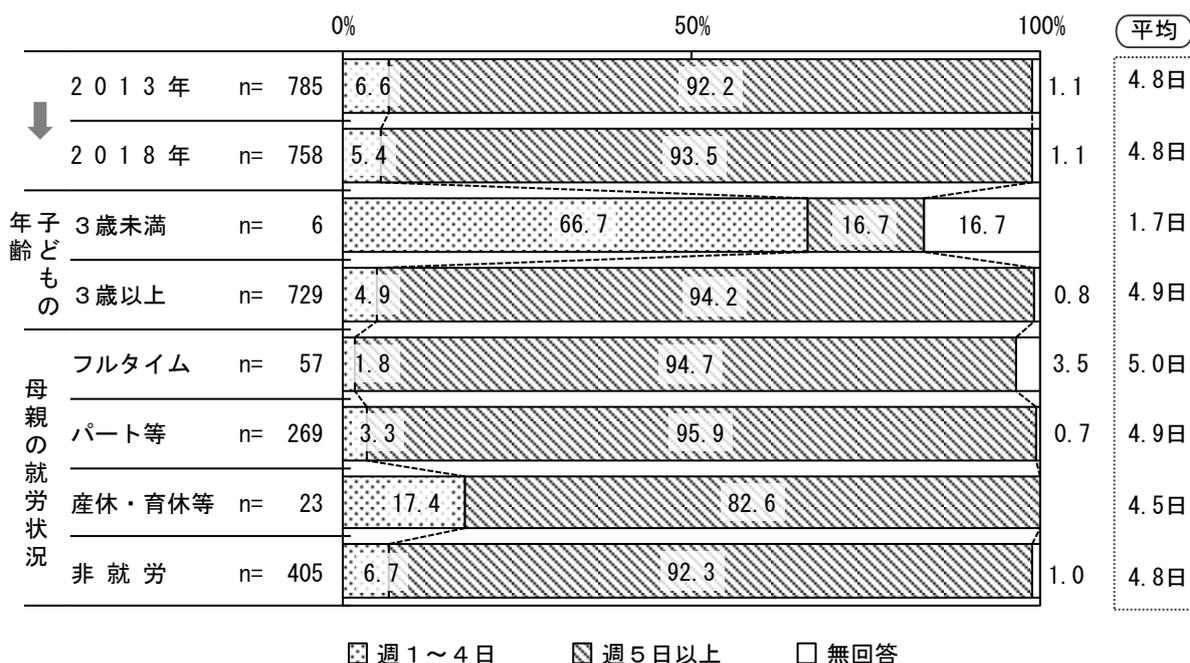
(3) 幼稚園の利用日数と利用時間 [Q19-2]

① 利用日数（現在と希望）

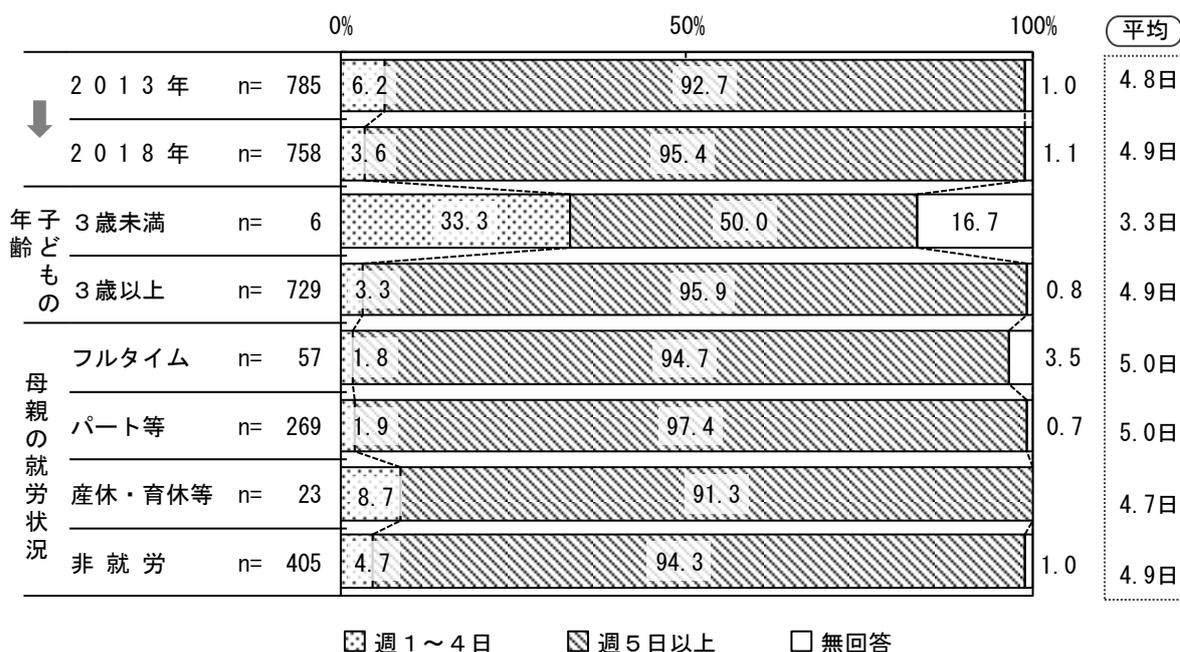
現在の利用日数は、「週5日以上」が93.5%を占めており、平均は4.8日です（図表1-28）。

希望する利用日数は、実際の利用日数とほぼ同様で「週5日以上」が95.4%を占めており、平均は4.9日です（図表1-29）。

図表1-28 幼稚園の現在の利用日数



図表1-29 幼稚園の利用希望日数

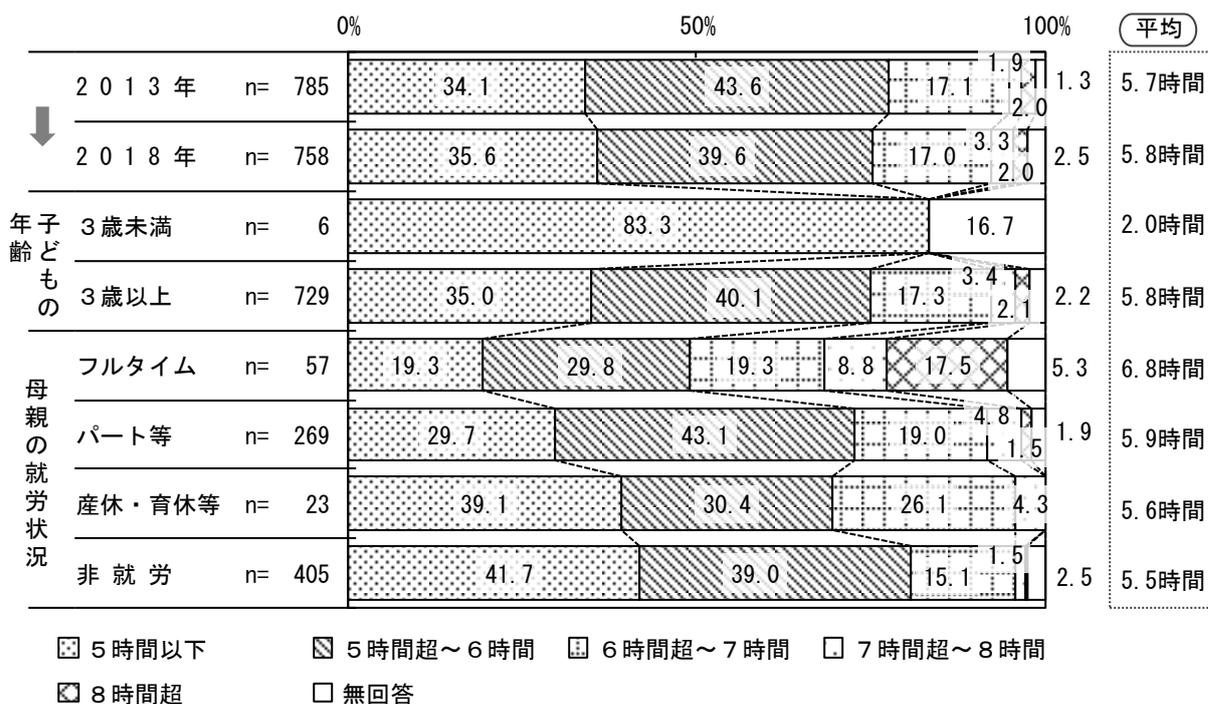


② 利用時間（現在と希望）

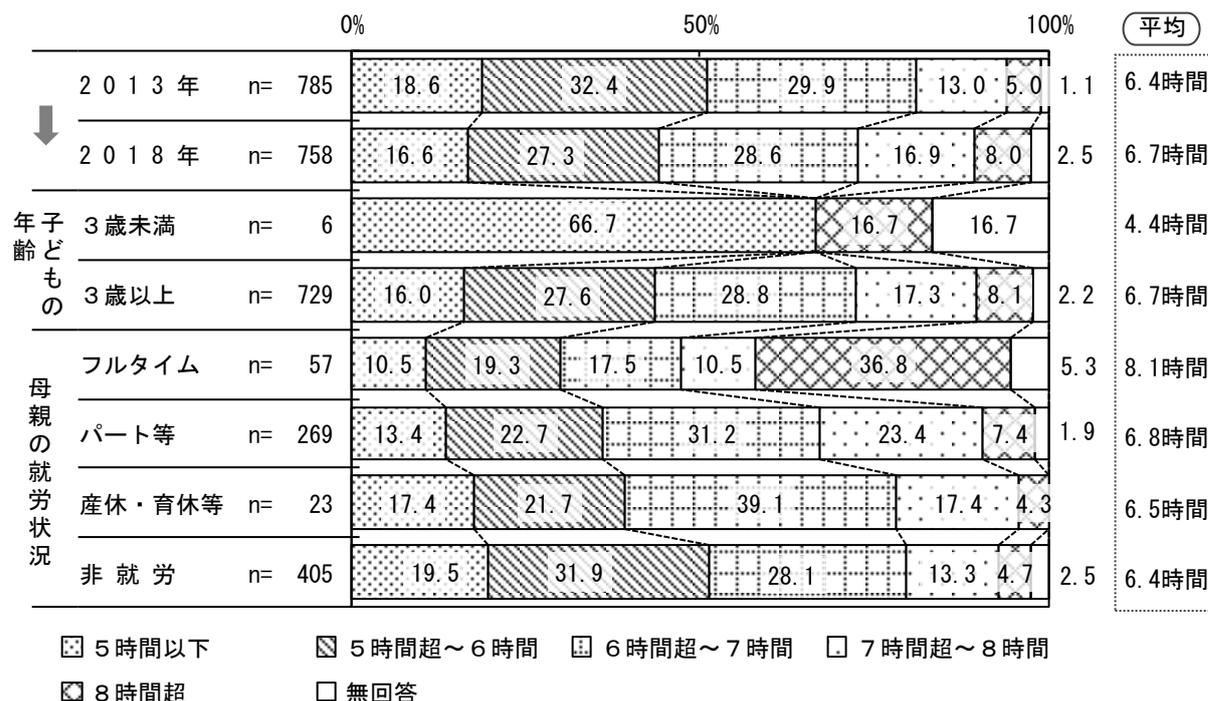
現在の利用時間は「5時間超～6時間」が39.6%と最も高く、次いで「5時間以下」が35.6%となっており、平均は5.8時間です（図表1-30）。

希望する利用時間は「6時間超～7時間」が28.6%と最も高くなっています。2013年の調査結果に比べ、7時間超が上昇しており、平均は6.7時間です（図表1-31）。

図表1-30 幼稚園の現在の利用時間



図表1-31 幼稚園の利用希望時間

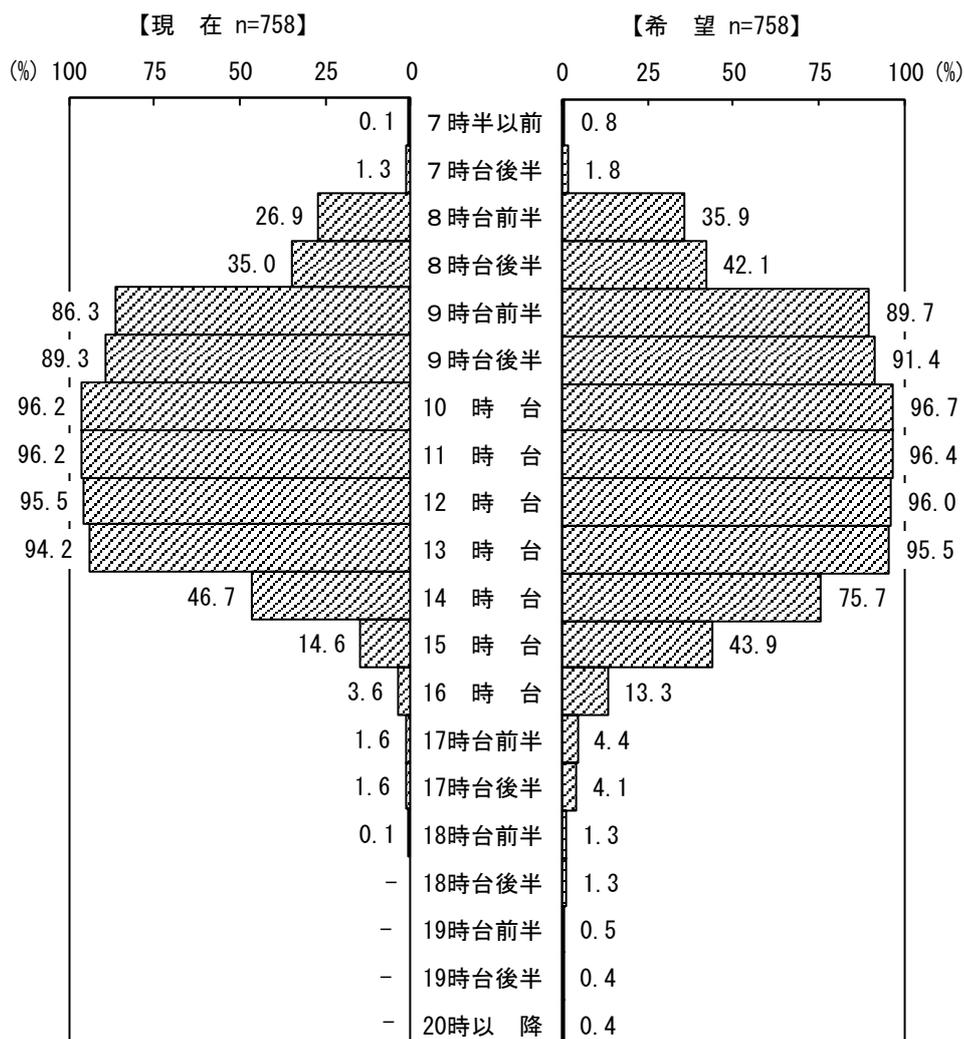


③ 利用時間帯（現在と希望）

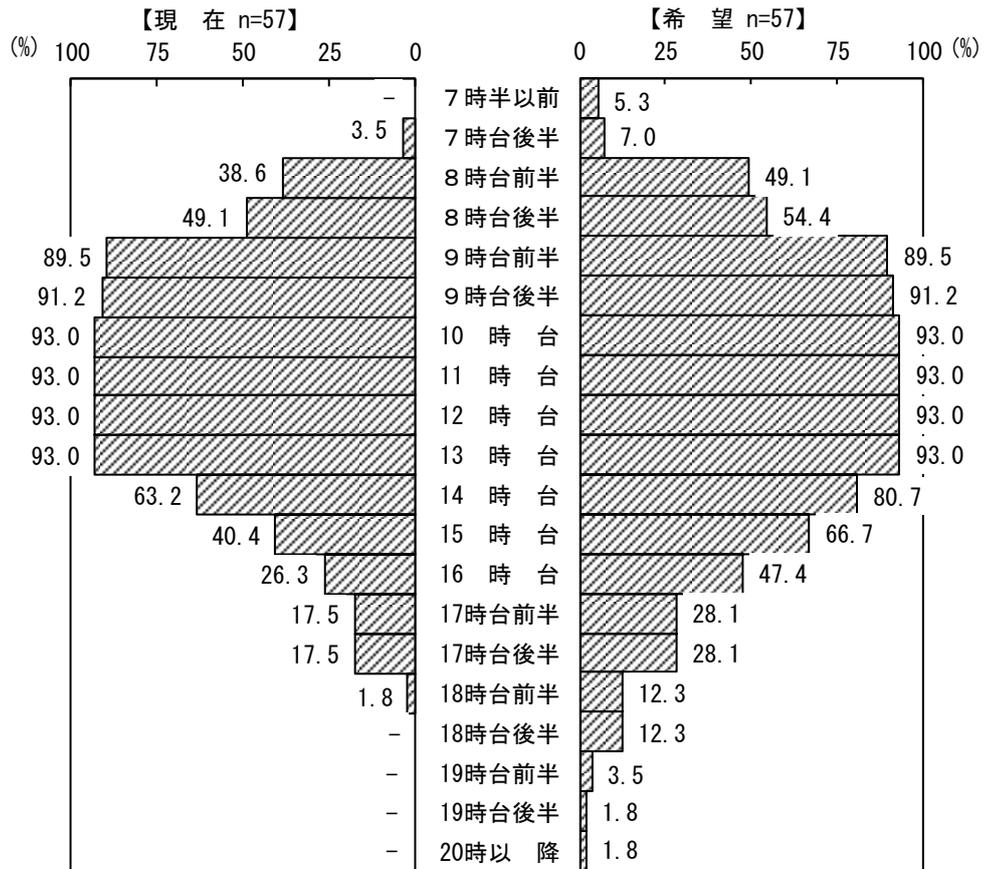
現在の利用時間帯は、8時台前半には26.9%、8時台後半には35.0%、9時台には85%を超え、10時台から13時台は95%前後となっています。

希望する利用時間帯は、8時台前半には35%、8時台後半には40%を超え、以降、13時台までは、ほぼ現在と同じですが、14時台及び15時台では現在を大きく上回っています。

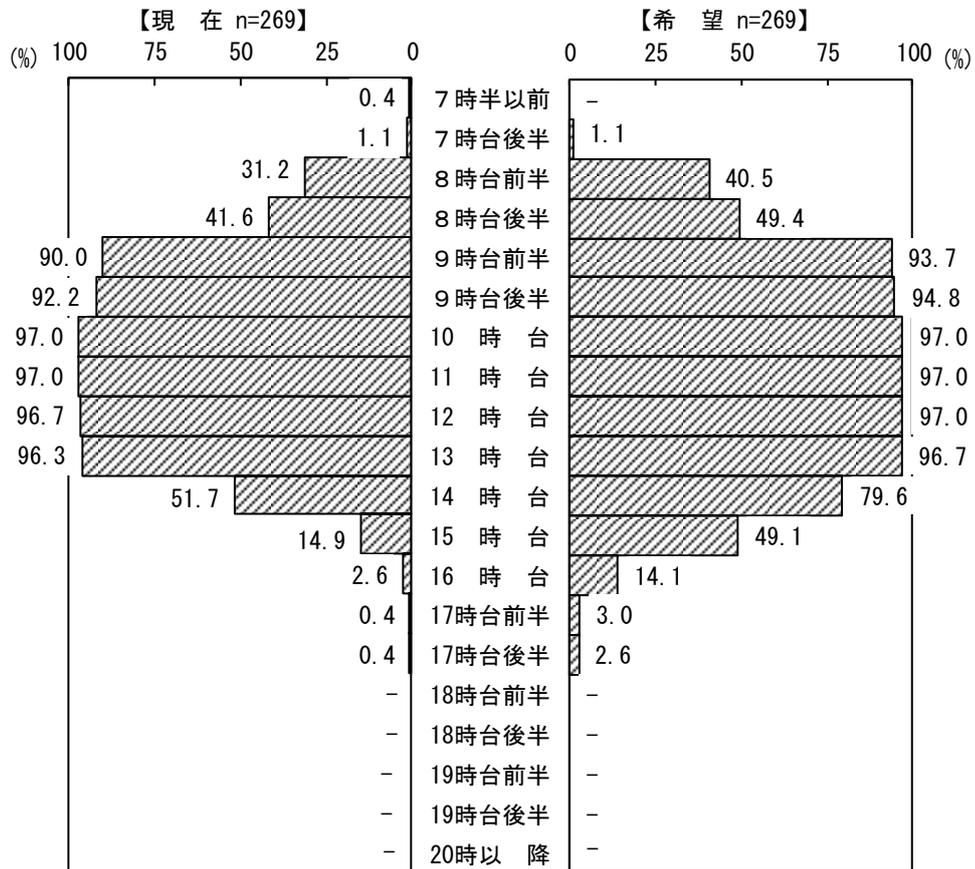
図表 1-32 幼稚園の利用時間帯（現在・希望）



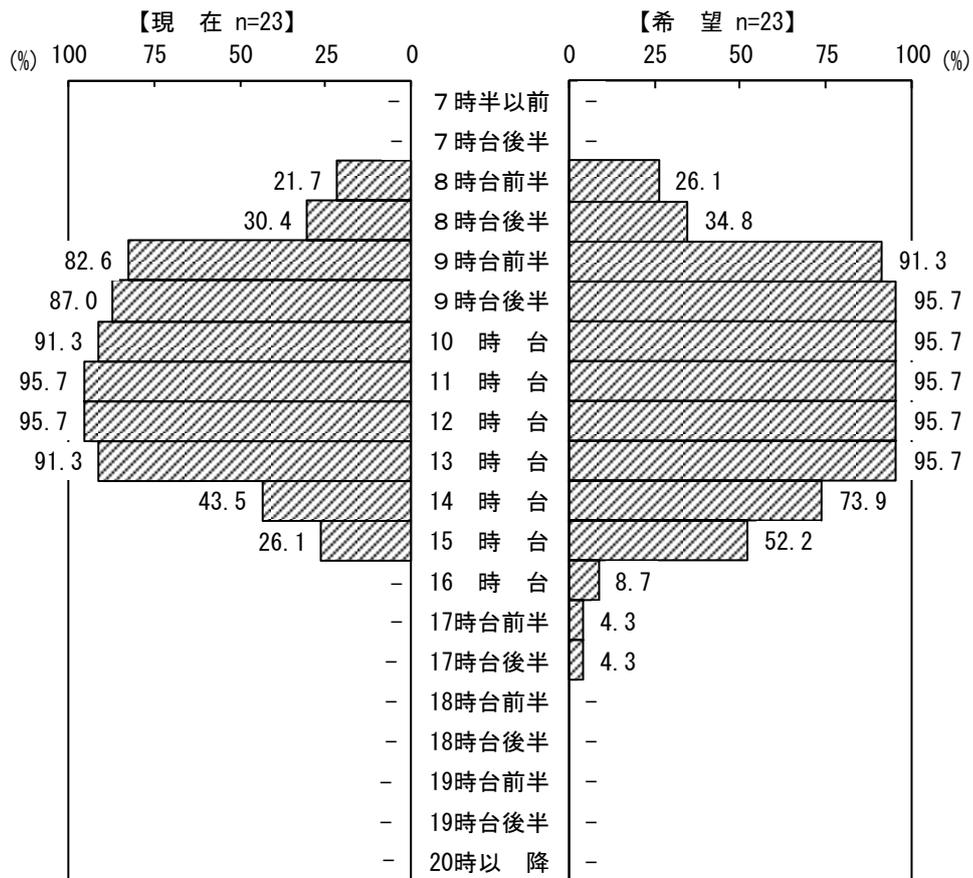
図表 1-33 幼稚園の利用時間帯（現在・希望／母親がフルタイムで就労）



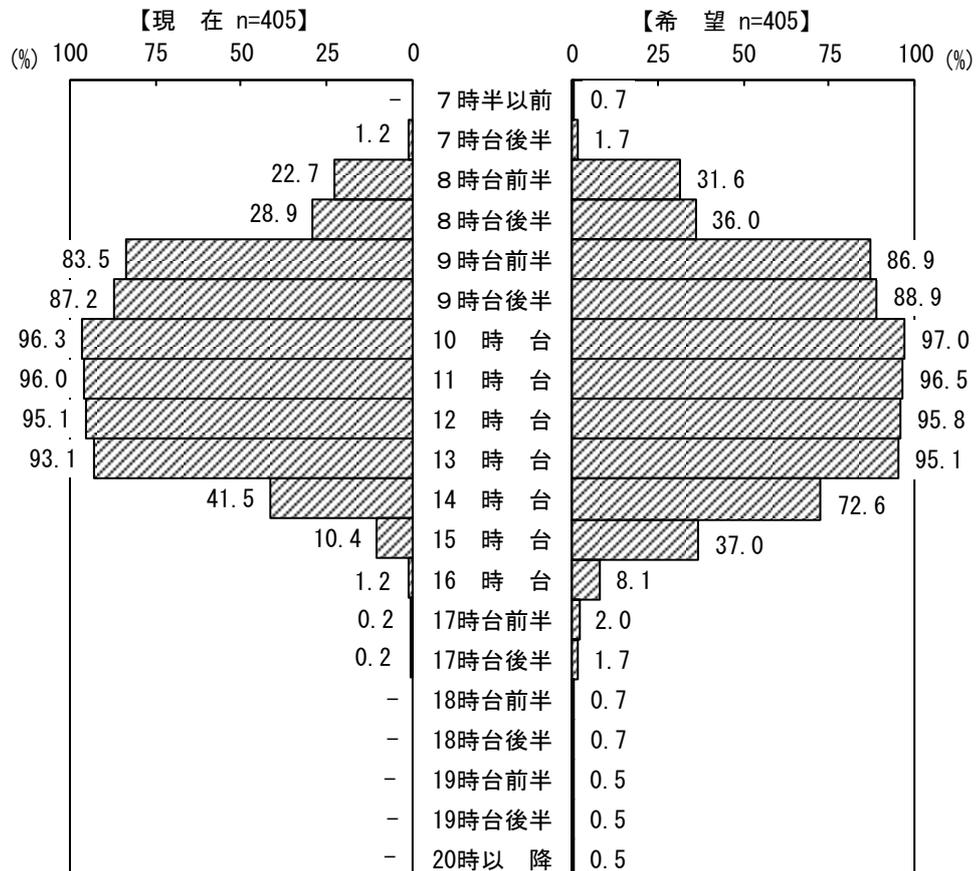
図表 1-34 幼稚園の利用時間帯（現在・希望／母親がパート・アルバイト等で就労）



図表 1-35 幼稚園の利用時間帯（現在・希望／母親が産休・育休等）



図表 1-36 幼稚園の利用時間帯（現在・希望／母親が非就労）



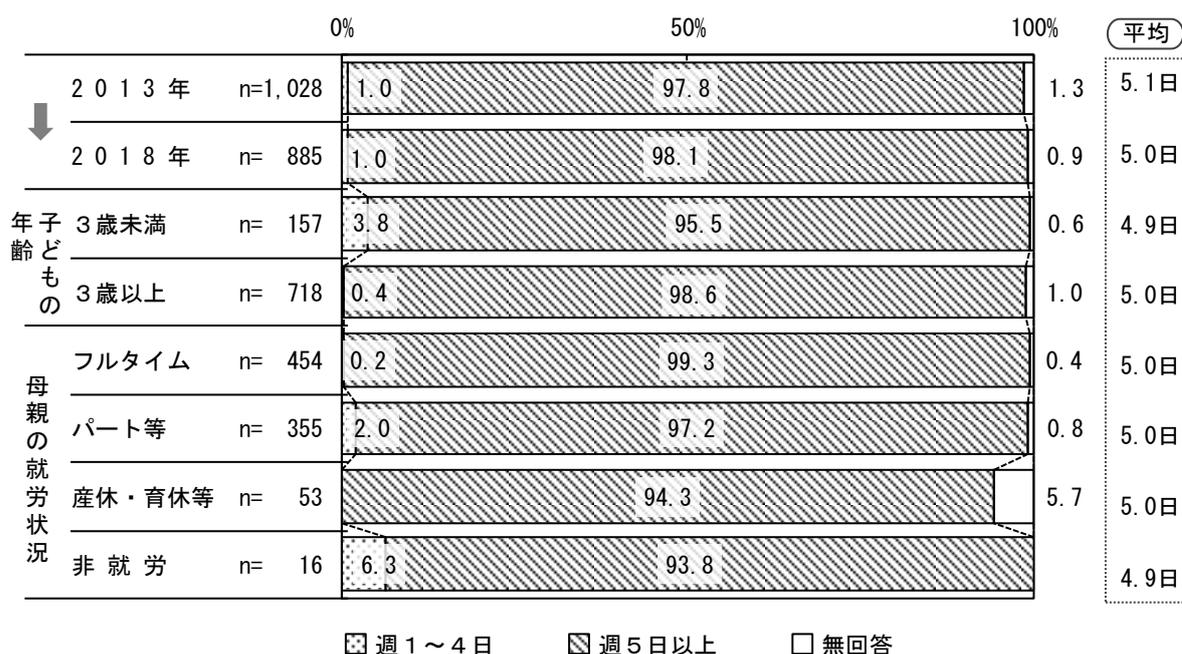
(4) 保育所・保育園の利用日数と利用時間 [Q19-2]

① 利用日数（現在と希望）

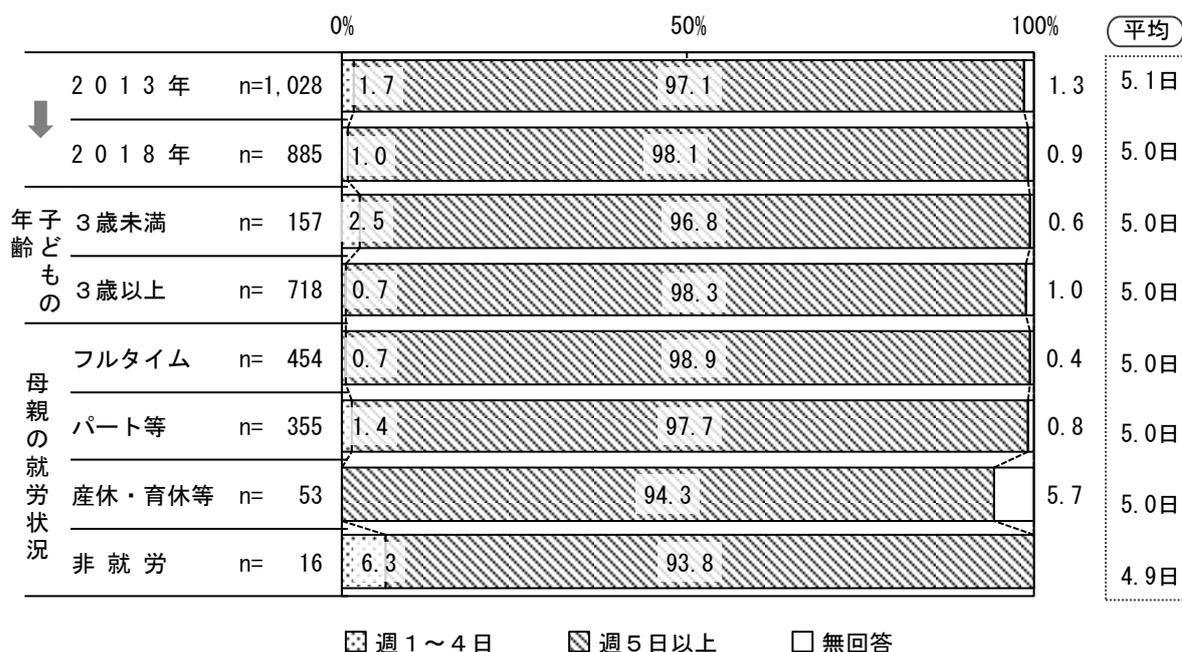
現在の利用日数は、「週5日以上」が98.1%を占めており、平均は5.0日です（図表1-37）。

希望する利用日数は、実際の利用日数と同様で「週5日以上」が98.1%を占めており、平均も5.0日です（図表1-38）。

図表1-37 保育所・保育園の現在の利用日数



図表1-38 保育所・保育園の利用希望日数

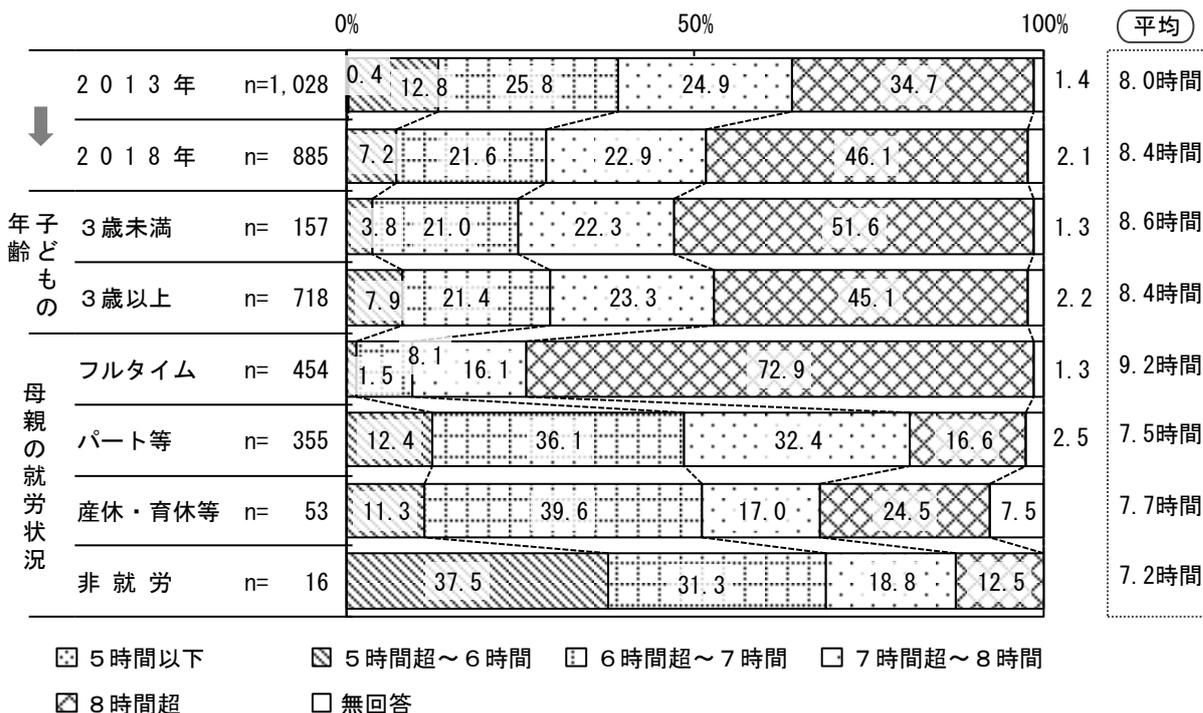


② 利用時間（現在と希望）

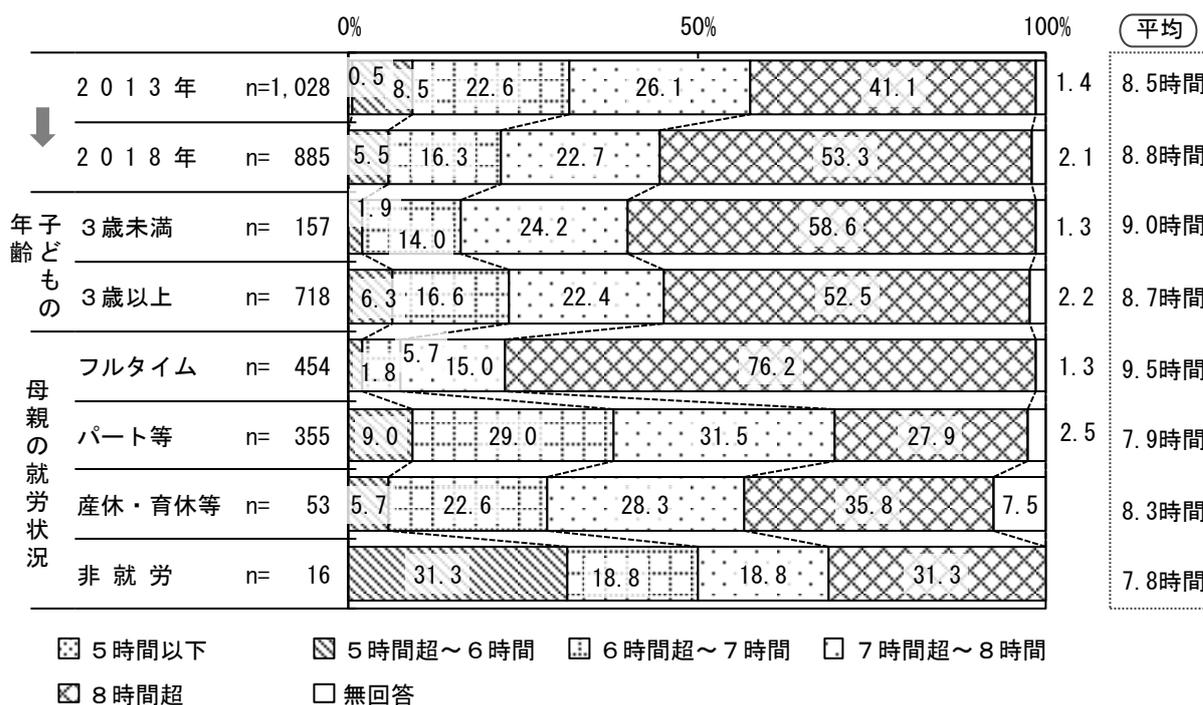
現在の利用時間は「8時間超」が46.1%と最も高く、次いで「7時間超～8時間」が22.9%、「6時間超～7時間」が21.6%となっており、平均は2013年に比べ0.4時間長くなり8.4時間です。（図表1-39）。

希望する利用時間は「8時間超」が53.3%を占めており、現在に比べ7.2ポイント高くなっています。平均は現在より0.4時間長く8.8時間です（図表1-40）。

図表1-39 保育所・保育園の現在の利用時間



図表1-40 保育所・保育園の利用希望時間

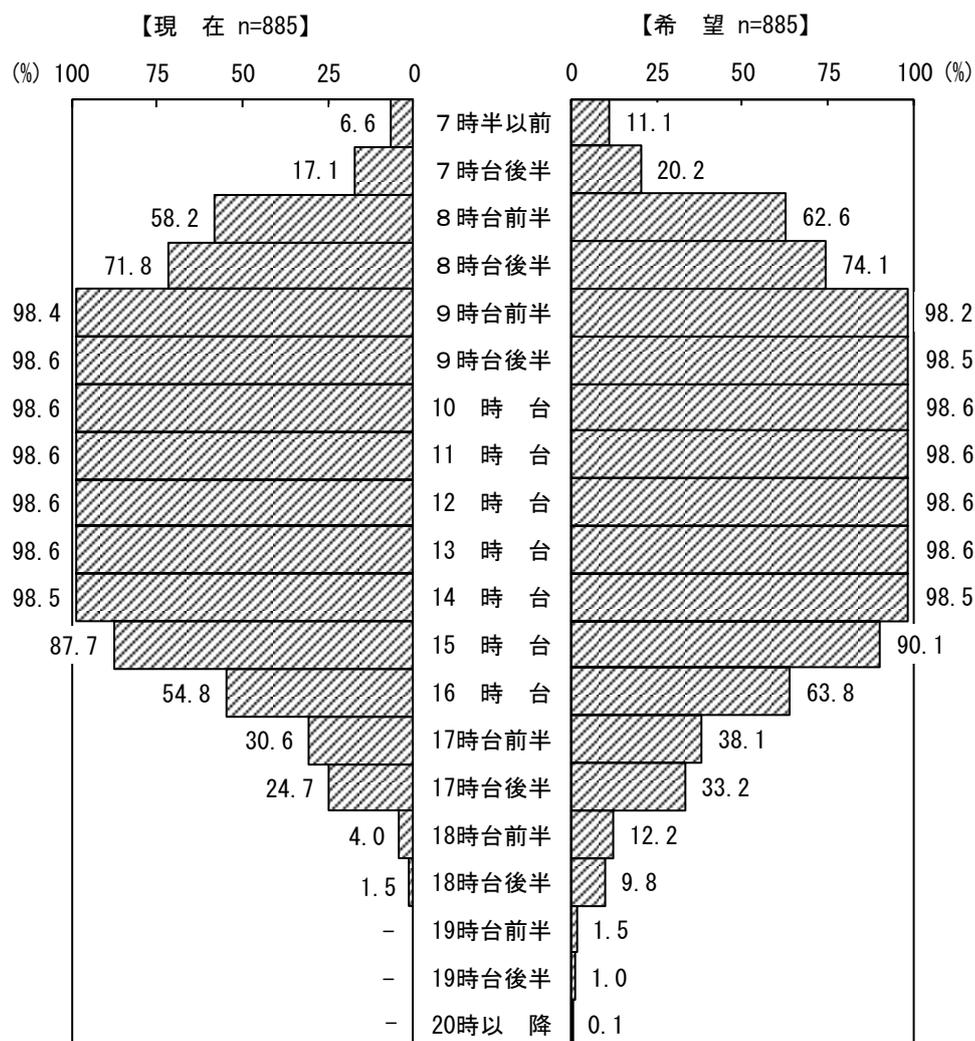


③ 利用時間帯（現在と希望）

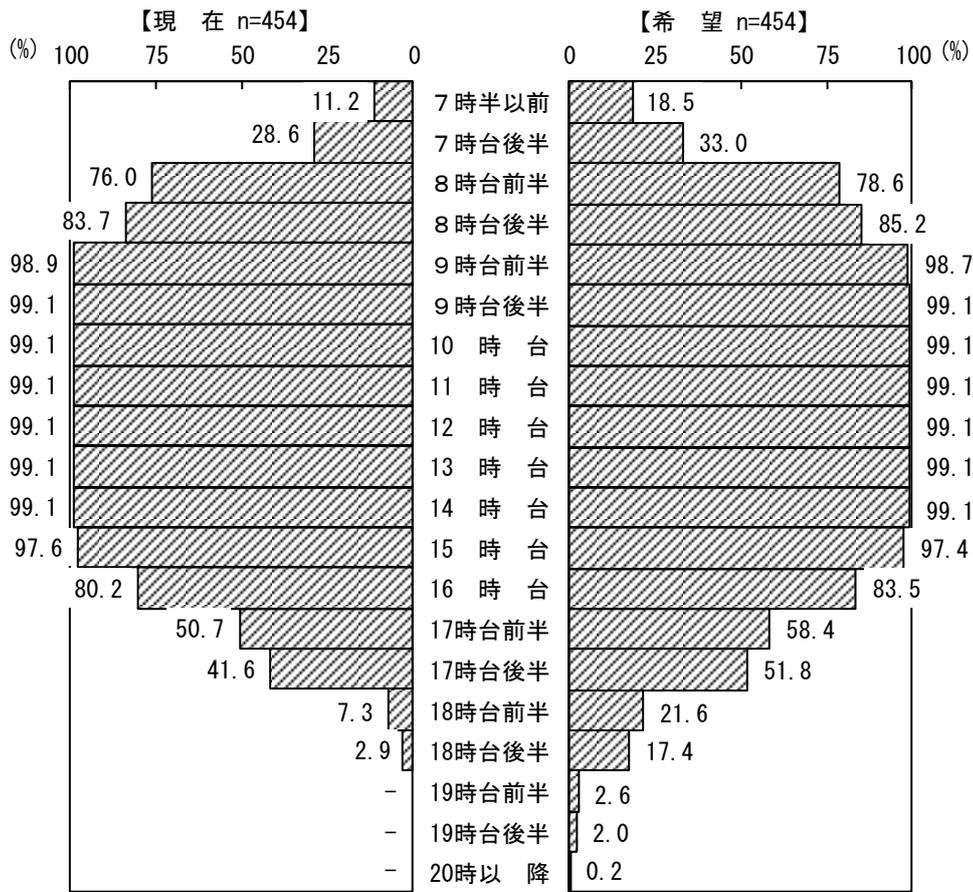
現在の利用時間帯は、8時台前半には58.2%、8時台後半には71.8%となり、9時台前半から14時台は98%台となっています。

希望する利用時間帯は、15時台までは現在と大きな差はありませんが、16時台から18時台後半までは現在に比べ7.5～9ポイント高くなっています。

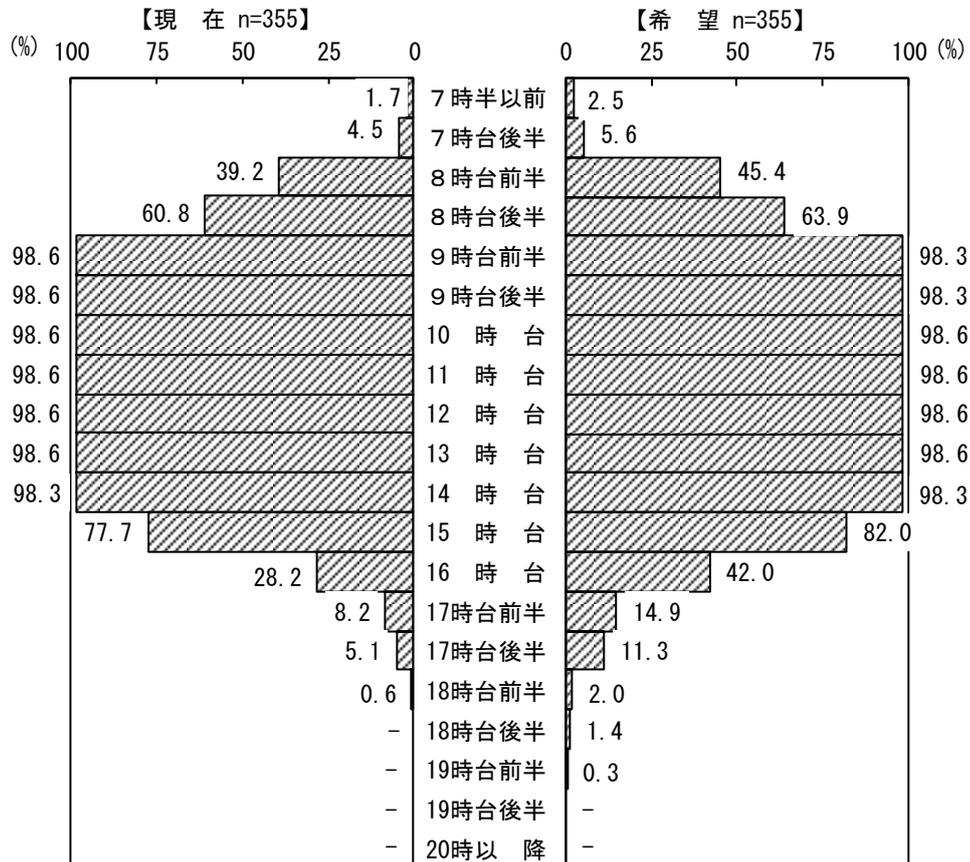
図表 1-41 保育所・保育園の利用時間帯（現在・希望）



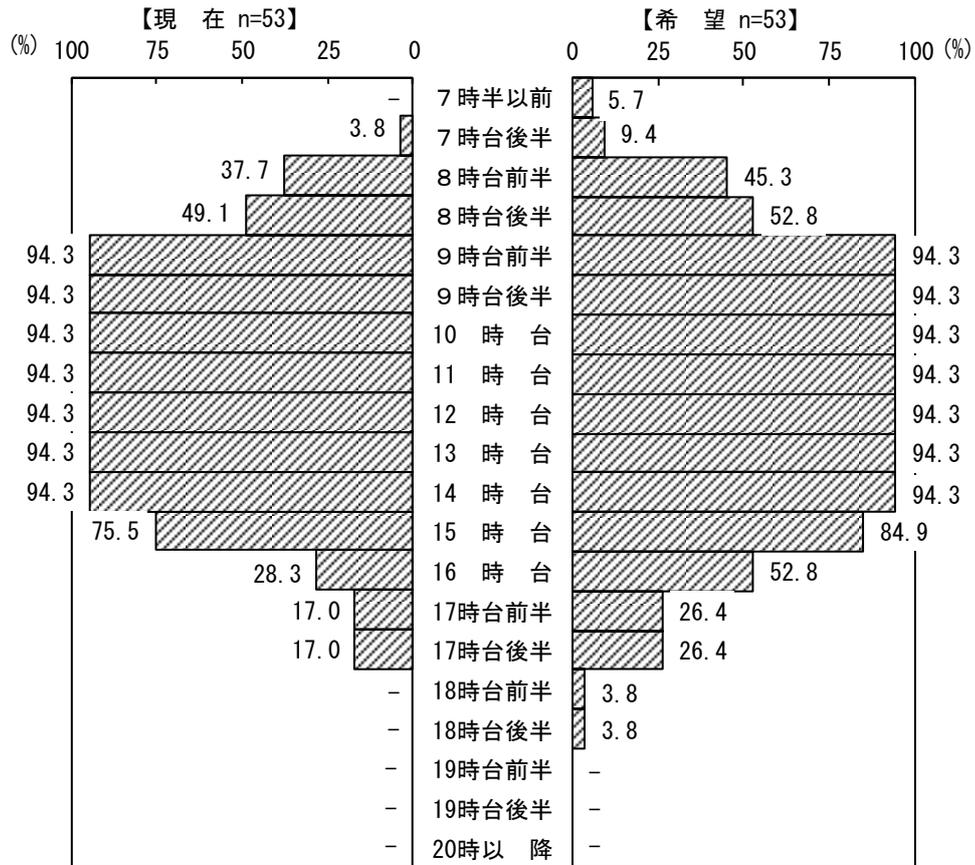
図表 1-42 保育所・保育園の利用時間帯（現在・希望／母親がフルタイムで就労）



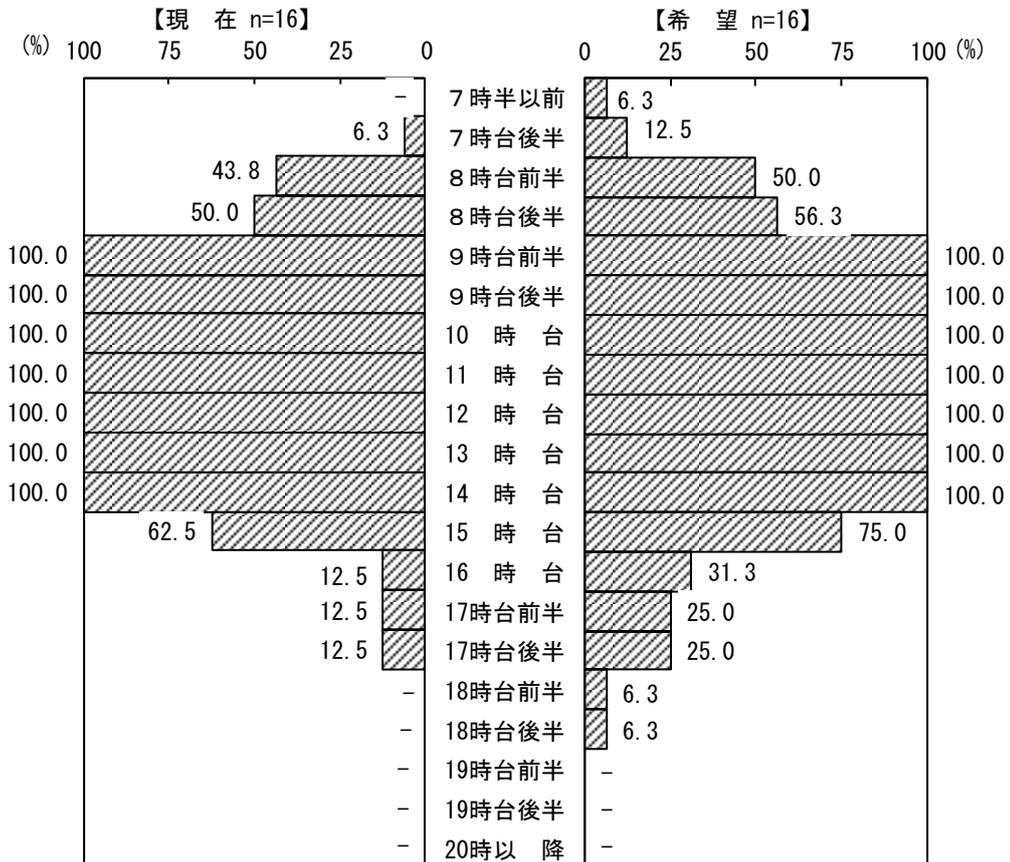
図表 1-43 保育所・保育園の利用時間帯（現在・希望／母親がパート・アルバイト等で就労）



図表 1-44 保育所・保育園の利用時間帯（現在・希望／母親が産休・育休等）



図表 1-45 保育所・保育園の利用時間帯（現在・希望／母親が非就労）



(5) 認定こども園の利用日数と利用時間 [Q19-2]

① 利用日数（現在と希望）

現在の利用日数及び希望する利用日数は、認定こども園を利用していると回答した103人全員が「週5日以上」と回答しています。

図表 1-46 認定こども園の利用日数

単位：人

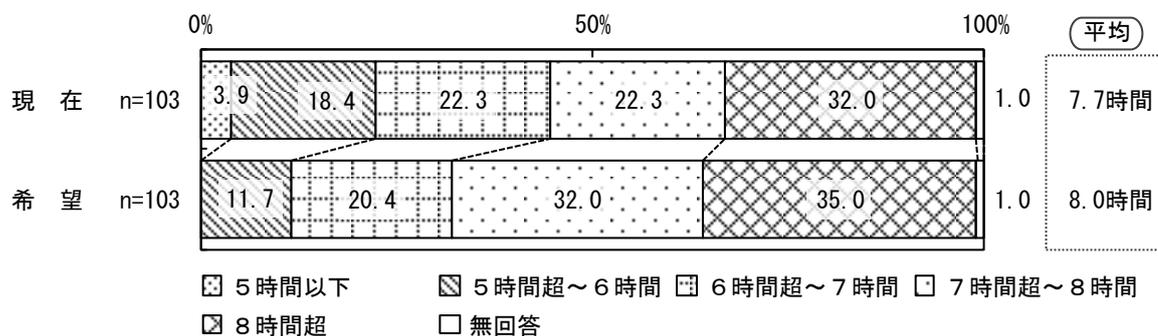
区 分	n	週 1～4 日	週 5 日
現 在	103	0	103
希 望	10	0	103

② 利用時間（現在と希望）

現在の利用時間は、「8時間超」が32.0%と最も高く、次いで「6時間超～7時間」及び「7時間超～8時間」が22.3%となっており、平均は7.7時間です。

希望する利用時間も、現在と同様に「8時間超」が35.0%と最も高くなっていますが、「7時間超～8時間」が現在に比べ10ポイント近く上昇しています。平均は8.0時間です。

図表 1-47 認定こども園の利用時間（現在・希望）

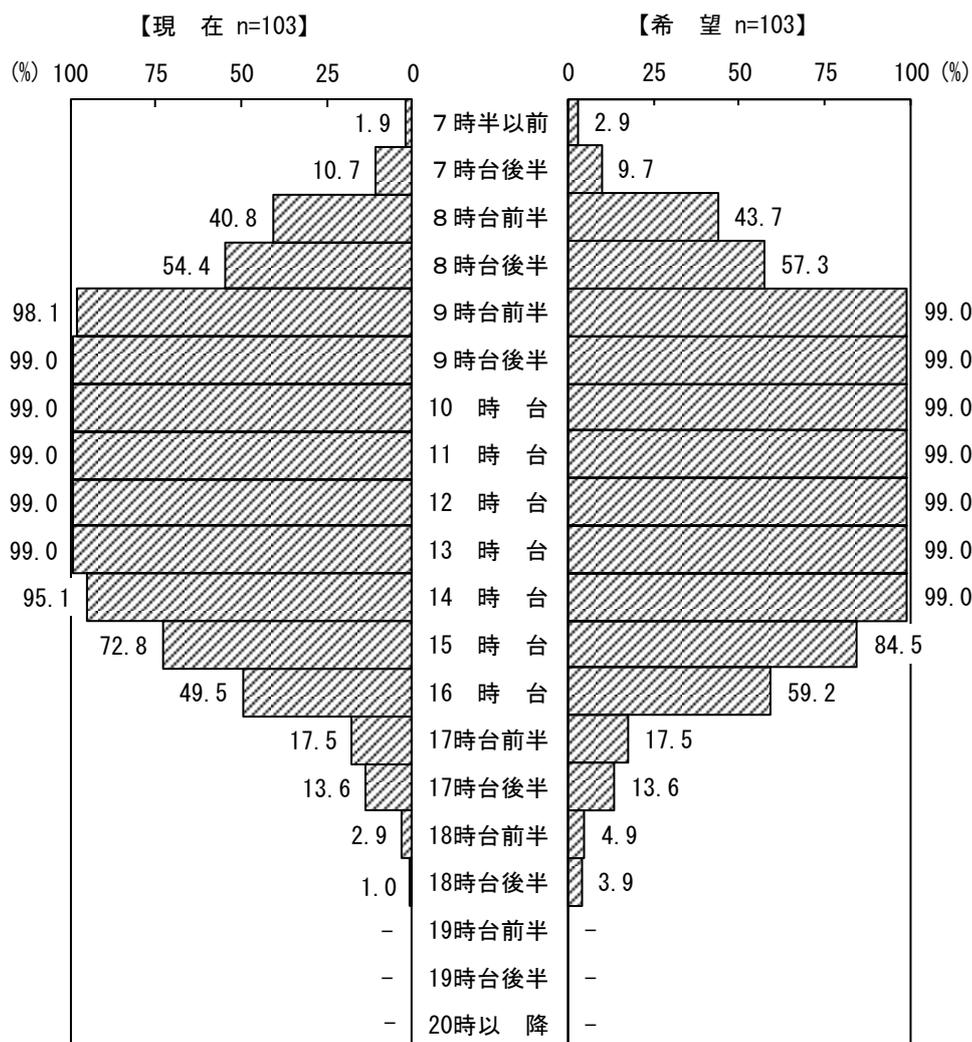


③ 利用時間帯（現在と希望）

現在の利用時間帯は、8時台前半には40%、8時台後半には50%を上回り、9時台前半から14時台は90%後半となっています。

希望する利用時間帯は、14時台までは現在とほぼ同じですが、15・16時台は現在に比べ10ポイント前後高くなっています。

図表 1-48 認定こども園の利用時間帯（現在・希望）



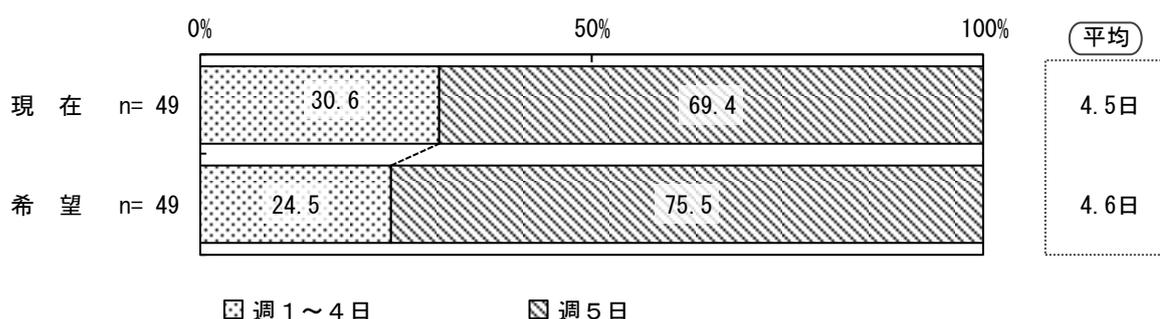
(6) 事業所内保育施設の利用日数と利用時間 [Q19-2]

① 利用日数（現在と希望）

現在の利用日数は、「週5日以上」が69.4%、「週1～4日」が30.6%となっています。平均は4.5日です。

希望する利用日数は、「週5日以上」が75.5%と現在に比べ6.1ポイント上昇しています。平均は4.6日です。

図表1-49 事業所内保育施設の利用日数（現在・希望）

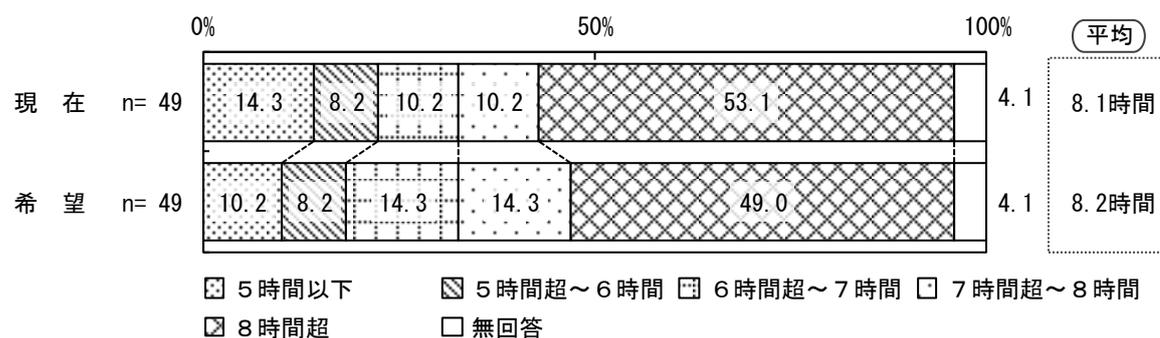


② 利用時間（現在と希望）

現在の利用時間は、「8時間超」が53.1%を占めています。平均は8.1時間です。

希望する利用時間も、「8時間超」が49.0%と最も高くなっていますが、現在に比べ4.1ポイント低下しています。平均は8.2時間です。

図表1-50 事業所内保育施設の利用時間（現在・希望）

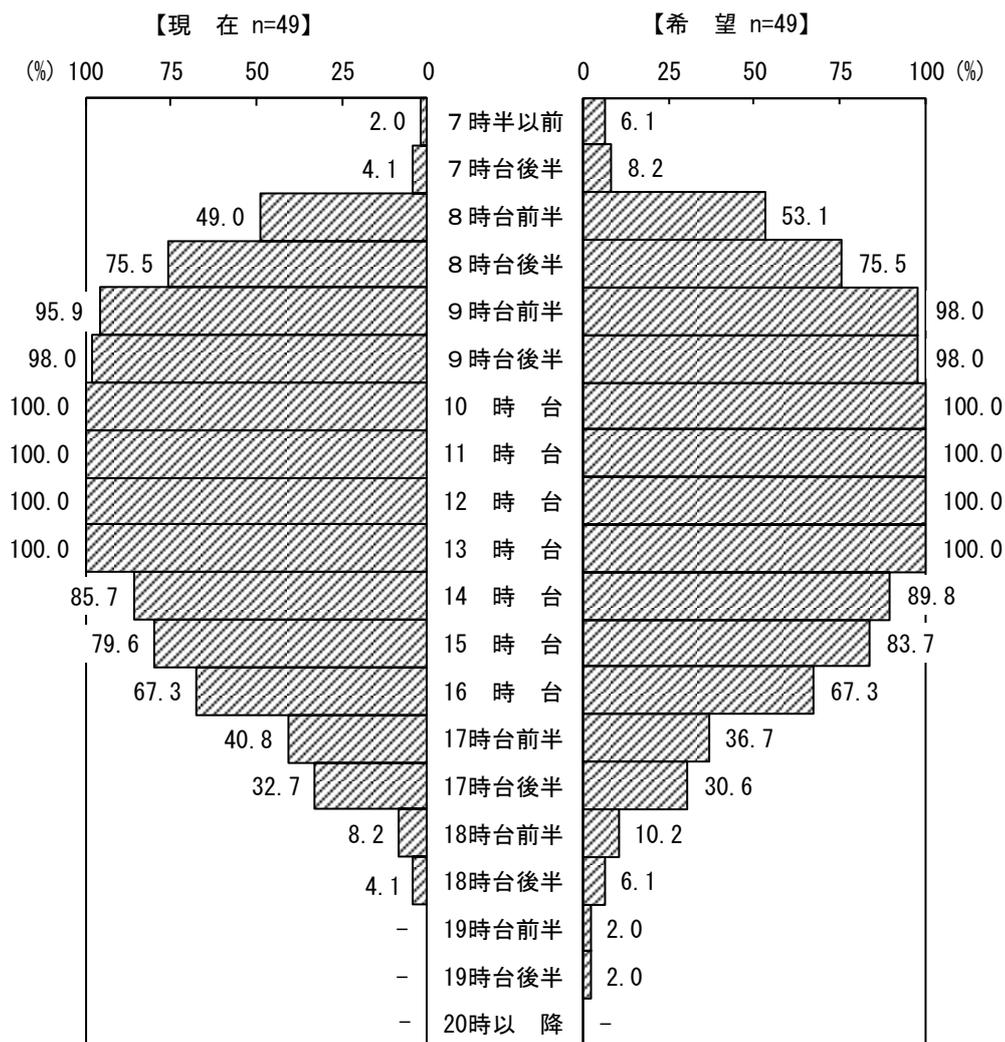


③ 利用時間帯（現在と希望）

現在の利用時間帯は、8時台前半には50%近くになり、8時台後半には75%を上回り、9時台前半から13時台は90%後半～100%となっています。

希望する利用時間帯は、現在とほぼ同じ傾向ですが、17時台は希望が現状を下回っています。

図表 1-51 事業所内保育施設の利用時間帯（現在・希望）



(7) 定期的な教育・保育事業を利用している理由 [Q19-3]

定期的な教育・保育事業を利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」が65.4%と最も高く、次いで「子育て（教育含む）をしている方が現在就労している」が62.4%となっています。子どもの年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがい「子どもの教育や発達のため」が高くなる傾向にあります。

2013年の調査結果との比較では、「子育て（教育含む）をしている方が現在就労している」が7.9ポイント上昇しています。

図表 1-52 定期的な教育・保育事業を利用している理由（複数回答）

単位：nは人、他は%



区分	n	子どもの教育や発達のため	子育て（教育含む）をしている方が現在就労している	子育て（教育含む）をしている方が就労予定がある／求職中である	子育て（教育含む）をしている方が家族・親族などを介護している	子育て（教育含む）をしている方が病気や障がいがある	子育て（教育含む）をしている方が学生である	その他	無回答	
2013年	1,902	62.9	54.5	4.3	0.9	0.8	0.1	2.1	3.8	
2018年	1,854	65.4	62.4	2.1	0.6	1.1	0.2	1.6	1.3	
子どもの年齢	0歳	1	-	100.0	-	-	-	-	-	
	1歳	73	32.9	97.3	1.4	-	1.4	-	1.4	1.4
	2歳	162	32.1	88.9	3.1	1.2	-	0.6	1.9	0.6
	3歳	246	57.7	72.4	1.6	-	1.2	0.4	2.8	0.4
	4歳	393	67.4	60.3	2.5	1.0	0.8	0.3	1.3	2.0
	5歳	465	75.3	54.8	1.3	0.4	1.7	-	1.3	1.5
	6歳	479	73.1	53.7	2.7	0.8	1.0	0.2	1.5	1.5
母親の就労状況	フルタイム	595	41.3	94.6	0.8	0.2	0.3	0.2	0.2	1.3
	パート等	705	66.4	75.9	0.4	0.4	0.7	-	0.9	1.1
	産休・育休等	87	63.2	55.2	13.8	1.1	1.1	1.1	9.2	1.1
	非就労	455	95.8	0.7	4.2	1.3	2.6	0.4	3.1	1.8
利用事業	幼稚園	758	96.6	22.7	2.1	0.5	0.9	-	1.8	1.6
	保育所・保育園	885	42.4	93.6	2.3	0.7	1.4	0.3	1.0	1.1
	認定こども園	103	50.5	86.4	1.0	-	-	-	1.0	1.0
	事業所内保育施設	49	18.4	95.9	2.0	-	-	2.0	-	2.0
	その他	50	76.0	34.0	2.0	4.0	4.0	-	8.0	2.0

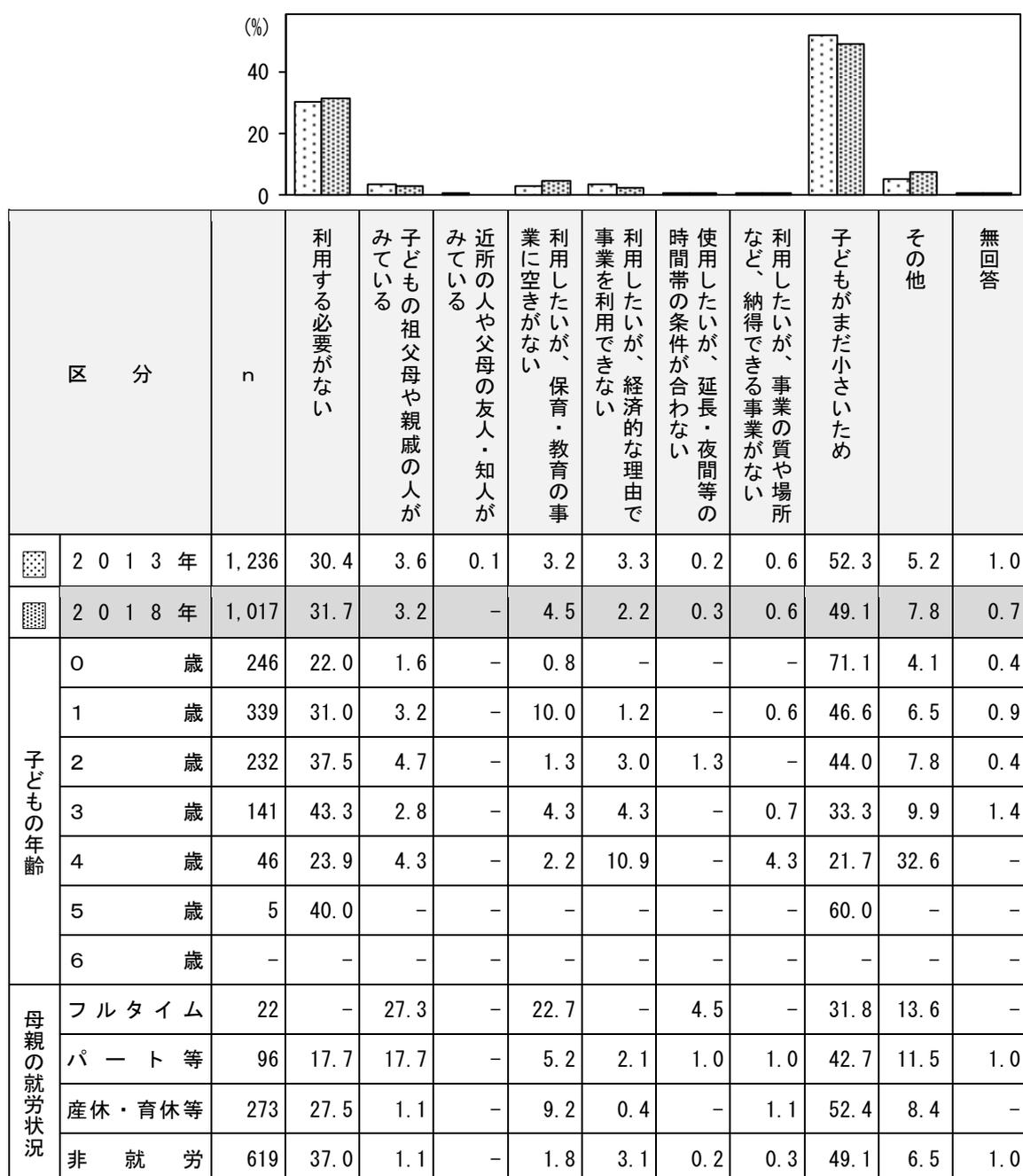
(8) 定期的な教育・保育事業を利用していない理由 [Q20]

Q18で定期的な教育・保育事業を「利用していない」と回答した1,017人を対象に、その理由をたずねたところ、「子どもがまだ小さいため」が49.1%と最も高く、次いで「利用する必要がない」が31.7%となっています。「子どもの祖父母や親戚がみている」は3.2%です。利用したいにもかかわらずできていないのは、「事業に空きがない」が4.5%、「経済的な理由」が2.2%です。

「その他」として、「育児休業中」「子どもと一緒に過ごしたいため」「保育所申請中」などの記載がありました。

図表 1-53 定期的な教育・保育事業を利用していない理由（複数回答）

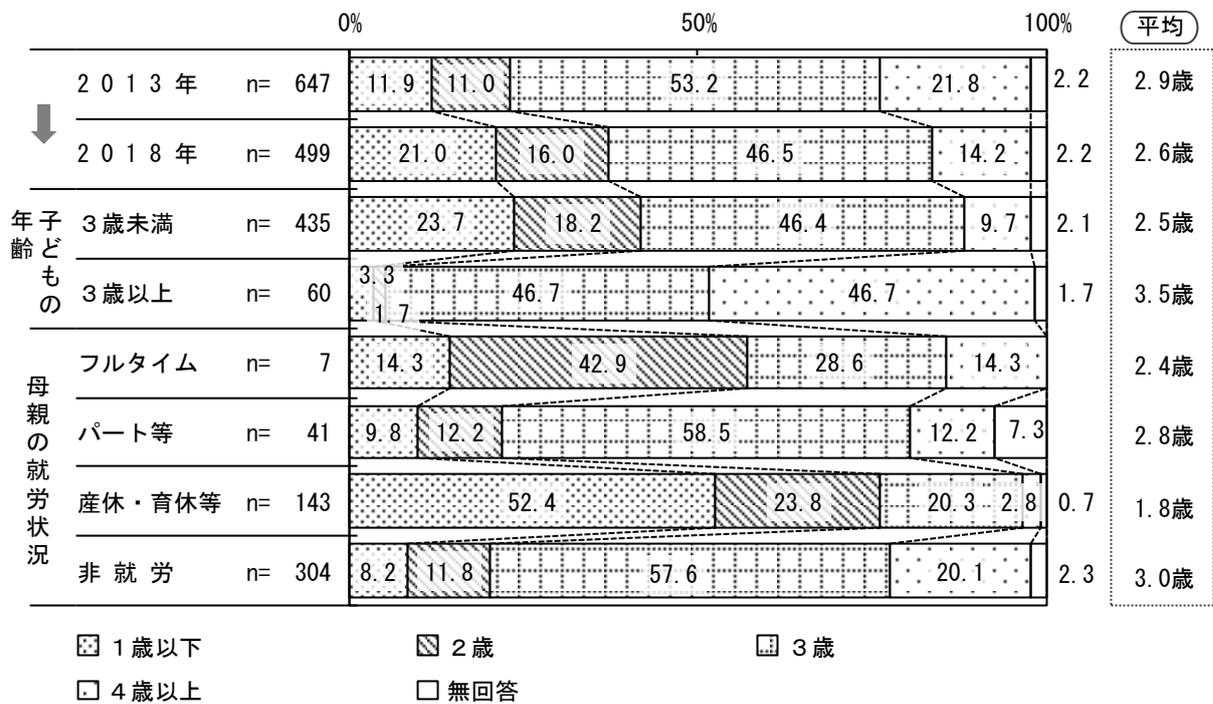
単位：nは人、他は%



「子どもがまだ小さいため」と回答した499人に、子どもが何歳になったら利用したいかをたずねたところ、「3歳」が46.5%と最も高く、次いで「1歳以下」が21.0%となっており、平均は2.6歳です。

2013年の調査結果との比較では、「1歳以下」が9.1ポイント上昇しており、平均でも0.3歳低くなっています。

図表 1-54 子どもが何歳になったら利用したいか



(9) 定期的に利用したい教育・保育事業 [Q21]

現在、利用している、利用していないにかかわらず、定期的に利用したい教育・保育事業は、「幼稚園」が56.4%と最も高く、次いで「保育所・保育園」が54.7%、「幼稚園の預かり保育」が26.5%、「認定こども園」が21.4%などとなっています。

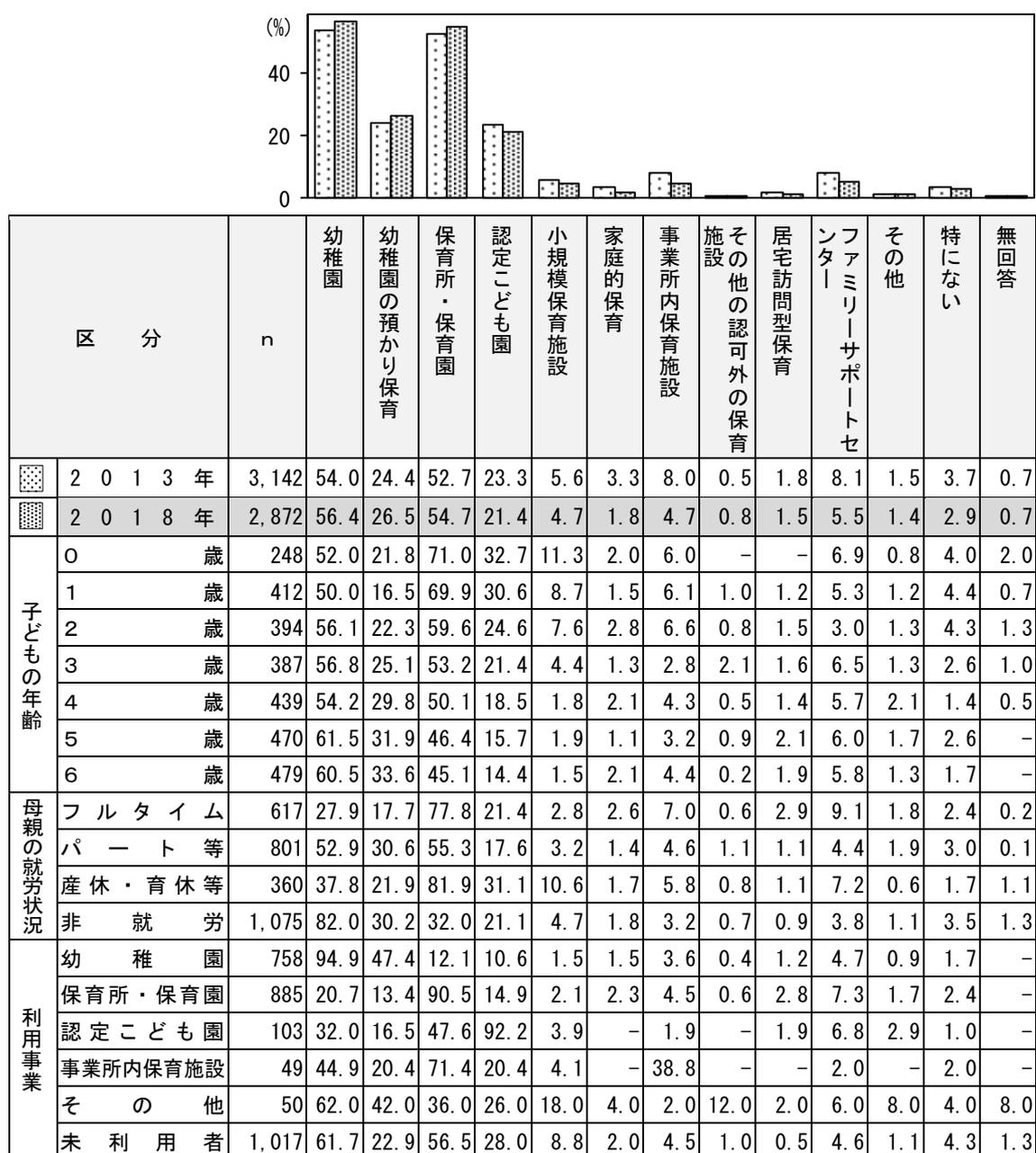
子どもの年齢別にみると、3歳未満は「保育所・保育園」、3歳以上は「幼稚園」が高くなっています。

利用事業別にみると、未利用者では「幼稚園」が61.7%と最も高く、「保育所・保育園」が56.5%、「認定こども園」が28.0%となっています。

「その他」として、「森のようちえん」「インターナショナルスクール」「放課後等サービス」などの記載がありました。

図表 1-55 定期的に利用したい教育・保育事業（複数回答）

単位：nは人、他は%



図表 1-56 定期的に利用したい教育・保育事業（小学校区別／複数回答）

単位：nは人、他は%

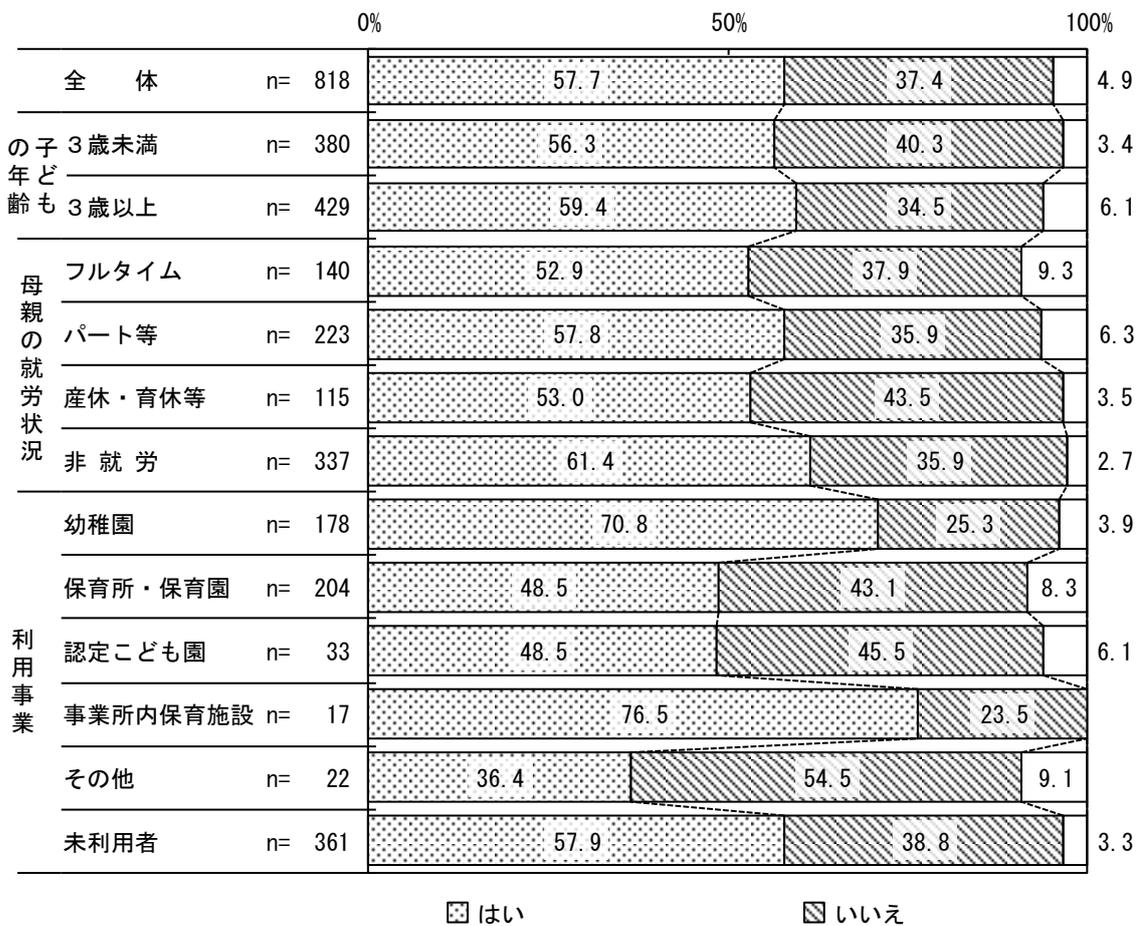
区分	n	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育所・保育園	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	設	その他の認可外保育施設	居宅訪問型保育	ファミリーサポートセンター	その他	特になし	無回答
日進	112	53.6	25.9	58.0	34.8	5.4	0.9	3.6	-	-	0.9	-	2.7	0.9	
精義	73	64.4	31.5	46.6	27.4	9.6	6.8	5.5	1.4	4.1	13.7	1.4	4.1	-	
立教	51	56.9	23.5	51.0	35.3	2.0	-	2.0	2.0	2.0	2.0	3.9	5.9	-	
城東	15	20.0	13.3	73.3	40.0	6.7	-	6.7	-	6.7	13.3	-	-	-	
益世	166	56.0	25.3	51.2	28.9	3.6	3.0	3.6	1.2	0.6	6.0	1.8	2.4	1.2	
修徳	129	62.8	29.5	46.5	25.6	3.9	1.6	7.0	1.6	-	6.2	1.6	1.6	-	
大成	231	62.3	31.2	51.9	22.9	6.1	2.2	3.5	0.9	3.5	6.5	3.0	2.2	0.4	
桑部	81	54.3	19.8	55.6	22.2	4.9	2.5	4.9	1.2	1.2	4.9	-	3.7	-	
在良	156	57.1	26.3	51.9	17.9	7.1	0.6	5.8	1.3	1.3	3.8	2.6	2.6	0.6	
七和	107	57.0	28.0	51.4	18.7	1.9	0.9	5.6	-	2.8	4.7	-	3.7	-	
久米	101	48.5	20.8	62.4	15.8	3.0	-	5.9	-	-	6.9	-	2.0	1.0	
深谷	34	55.9	26.5	64.7	17.6	-	-	8.8	-	2.9	2.9	-	5.9	-	
城南	174	47.1	22.4	60.9	29.3	4.6	1.1	2.3	0.6	1.7	5.7	2.9	1.1	0.6	
大和	44	43.2	20.5	70.5	15.9	4.5	-	11.4	-	-	6.8	2.3	-	-	
大山田東	311	63.3	28.3	46.9	13.5	5.1	3.2	5.5	1.0	2.3	5.8	1.0	3.2	1.0	
大山田北	189	56.6	34.4	50.3	14.8	4.8	3.2	7.9	0.5	1.6	8.5	2.1	1.1	0.5	
大山田西	34	44.1	23.5	58.8	17.6	-	-	-	-	-	5.9	2.9	2.9	-	
大山田南	110	55.5	31.8	60.0	18.2	8.2	-	0.9	-	0.9	5.5	-	4.5	-	
藤が丘	146	66.4	34.9	43.8	19.2	2.7	0.7	4.8	1.4	1.4	8.2	1.4	5.5	-	
星見ヶ丘	114	64.9	21.1	53.5	21.9	5.3	1.8	5.3	1.8	-	3.5	0.9	2.6	3.5	
多度東	14	21.4	7.1	78.6	21.4	-	-	-	7.1	7.1	7.1	7.1	-	-	
多度中	124	46.8	21.8	71.8	21.8	3.2	1.6	3.2	0.8	-	1.6	-	2.4	0.8	
多度北	33	42.4	15.2	87.9	24.2	3.0	3.0	-	-	-	9.1	3.0	3.0	-	
多度青葉	22	45.5	18.2	63.6	18.2	4.5	-	-	-	-	-	-	4.5	4.5	
長島北部	47	48.9	19.1	55.3	21.3	4.3	4.3	6.4	-	-	-	2.1	6.4	-	
長島中部	140	54.3	25.7	62.9	22.9	5.7	2.1	4.3	-	2.9	6.4	0.7	2.1	1.4	
伊曾島	45	66.7	22.2	46.7	11.1	-	-	2.2	-	-	-	-	4.4	-	

(10) 共働き等家庭の子どもの幼稚園利用ニーズ [Q21-1]

Q21で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」と回答し、かつ「3.」～「11.」のいずれかを選んだ818人を対象に、「幼稚園」の利用を強く希望するかたずねたところ、「はい」が57.7%です。

母親の就労状況別にみると、いずれも「はい」が50%を超えており、特に非就労では60%を超えています。また、利用事業別にみると、事業所内保育施設及び幼稚園では「はい」が70%を超えています。

図表 1-57 幼稚園の利用を強く希望するか



4 地域の子育て支援事業

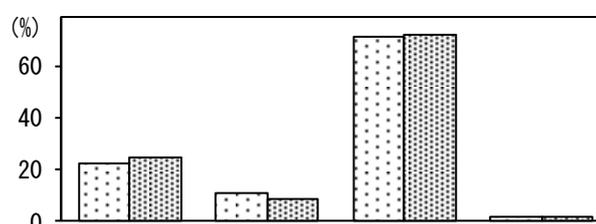
(1) 子育て支援センター等の利用状況 [Q22-1]

① 利用状況

市内8か所で実施している子育て支援センター及び類似した事業(あおぞら出前保育など)の利用状況をたずねたところ、「利用していない」(72.0%)と無回答(1.4%)を除いた26.6%が、いずれかまたは複数の事業を利用していることになります。また、定期的な教育・保育事業の未利用者に限ってみると利用率は55.1%(100%-43.6%(利用していない)-1.3%(無回答))です。

図表1-58 地域子育て支援拠点事業の利用状況(複数回答)

単位：nは人、他は%



区 分		n	子育て支援センター	類似した事業	利用していない	無回答
2013年		3,142	22.6	10.9	71.5	1.8
2018年		2,872	24.7	8.5	72.0	1.4
子どもの年齢	3歳未満	1,054	43.2	13.2	53.7	0.9
	3歳以上	1,775	13.9	5.8	82.8	1.5
母親の就労状況	フルタイム	617	9.1	1.6	89.3	1.1
	パート等	801	10.2	3.5	86.6	1.7
	産休・育休等	360	49.7	16.7	46.9	1.9
	非就労	1,075	36.1	13.5	59.3	1.0
利用事業	幼稚園	758	11.7	3.0	86.1	1.2
	保育所・保育園	885	7.1	1.4	91.0	1.5
	認定こども園	103	10.7	1.0	88.3	1.0
	事業所内保育施設	49	18.4	4.1	79.6	-
	その他	50	36.0	16.0	52.0	6.0
	未利用者	1,017	50.9	19.6	43.6	1.3

※子育て支援センターは保育所・幼稚園等を利用していない就学前の子どもが主な利用対象者となります。

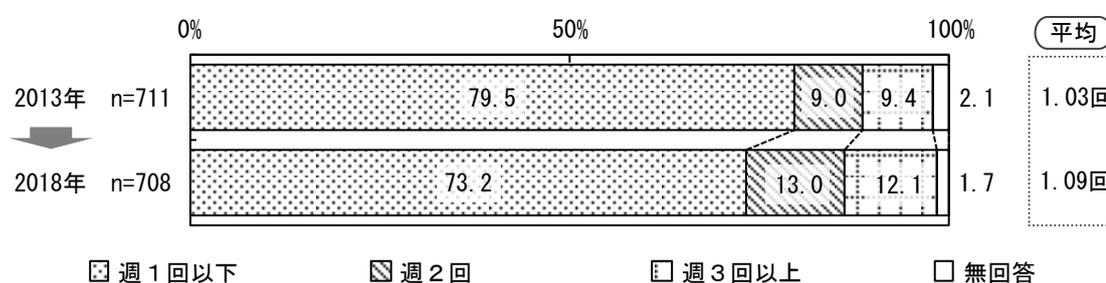
② 利用回数

子育て支援センター及び類似した事業の利用者に、その利用頻度をたずねたところ、子育て支援センターは、「週1回以下」が73.2%を占め、1週あたりの平均は1.09回です。2013年の調査結果に比べ、平均で0.06回増加しています。

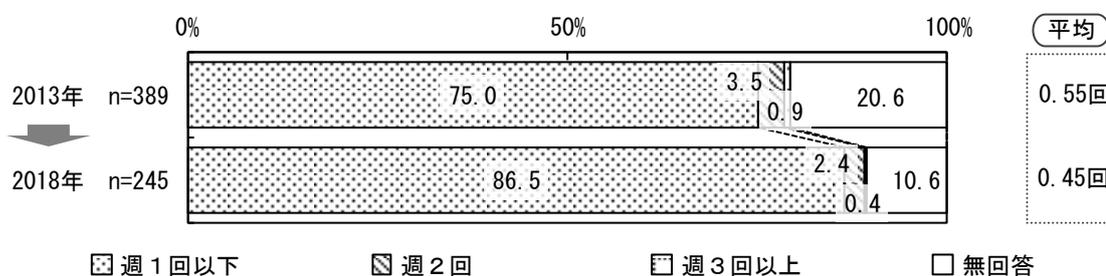
類似した事業は、「週1回以下」が86.5%を占め、1週あたりの平均は0.45回となっています。2013年の調査結果との比較では、「週1回以下」が高くなっており、平均で0.1回減少しています。

図表 1-59 利用回数（回/週）

■子育て支援センター



■類似する事業



③ 利用している類似事業の種類

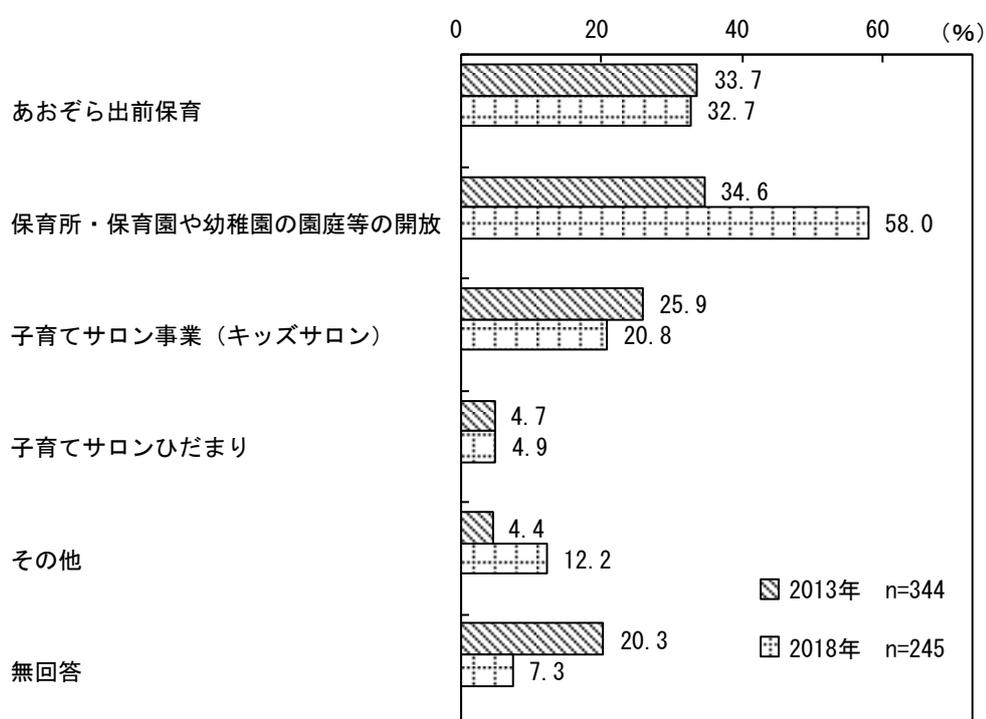
類似した事業の利用者に、その種類をたずねたところ、「保育園や幼稚園の園庭等の開放」が58.0%、「あおぞら出前保育」が32.7%、「子育てサロン事業（キッズサロン）」が20.8%などとなっています。

2013年の調査結果との比較では、「保育園や幼稚園の園庭等の開放」が20ポイント以上上昇しています。

「その他」として、「にこにこ広場」「どんぐり教室」「大型遊具であそぼう」等が記載されていました。

図表 1-60 利用している類似事業の種類（複数回答）

単位：nは人、他は%



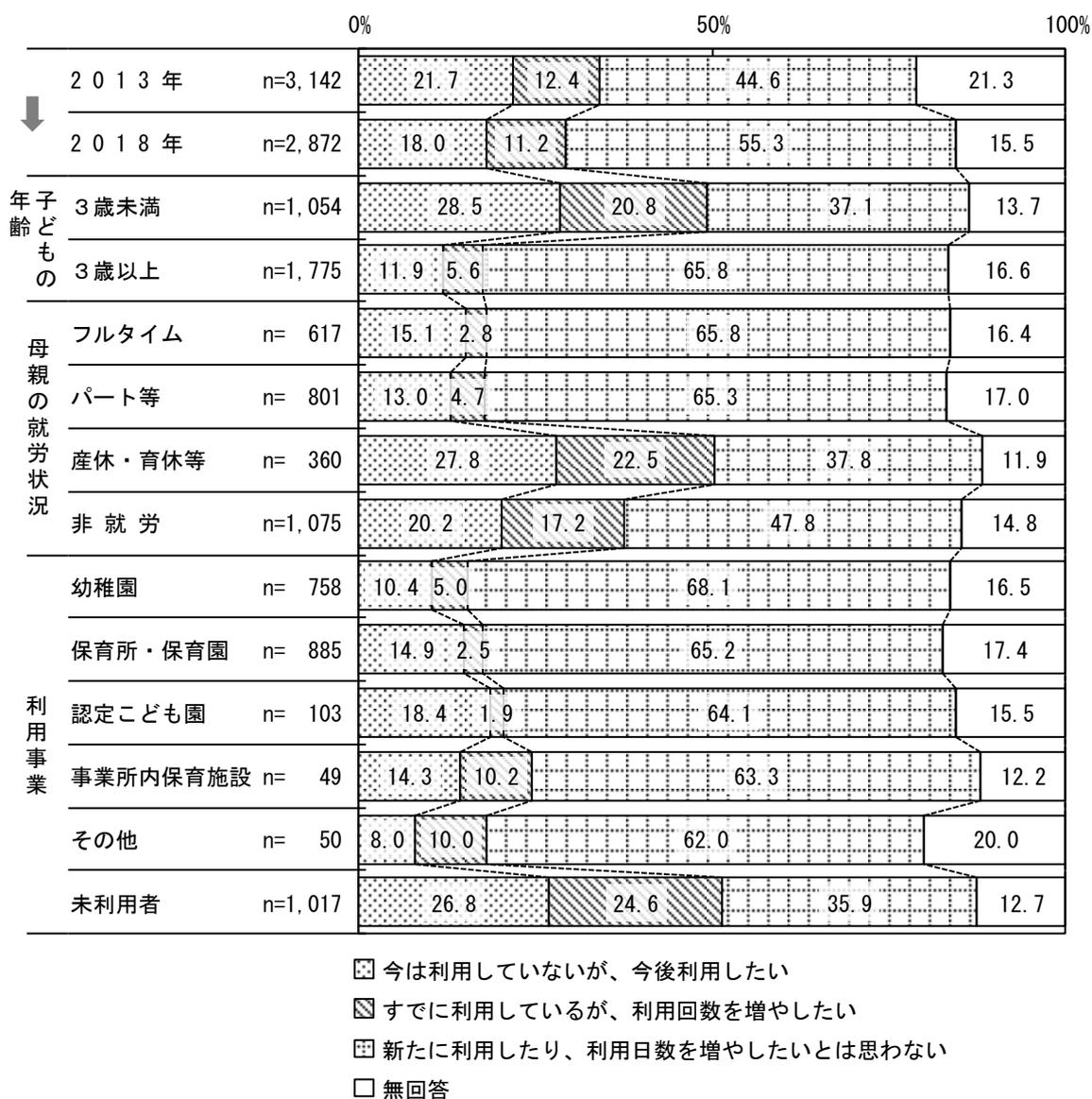
(2) 子育て支援センターの利用意向 [Q22-2]

① 利用意向

子育て支援センター等の利用意向をたずねたところ、「今は利用していないが、今後利用したい」が18.0%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が11.2%あります。定期的な教育・保育事業の未利用者に限ってみると、「今は利用していないが、今後利用したい」が26.8%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が24.6%となっています。

2013年の調査結果との比較では、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が10.7ポイント上昇しています。

図表 1-61 子育て支援センターの利用意向



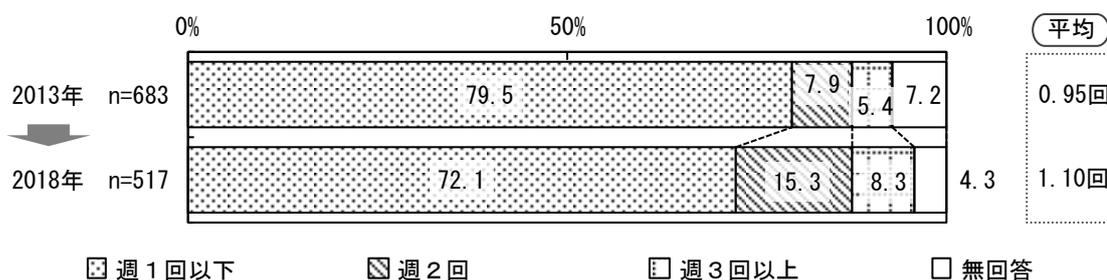
② 利用したい回数

①で、利用意向のあった回答者に利用したい回数をたずねたところ、利用していない人が今後利用したい回数は、1週あたり平均1.10回で、2013年の調査結果に比べ0.15回増加しています。

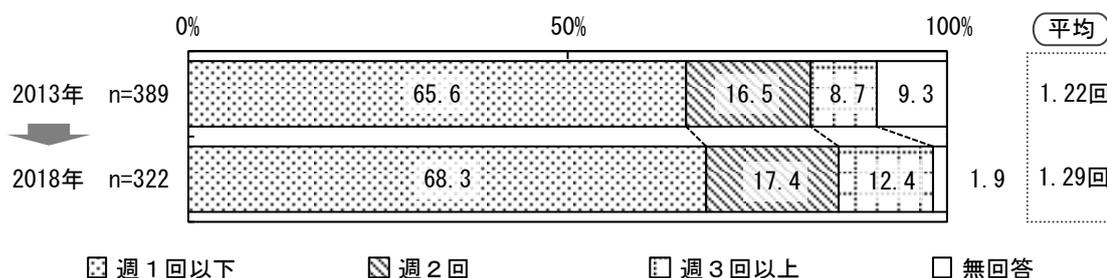
すでに利用している人が今後増やしたい回数は、1週あたり平均1.29回で、2013年の調査結果に比べ0.07回増加しています。

図表 1-62 利用したい回数

■利用していない人（利用したい回数）



■すでに利用している人（増やしたい回数）

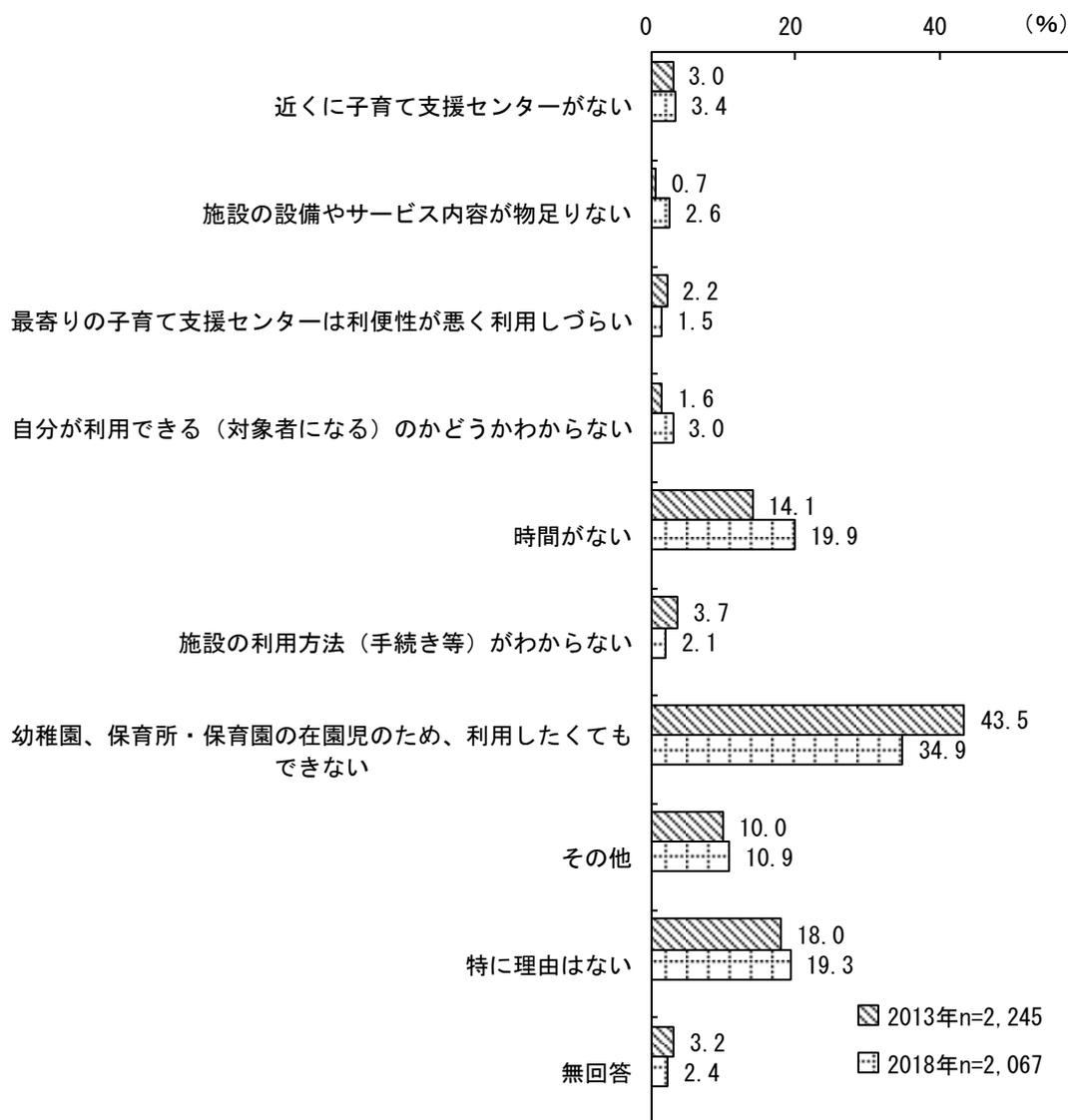


(3) 子育て支援センター等を利用していない理由 [Q22-3]

子育て支援センター等を利用していない人に、その主な理由をたずねたところ、「幼稚園、保育所・保育園の在園児のため、利用したくてもできない」が34.9%、「時間がない」が19.9%、「特に理由はない」が19.3%などとなっています。

「その他」として、「子どもがまだ小さいため」「きょうだいと一緒に遊べない」「外で遊ぶのが好きなため」「感染症が心配」「車がないため行きづらい」「支援センターがどんなところかわからない」などの記載がありました。

図表 1-63 子育て支援センターを利用していない理由

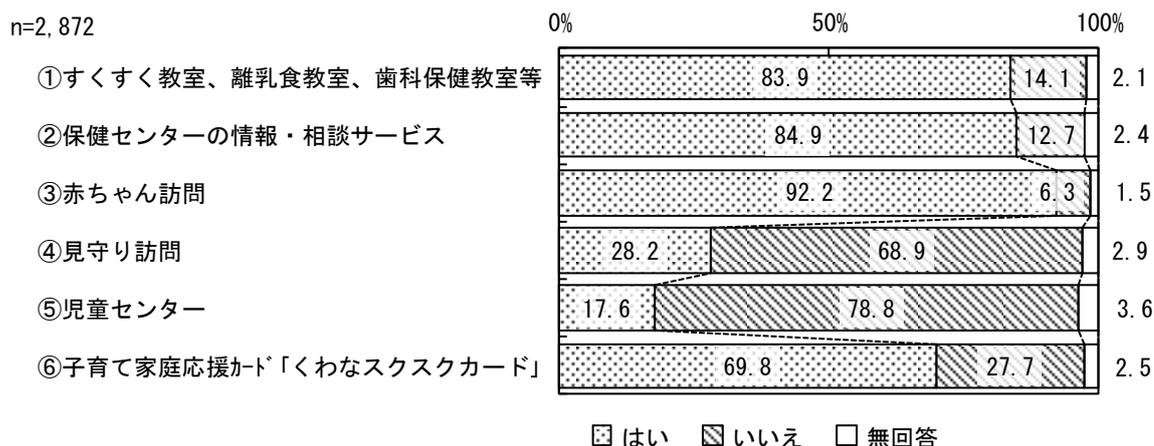


(4) その他の子育て支援事業 [Q23]

① 認知度

本市が実施しているその他の子育て支援事業の認知度は、〈赤ちゃん訪問〉が92.2%、〈保健センターの情報・相談サービス〉が84.9%、〈すくすく教室、離乳食教室、歯科保健教室等〉が83.9%となっています。

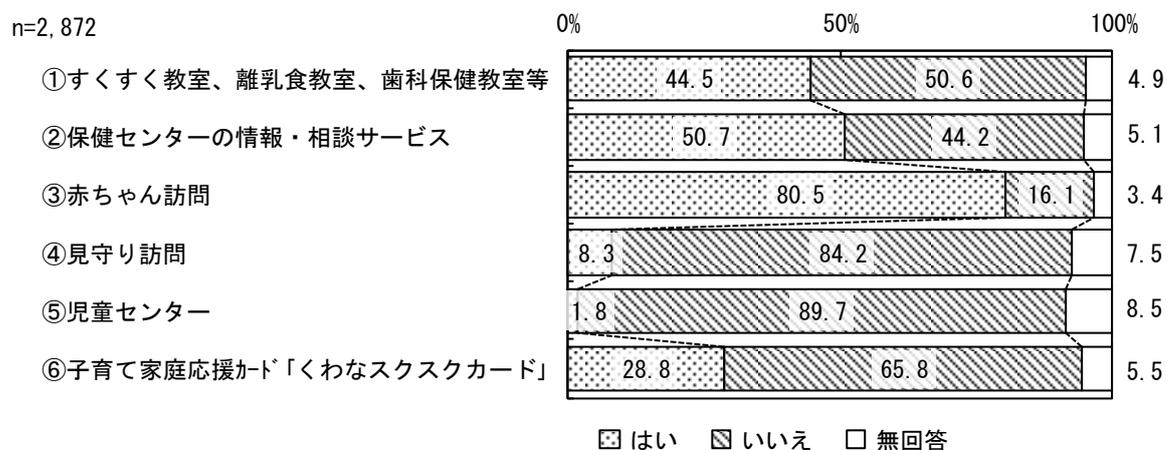
図表 1-64 認知度（「知っている」）



② 利用経験

本市が実施しているその他の子育て支援事業の利用経験は、認知度に比べて全般的に低くなっています。認知度が80%を超えていた〈すくすく教室、離乳食教室、歯科保健教室等〉及び〈保健センターの情報・相談サービス〉の利用経験は40・50%台にとどまっています。

図表 1-65 利用経験（「これまでに利用したことがある」）

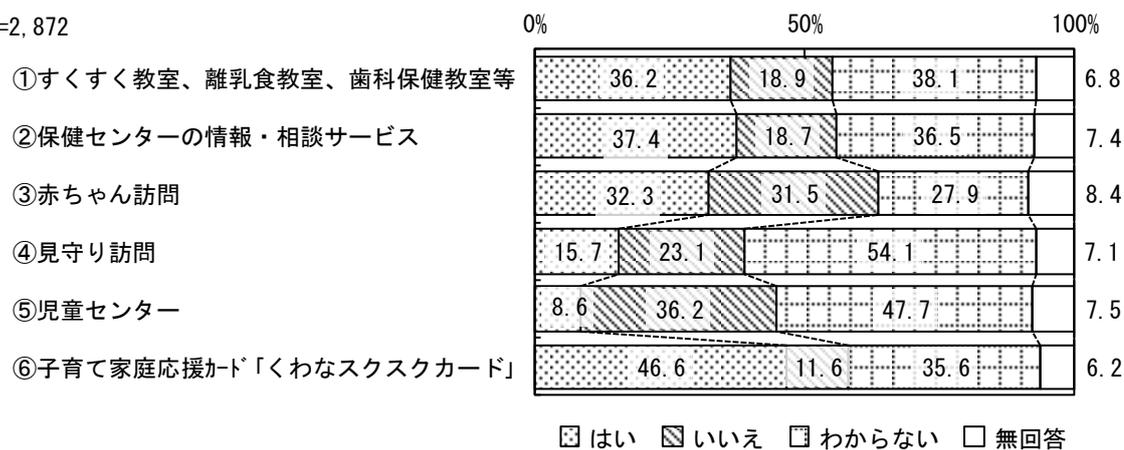


③ 利用意向

本市が実施しているその他の子育て支援事業の利用意向は、〈子育て応援カード「くわなスクスクカード」〉が46.6%と最も高くなっています。〈すくすく教室、離乳食教室、歯科保健教室等〉、〈保健センターの情報・相談サービス〉及び〈赤ちゃん訪問〉は30%台です。

図表 1-66 利用意向（「今後利用したい」）

n=2,872



5 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業

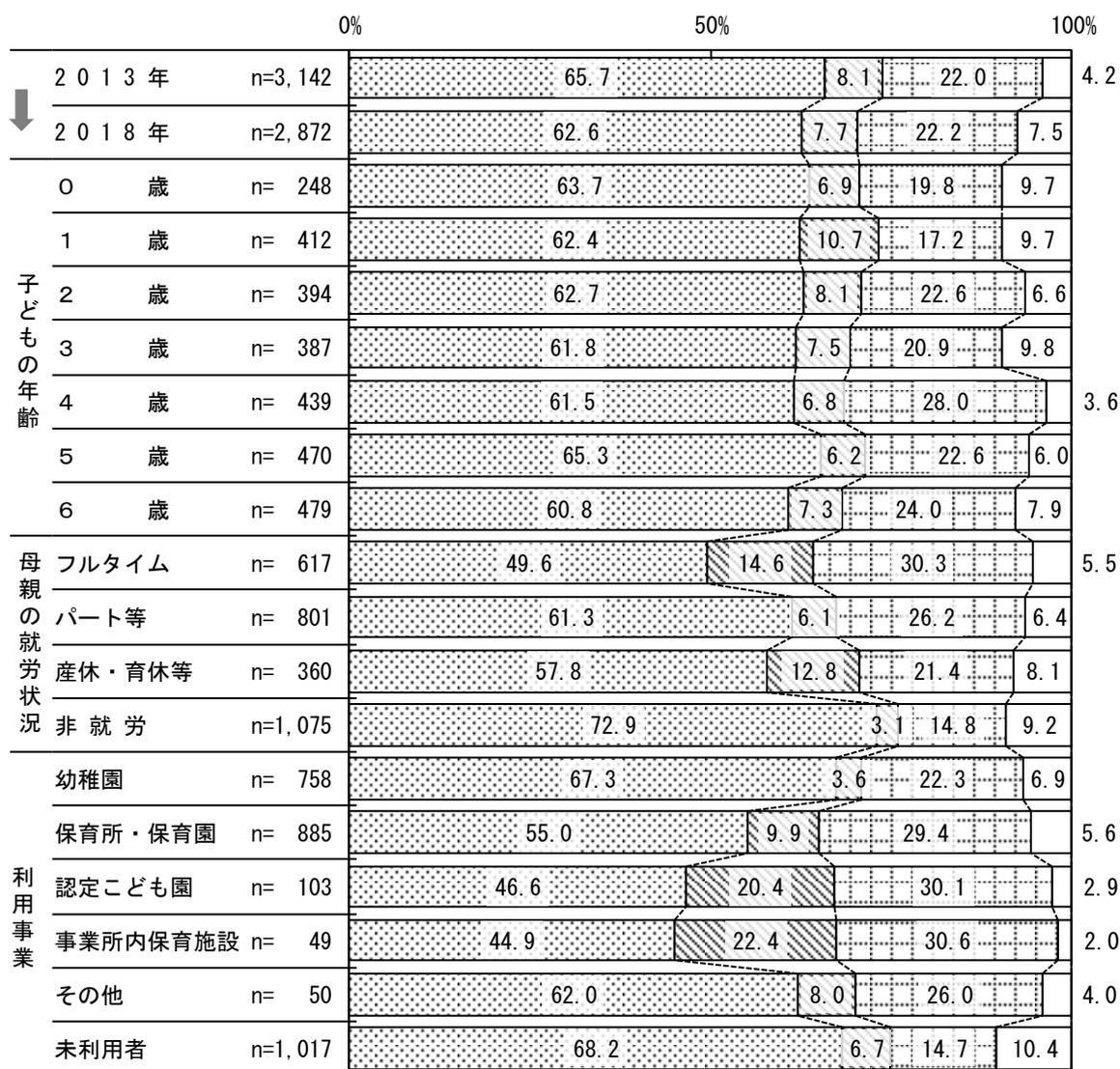
(1) 土曜日の定期的な教育・保育事業〔Q24〕

① 利用意向

土曜日の定期的な教育・保育事業については、「利用する必要はない」が62.6%を占めています。「ほぼ毎週利用したい」(7.7%)と「月に1～2回は利用したい」(22.2%)を合計した《利用したい》は29.9%です。

母親の就労状況別にみると、フルタイムの利用意向が高く、《利用したい》が44.9%にのぼっています。

図表1-67 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向

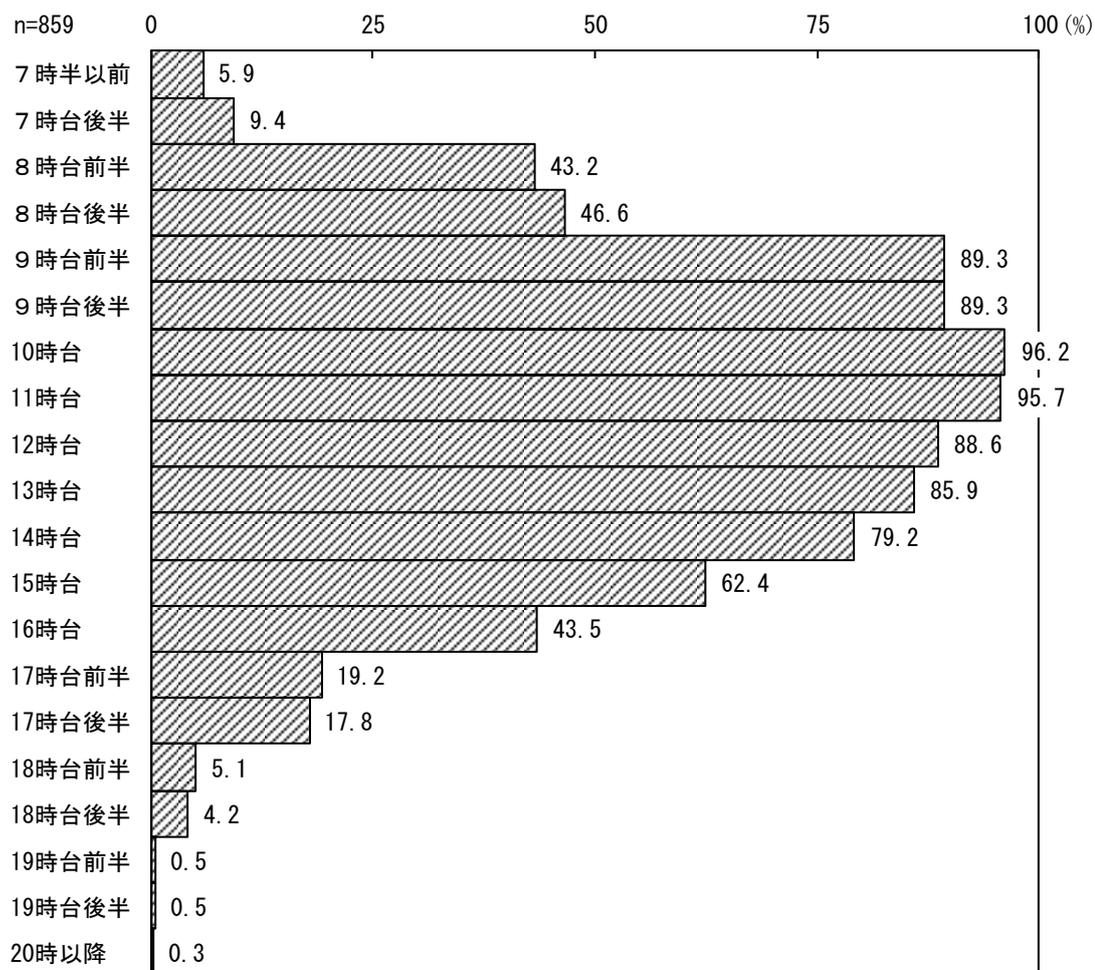


- ☐ 利用希望・利用する必要はない
- ▨ ほぼ毎週利用したい
- ▤ 月に1～2回は利用したい
- 無回答

② 利用希望時間帯

土曜日の定期的な教育・保育事業を、「ほぼ毎週利用したい」または「月に1～2回は利用したい」と回答した人の利用希望時間帯は、8時台前半から40%を超え、9時台前半～13時台までは80～90%台となっています。その後は徐々に低下しますが、17時台で15%以上あります。

図表 1-68 利用希望時間帯（土曜日）



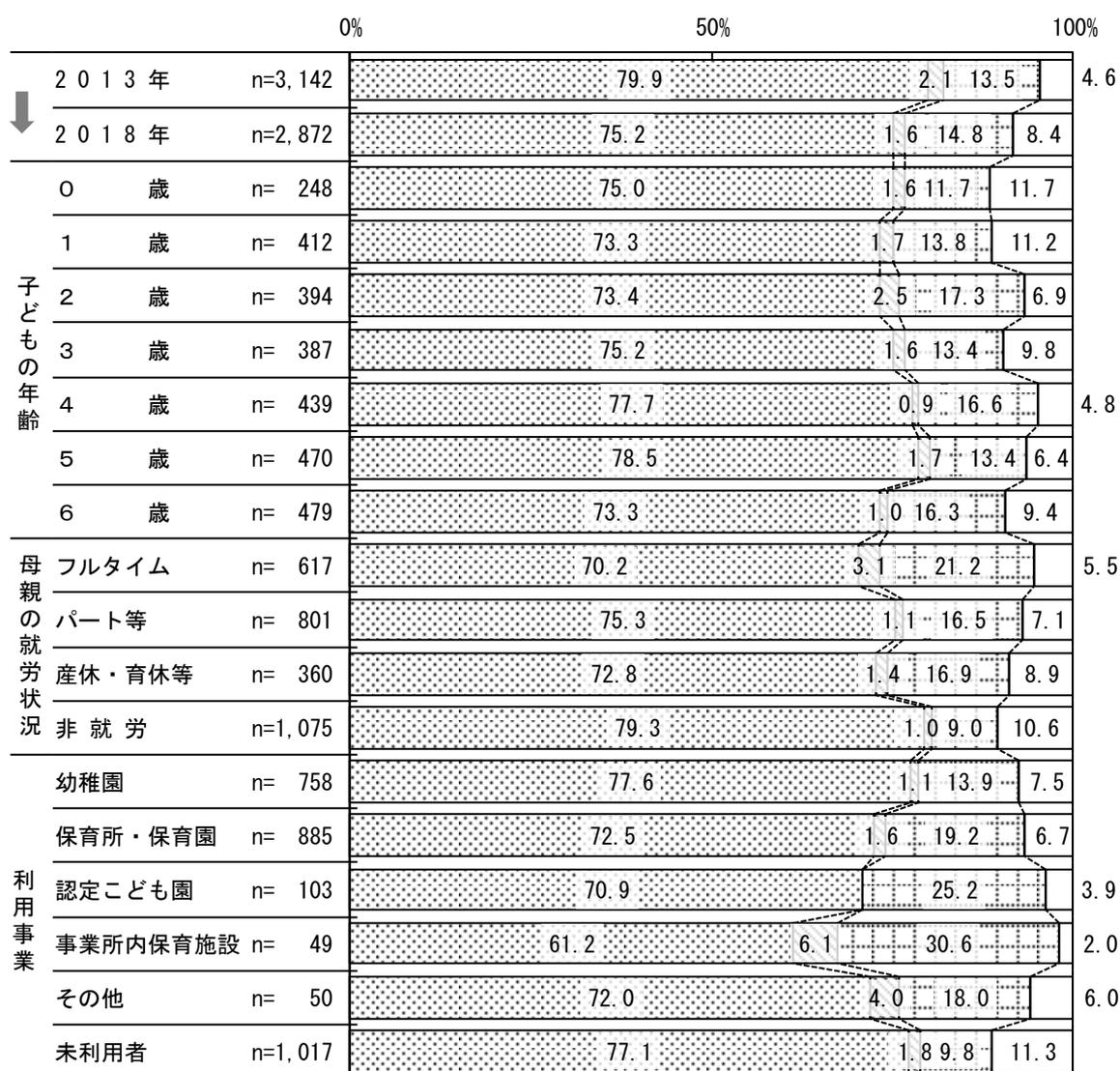
(2) 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業[Q24]

① 利用意向

日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業については、「利用する必要はない」が75.2%を占めています。「ほぼ毎週利用したい」(1.6%)と「月に1～2回は利用したい」(14.8%)を合計した《利用したい》は16.4%です。

母親の就労状況別にみると、フルタイムの利用意向が高く、《利用したい》は24.3%です。また、定期的な教育・保育事業別にみると、事業所内保育施設の《利用したい》が36.7%にのびります。

図表1-69 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向

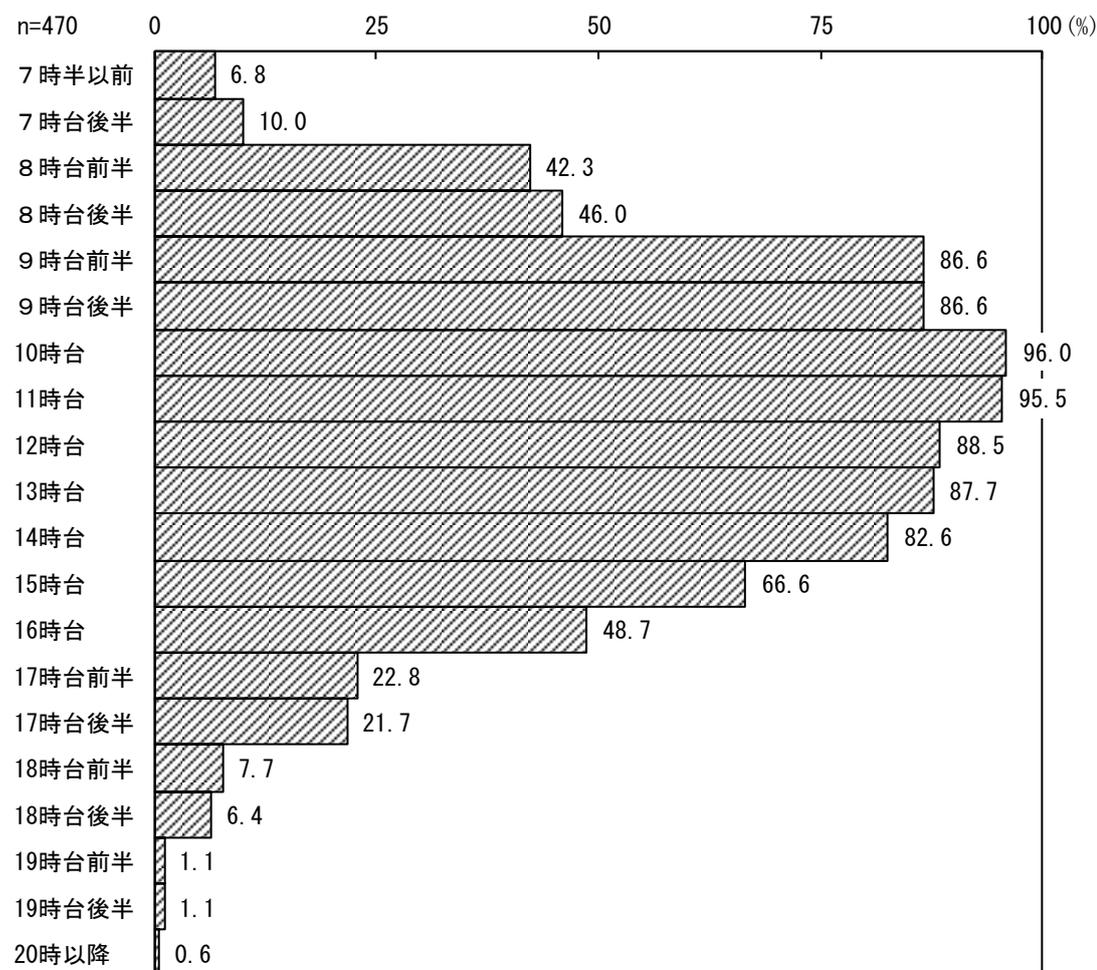


- 利用希望・利用する必要はない
- ほぼ毎週利用したい
- 月に1～2回は利用したい
- 無回答

② 利用希望時間帯

日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業を、「ほぼ毎週利用したい」または「月に1～2回は利用したい」と回答した人の利用希望時間帯は、土曜日における利用希望時間帯と同様に、8時台前半から40%を超え、9時台前半～14時台までは80～90%台となっています。その後は徐々に低下しますが、17時台で20%以上あります。

図表1-70 利用希望時間帯（日曜日・祝日）



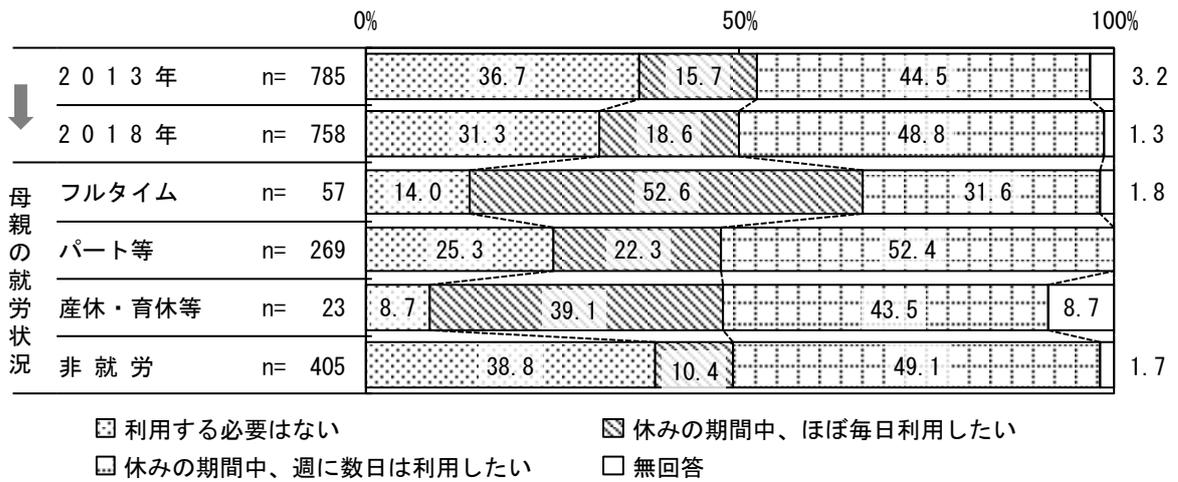
(3) 長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業（幼稚園利用者） [Q25]

① 利用意向

幼稚園の利用者に、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中における教育・保育事業の利用意向についてたずねたところ、「休みの期間中、週に数日利用したい」が48.8%と最も高くなっており、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」（18.6%）との合計《利用したい》は67.4%です。

母親の就労状況別にみると、フルタイムの利用意向が高く、《利用したい》は84.2%です。

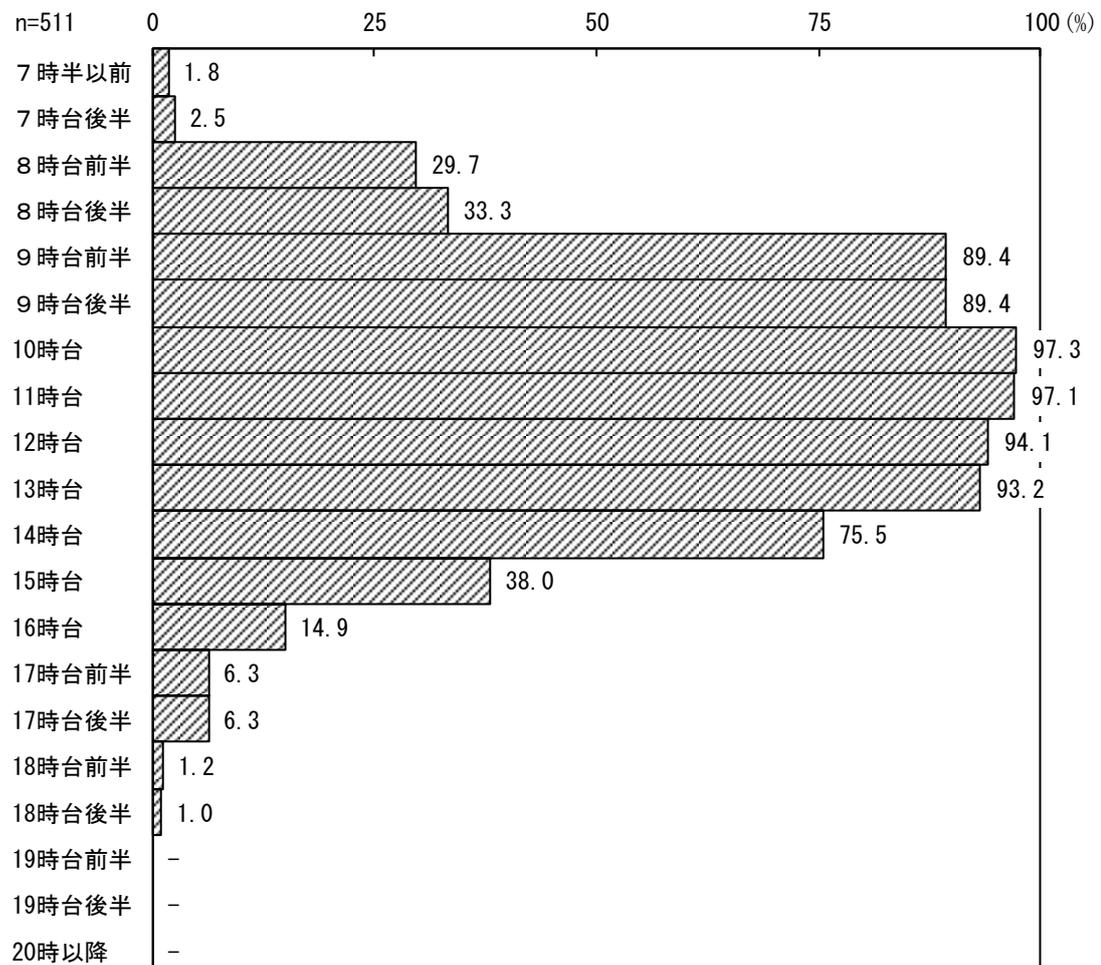
図表 1-71 長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の利用意向



② 利用希望時間帯

長期休暇期間中における教育・保育事業の利用希望時間帯は、9時台前半～13時台までは80%台後半から90%台となっています。

図表 1-72 利用希望時間帯（長期休暇期間中）



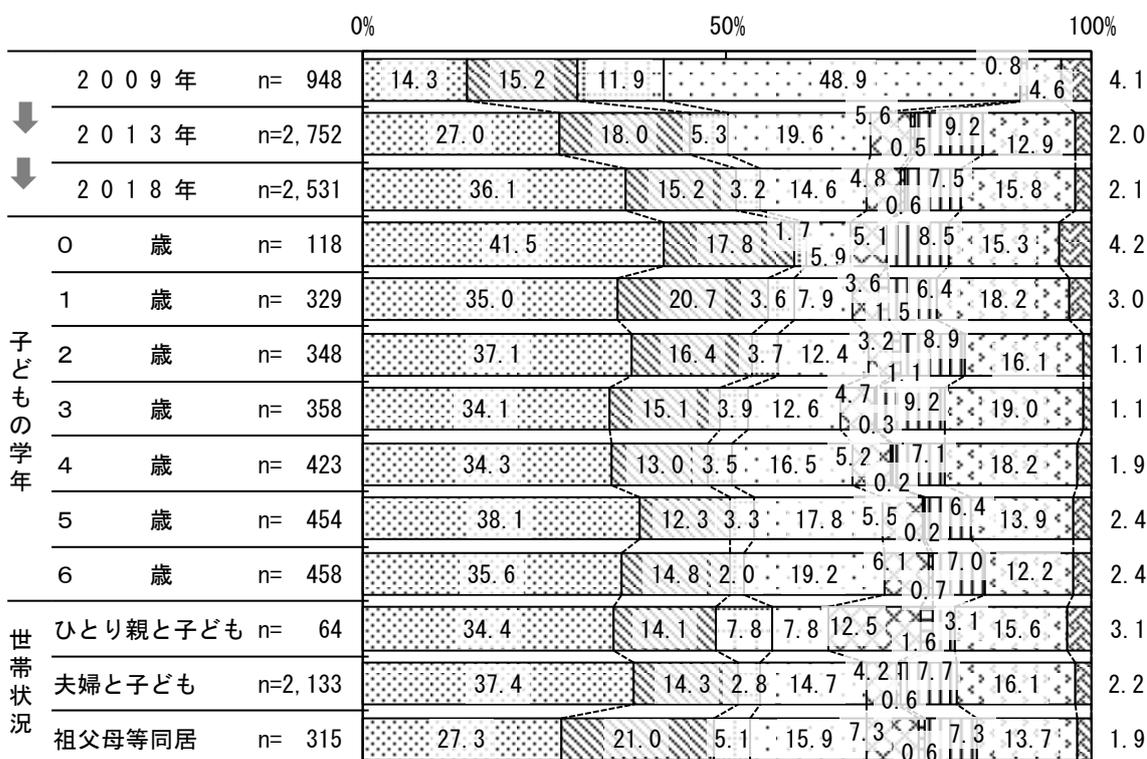
6 子どもが病気の時の対応

(1) 子どもが休日・夜間に病気になった時の対応〔Q26〕

子どもが休日・夜間に病気になった時の対応としては、「家庭用の医学書やインターネットで対処法などを調べて様子を見た」が36.1%と最も高く、次いで「「みえ子ども医療ダイヤル」に電話した」が15.8%、「自分や配偶者の親など身近な人に対処法などを教えてもらい様子を見た」が15.2%などとなっています。

過去の調査結果との比較では、「家庭用の医学書やインターネットで対処法などを調べて様子を見た」が大幅に上昇する一方、「桑名市応急診療所など市内の救急医療機関に連れて行った」が低下しています。世帯状況別にみると、祖父母等同居では「自分や配偶者の親など身近な人に対処法などを教えてもらい様子を見た」が21.0%と比較的高くなっています。

図表1-73 子どもが休日・夜間に病気になった時の対応



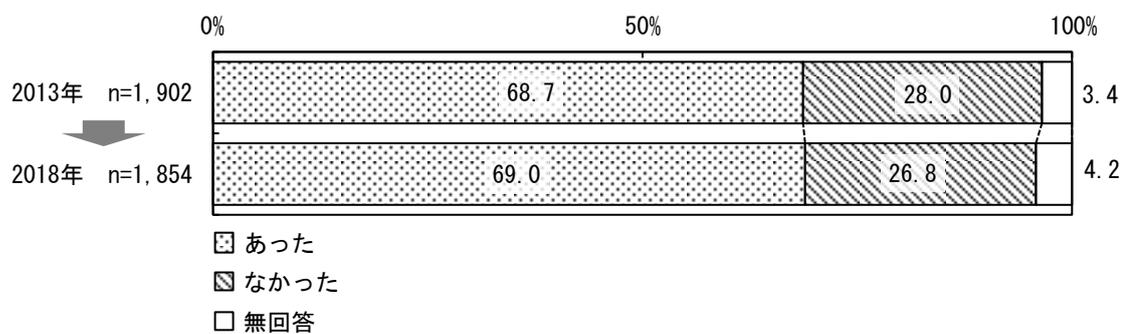
- 家庭用の医学書やインターネットで対処法などを調べて様子を見た
- 親など身近な人に対処法などを教えてもらい様子を見た
- かかりつけ医など医療機関に対処法などを問い合わせた
- 桑名市応急診療所など市内の救急医療機関に連れて行った
- 市外の救急医療機関に連れて行った
- 救急車を呼んだ
- 「くわな健康・医療相談ダイヤル24」に電話した
- 「みえ子ども医療ダイヤル」に電話した
- その他

注：「今まで、子どもが休日や夜間に病気になったことがない」及び無回答を除く。2008年の選択肢には「市外の救急医療機関に連れて行った」及び「「くわな健康・医療相談ダイヤル24」に電話した」はありません。

(2) 子どもが病気等で平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかったことの有無〔Q27〕

平日の定期的な教育・保育事業を利用している人に、「この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと」があるかをたずねたところ、「あった」が69.0%、「なかった」が26.8%となっています。

図表 1-74 子どもが病気等で平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかったことの有無



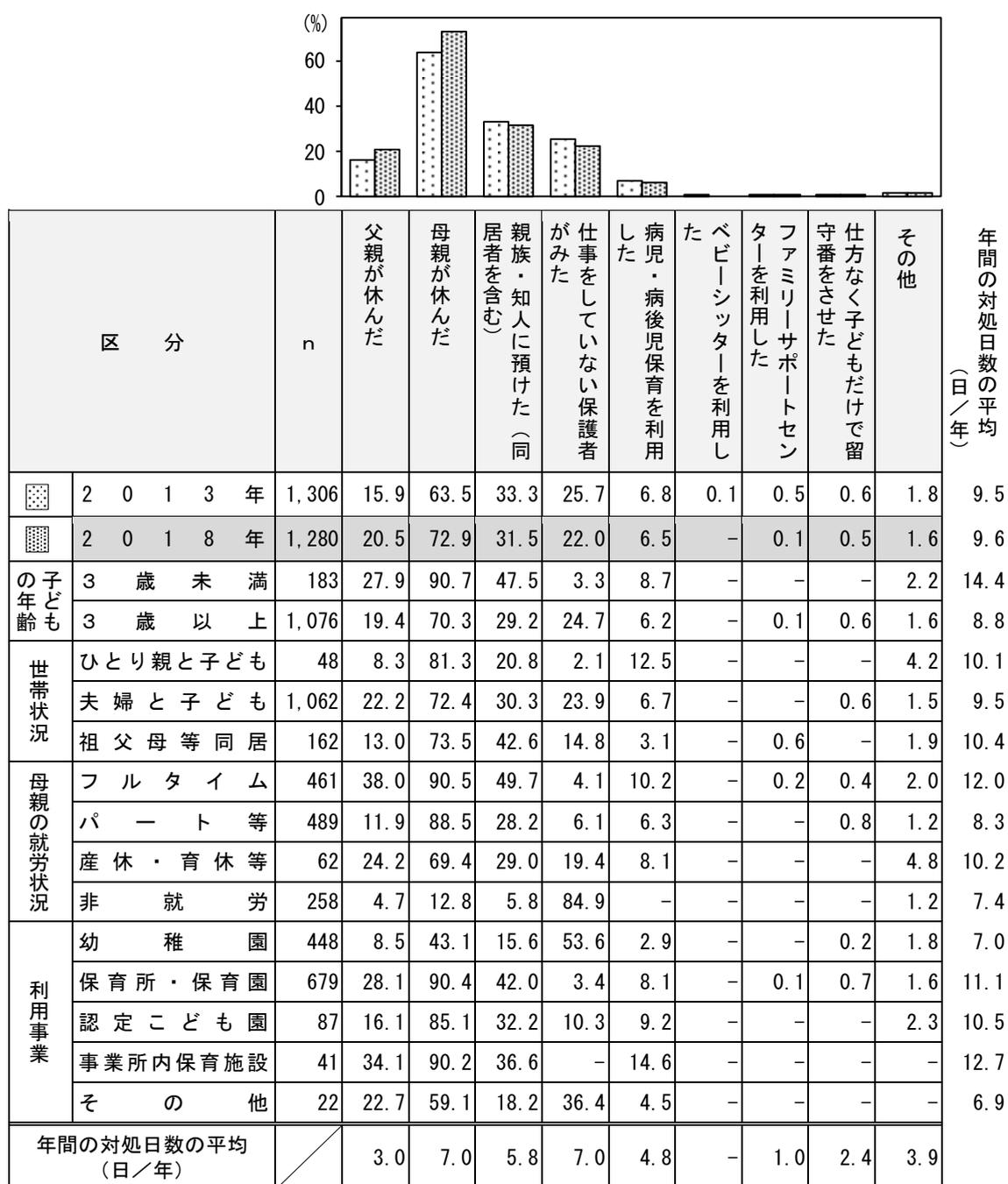
(3) 子どもが病気等で平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかった時の対処法〔Q28〕

子どもが病気等で平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかった時の対処法については、「母親が休んだ」が72.9%と突出して高く、次いで「親族・知人に預けた（同居者を含む）」が31.5%などの順となっています。

対処が必要だった年間の日数の平均は9.6日です。

子どもの年齢別にみると、3歳未満では「母親が休んだ」が90%以上を占めています。世帯状況別にみると、祖父母等同居では「親族・知人に預けた（同居者を含む）」が42.6%と比較的高くなっています。

図表 1-75 子どもが病気等で教育・保育事業を利用できなかった時の対処法（複数回答）

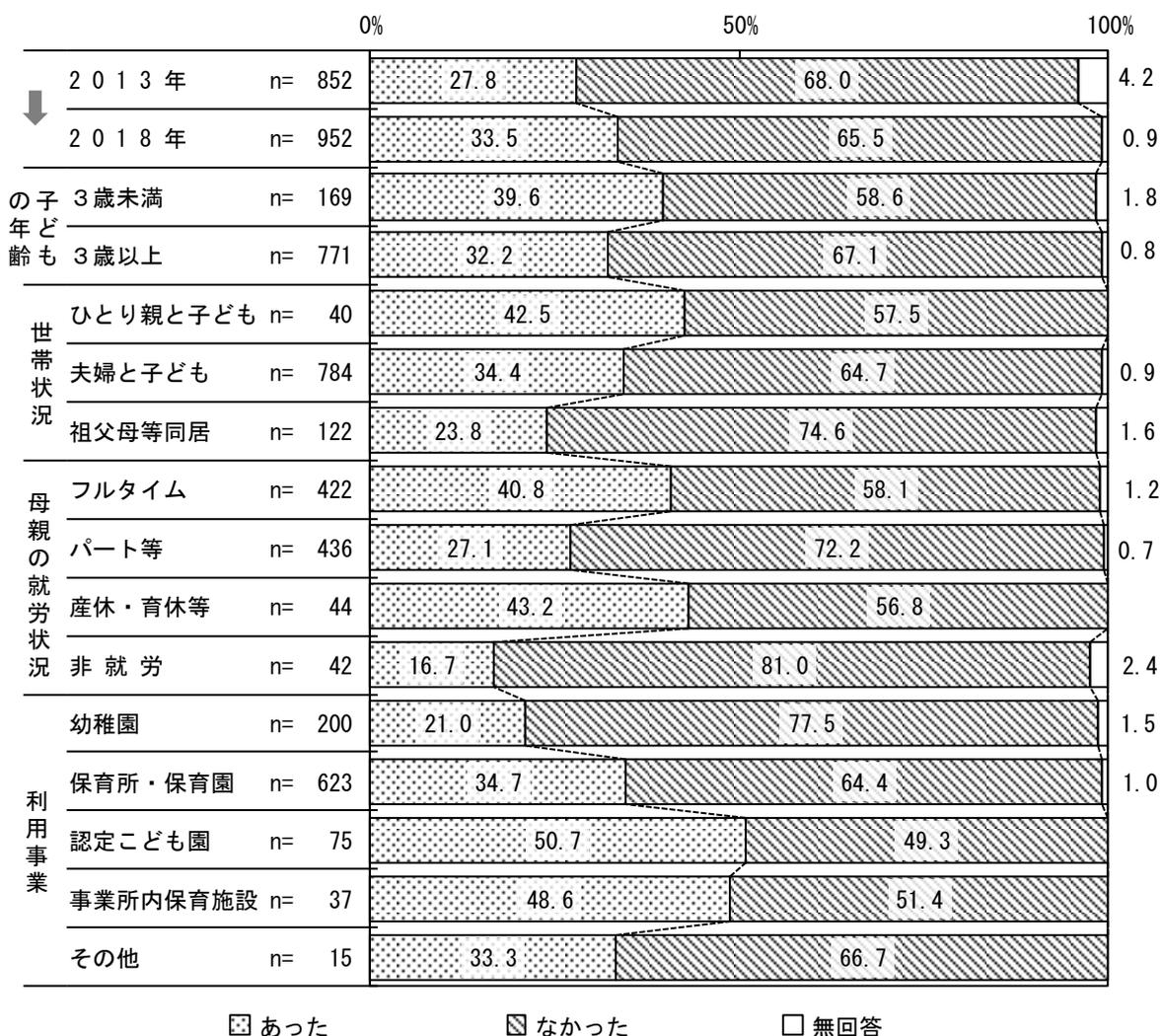


(4) 病児・病後児保育施設等の利用〔Q29〕

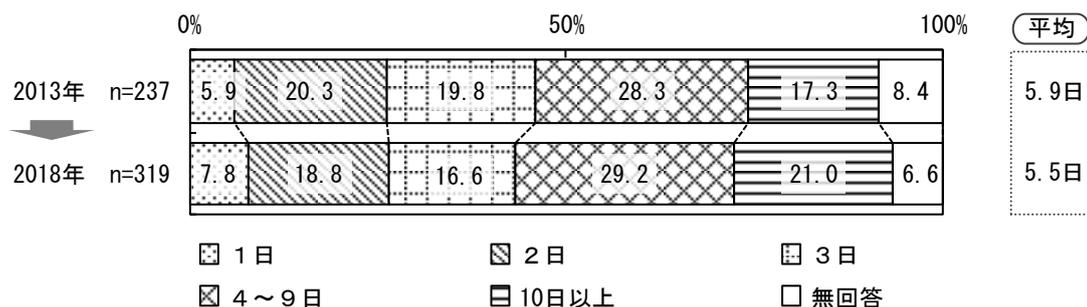
子どもが病気等で教育・保育事業を利用できなかった時の対処法として、「父親が休んだ」または「母親が休んだ」と回答した952人の病児・病後児保育施設等の利用意向（病児・病後児のための保育施設を利用したいと思ったことが「あった」）は33.5%で、2013年の調査結果に比べ5.7ポイント上昇しています（図表1-76）。

病児・病後児保育施設等の年間の利用希望日数は、「4～9日」が29.2%と最も高く、平均は5.5日となっています（図表1-77）。

図表1-76 病児・病後児保育施設等の利用意向



図表1-77 病児・病後児保育施設等の年間の利用希望日数



7 不定期な教育・保育事業等

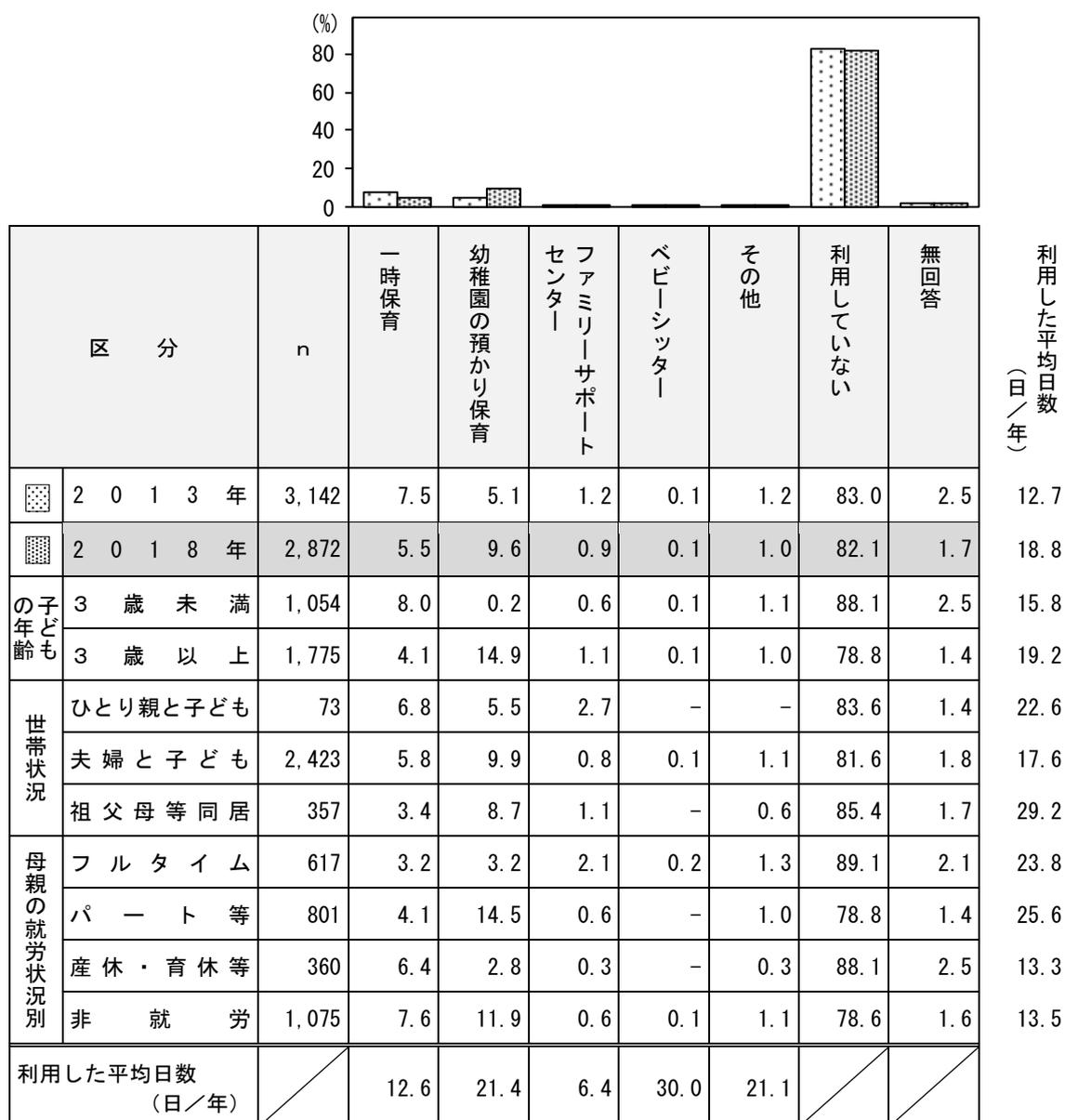
(1) 不定期な教育・保育事業の利用経験の有無〔Q30〕

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している教育・保育事業の利用経験の有無をたずねたところ、「幼稚園の預かり保育」が9.6%、「一時保育」が5.5%、「ファミリーサポートセンター」が0.9%で、「利用していない」が80%以上です。2013年の調査結果との比較では、「幼稚園の預かり保育」が高くなっています。

利用した年間の平均日数は、2013年に比べ6日以上増加し、18.8日となっています。母親の就労状況別にみると、パート等が25.6日、フルタイムが23.8日となっています。

「その他」として、「事業所内保育施設」「くわなメディアライヴのプレイルーム」などの記載がありました。

図表1-78 不定期の教育・保育事業の利用の有無（複数回答） 単位：nは人、他は%



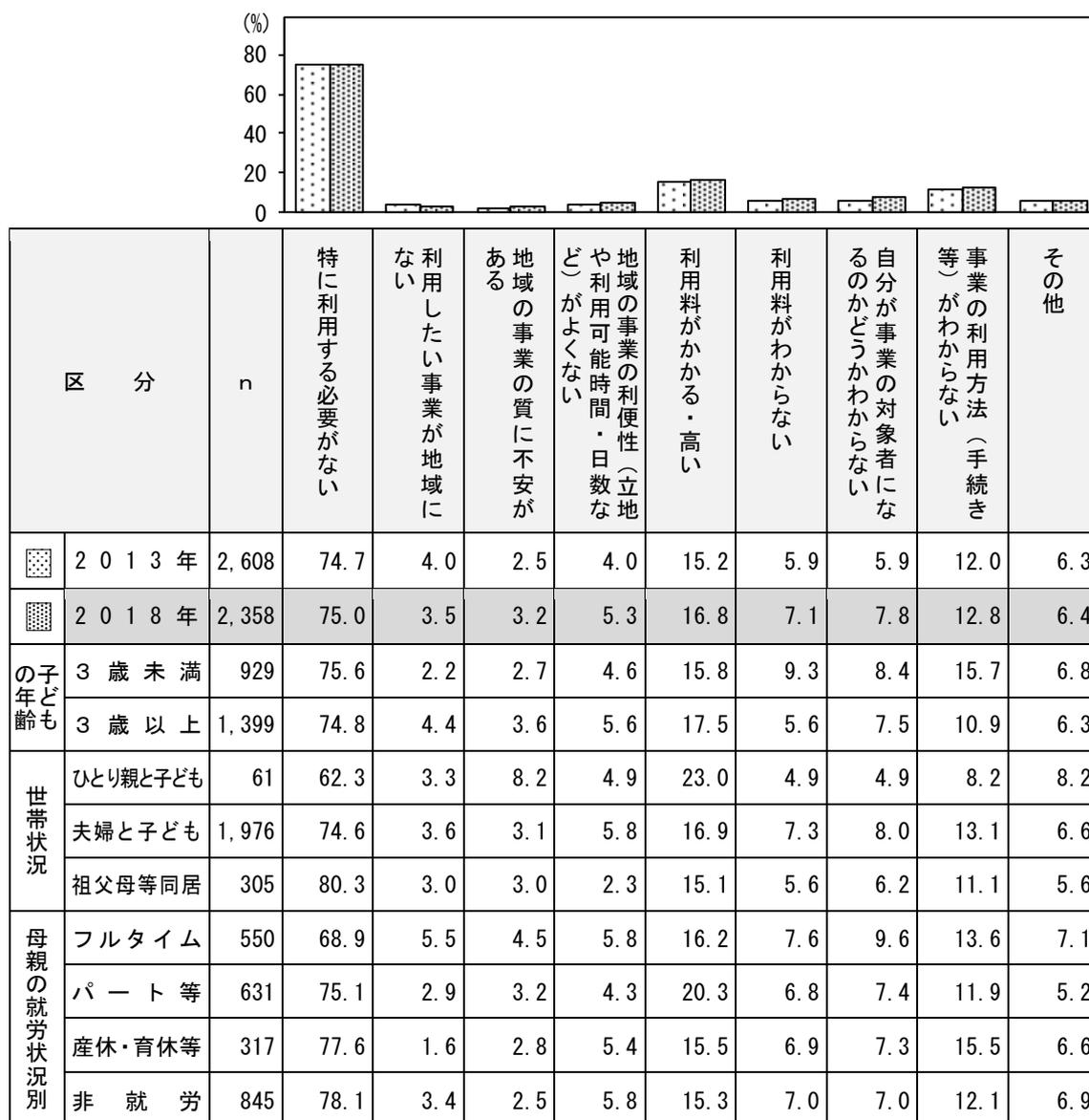
(2) 不定期な教育・保育事業を利用していない理由[Q31]

不定期な教育・保育事業等を「利用していない」と答えた人に、その理由をたずねたところ、「特に利用する必要がない」が75.0%と突出して高くなっています。「利用したい事業が地域にない」「地域の事業の質に不安がある」「地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない」「利用料がかかる・高い」を合計した《条件が合わない》は28.8%、「利用料がわからない」「自分が事業の対象者になるのかわからない」「事業の利用方法（手続き等）がわからない」を合計した《条件がわからない》は27.7%となります。

「その他」として、「祖父母など親族で対応できる」「手続きが面倒」「予約が一杯で利用できない」等が記載されていました。

図表 1-79 子どもを預けない理由（複数回答）

単位：nは人、他は%



(3) 不定期な教育・保育事業の利用意向 [Q32]

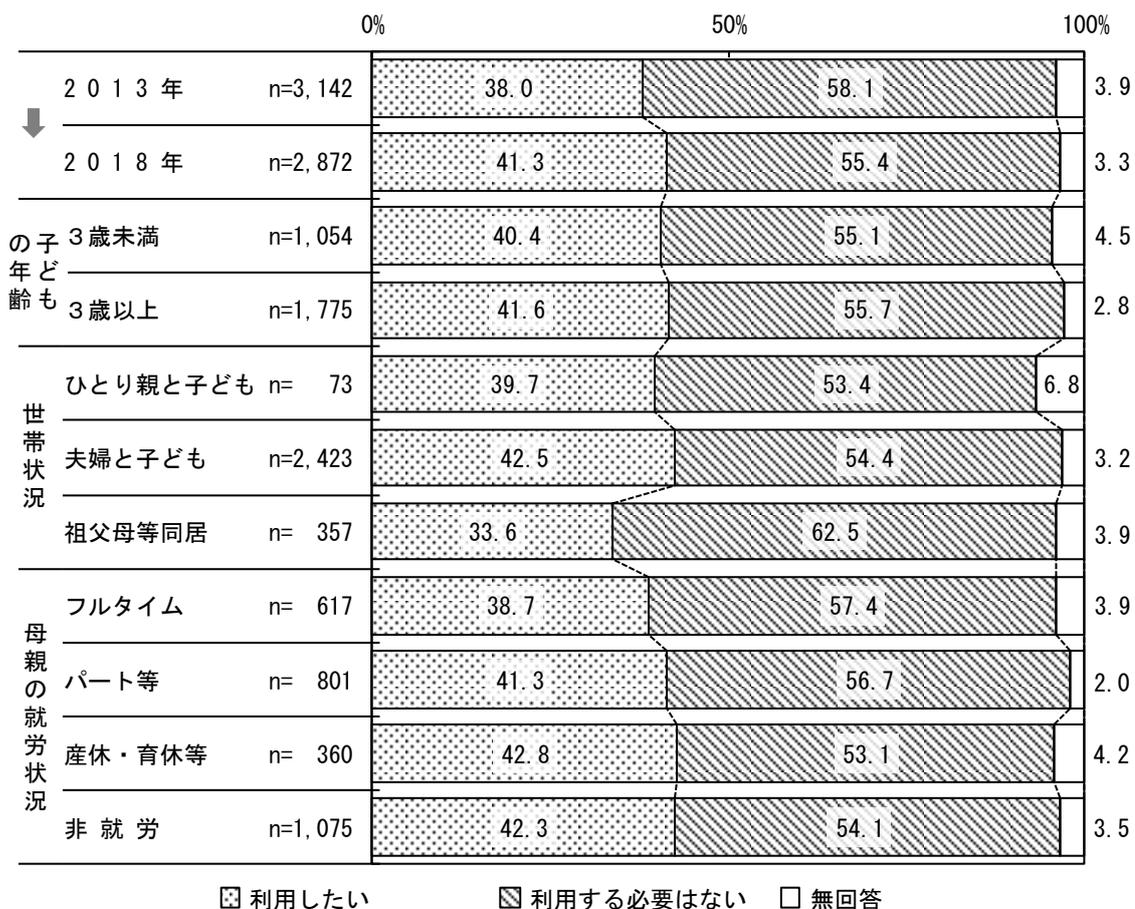
① 利用意向

不定期な教育・保育事業の利用意向は41.3%です。2013年の調査結果との比較では、3.3ポイント上昇しています。

世帯状況別にみると、祖父母等同居の世帯では33.6%と低くなっています。

母親の就労状況別にみると、フルタイム以外では40%を超えています。

図表 1-80 不定期な教育・保育事業の利用意向



② 利用したい理由

不定期な教育・保育事業を利用したい理由は、「私用、リフレッシュ目的」が68.0%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が67.7%、「不定期の就労」が29.2%の順となっています。子どもの年齢別にみると、3歳未満では「私用、リフレッシュ目的」、3歳以上では「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が最も高くなっています。

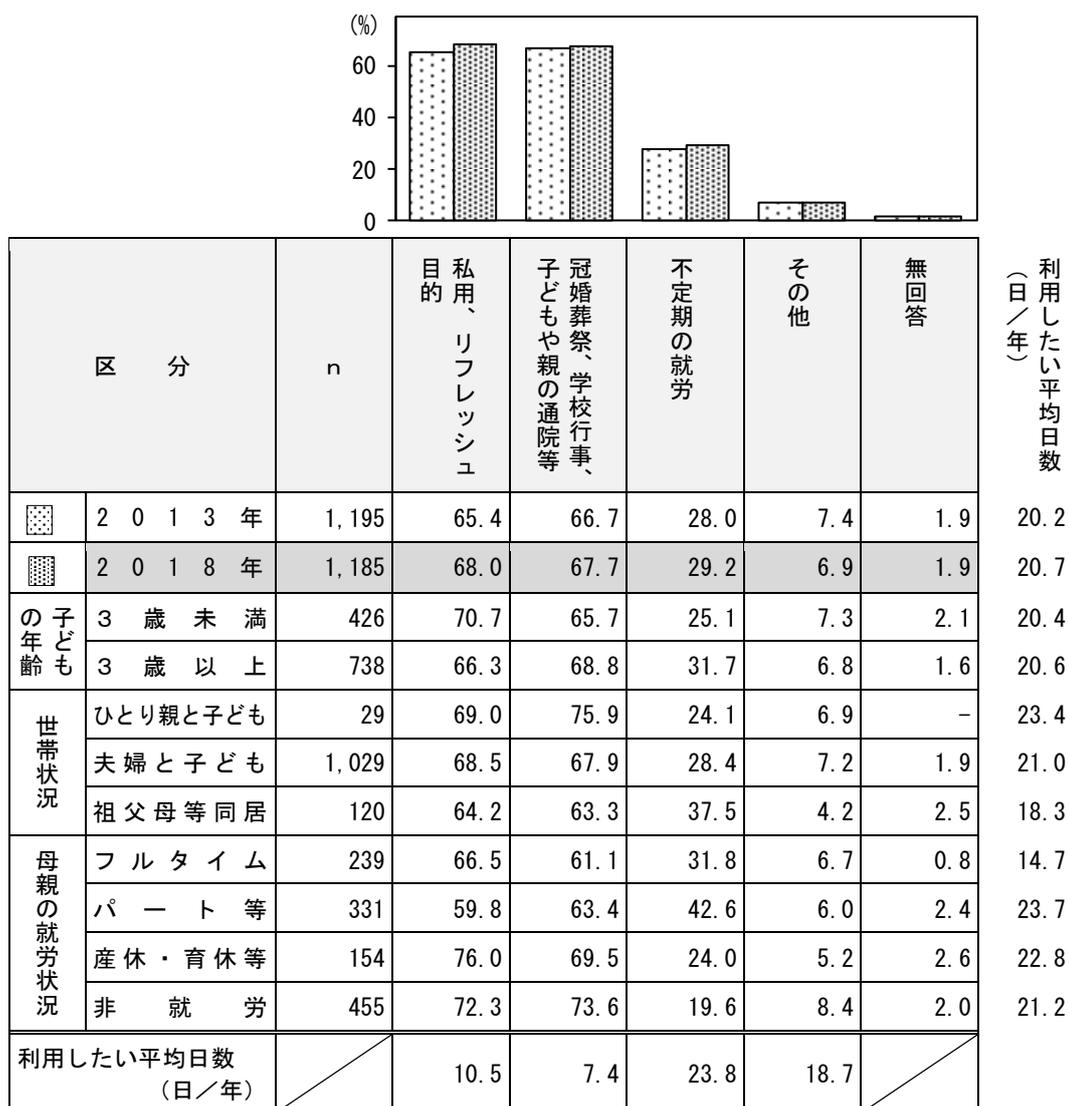
2013年の調査結果との比較では、「私用、リフレッシュ目的」が2.6ポイント上昇しています。

「その他」として、「自分の通院」「健康診査」「仕事関係の研修等」「きょうだいの習い事」などの記載がありました。

利用したい年間の平均日数は20.7日です。理由別にみると、「不定期の就労」が23.8日と多くなっています。

図表 1-81 不定期な教育・保育事業の利用目的（複数回答）

単位：nは人、他は%

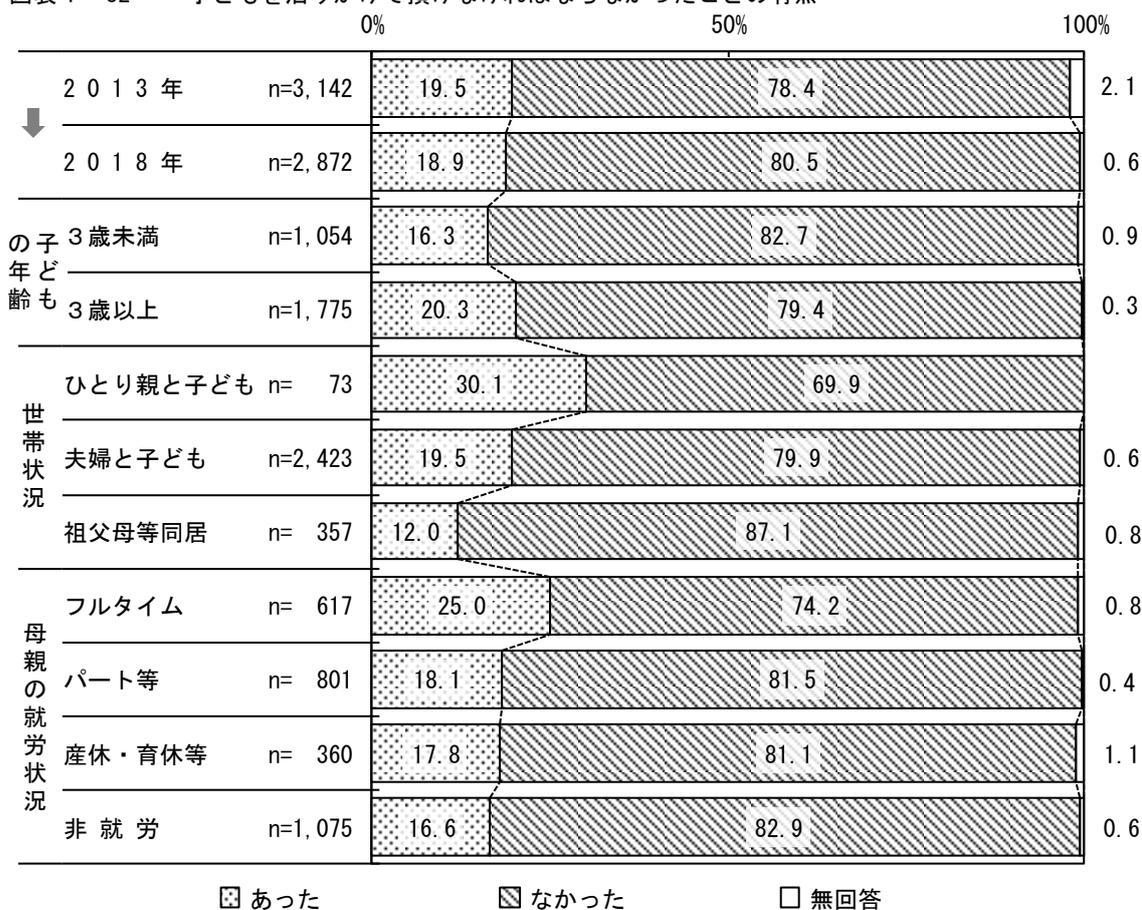


(4) 子どもを泊りがけで預けなければならなかったことの有無〔Q33〕

この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊りがけで家族以外の人に預けなければならなかったかをたずねたところ、「あった」（預け先が見つからなかった場合も含む）が18.9%となっています。

世帯状況別にみると、ひとり親と子どものみの世帯では「あった」が30%を超えています。また、母親の就労状況別では、フルタイムの「あった」も25.0%と比較的高くなっています。

図表 1-82 子どもを泊りがけで預けなければならなかったことの有無

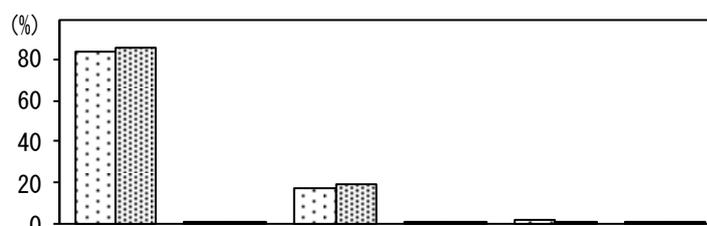


(5) 子どもを泊りがけで預けなければならなかった時の対処法 [Q33]

子どもを泊りがけで預けなければならなかった時の対処法は、「親族・知人にみてもらった（同居者を含む）」が85.2%と最も高く、次いで「仕方なく子どもも同行させた」が19.6%となっています。

対処が必要だった年間の平均日数は5.9日です。

図表 1-83 子どもを泊りがけで預けなければならなかった時の対処法（複数回答）



区分	n	親族・知人にみてもらった	短期入所生活援助事業（シヨートステイ）を利用した	仕方なく子どもも同行させた	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答	平均日数（日／年）
2013年	614	83.6	0.3	17.4	0.5	2.6	1.1	5.8
2018年	542	85.2	0.6	19.6	0.7	0.4	0.6	5.9
子どもの年齢	3歳未満	172	-	25.6	0.6	-	0.6	6.2
	3歳以上	360	88.3	0.8	16.1	0.8	0.6	5.9
世帯状況	ひとり親と子ども	22	-	27.3	-	-	-	10.2
	夫婦と子ども	472	85.6	0.4	19.9	0.8	0.4	5.6
	祖父母等同居	43	86.0	-	14.0	-	-	7.8
母親の就労状況別	フルタイム	154	90.3	-	11.7	0.6	0.6	6.8
	パート等	145	83.4	1.4	23.4	2.1	0.7	4.3
	産休・育休等	64	87.5	-	18.8	-	-	6.6
	非就労	178	81.5	0.6	23.6	-	0.6	6.3
利用した平均日数（日／年）		8.6	40.0	2.3	1.0	5.0		

注：「短期入所生活援助事業以外の保育事業を利用」という選択肢が用意されていましたが、回答はありません。

8 小学校就学後の放課後の過ごし方

(1) 低学年のうちの放課後の過ごし方 [Q34]

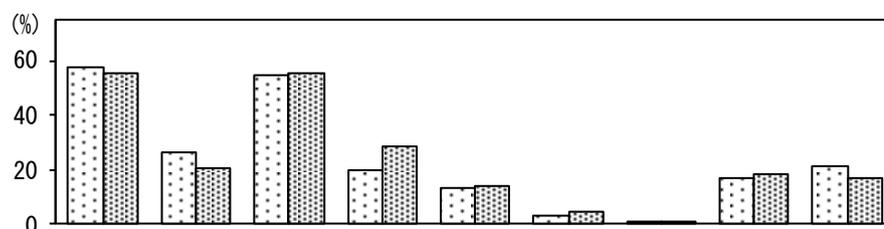
子どもの年齢が5歳以上の人を対象に、子どもが小学校へ就学後、低学年（1～3年生）のうち、放課後の時間をどこで過ごさせたいと考えているかをたずねたところ、「習い事」が55.4%と最も高く、次いで「自宅」が55.1%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が28.8%、「祖父母宅や友人・知人宅」が20.4%などの順となっています。

母親の就労状況別にみると、フルタイム及び産休・育休等は「放課後児童クラブ（学童保育）」が最も高くなっています。

2013年の調査結果との比較では、「放課後児童クラブ（学童保育）」が8.8ポイント上昇しています。

図表1-84 低学年のうちの放課後の過ごし方（複数回答）

単位：nは人、他は%



区分		n	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	放課後児童クラブ	放課後子ども教室	児童センター	ファミリーサポートセンター	その他	無回答
2013年		956	57.2	26.2	54.6	20.0	13.3	2.8	0.9	16.9	20.9
2018年		949	55.1	20.4	55.4	28.8	14.1	4.4	1.2	18.3	17.2
世帯状況	ひとり親と子ども	33	39.4	24.2	48.5	51.5	12.1	6.1	-	18.2	6.1
	夫婦と子ども	785	55.3	21.3	56.1	29.4	15.7	4.2	1.4	19.0	16.9
	祖父母等同居	125	59.2	15.2	53.6	19.2	4.8	5.6	-	15.2	20.8
母親の就労状況別	フルタイム	238	29.4	19.3	42.4	60.9	12.2	5.0	1.3	7.1	14.3
	パート等	384	62.0	18.8	60.4	20.6	14.3	3.6	0.5	15.4	17.7
	産休・育休等	38	34.2	21.1	34.2	50.0	7.9	2.6	2.6	13.2	13.2
	非就労	281	70.8	24.2	63.0	9.3	15.7	4.6	1.1	33.1	19.2
希望する平均日数 (日/週)			3.3	2.1	1.9	4.2	2.0	2.2	2.6	1.8	

図表 1-85 低学年のうちの放課後の過ごし方（小学校区別／複数回答）

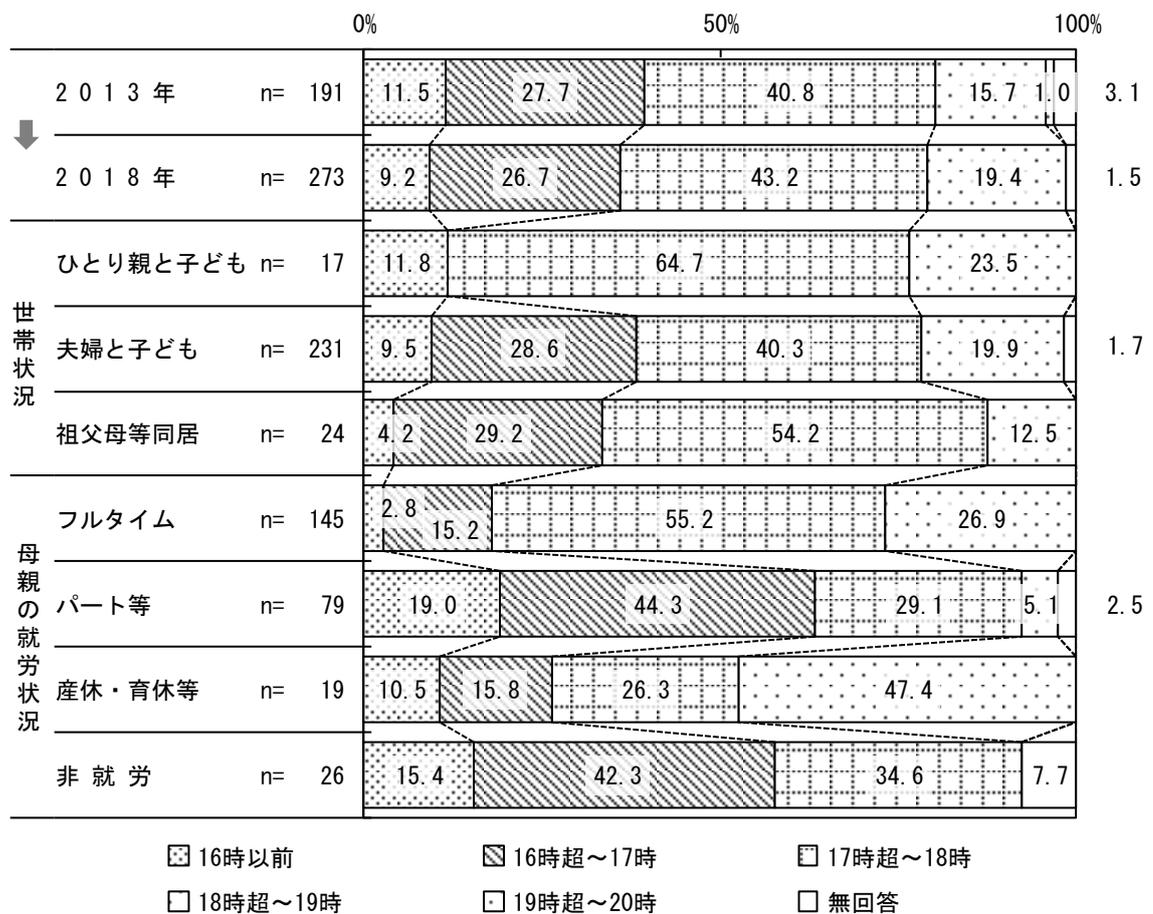
単位：nは人、他は%

区 分	n	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	放課後児童クラブ	放課後子ども教室	児童センター	ファミリーサポートセンター	その他	無回答
日進	33	60.6	27.3	51.5	27.3	9.1	3.0	-	15.2	24.2
精義	24	54.2	25.0	58.3	16.7	29.2	4.2	4.2	33.3	29.2
立教	11	63.6	18.2	72.7	45.5	18.2	9.1	-	27.3	-
城東	3	66.7	33.3	66.7	33.3	33.3	-	-	-	-
益世	50	50.0	34.0	58.0	26.0	14.0	8.0	2.0	20.0	14.0
修徳	32	43.8	9.4	40.6	28.1	12.5	-	-	6.3	25.0
大成	68	55.9	22.1	52.9	25.0	10.3	-	-	23.5	17.6
桑部	24	54.2	16.7	45.8	41.7	4.2	-	-	20.8	8.3
在良	48	58.3	20.8	54.2	33.3	14.6	6.3	6.3	22.9	10.4
七和	37	62.2	27.0	51.4	21.6	18.9	-	-	13.5	18.9
久米	38	52.6	15.8	47.4	21.1	2.6	5.3	-	21.1	23.7
深谷	13	30.8	15.4	30.8	7.7	15.4	53.8	-	7.7	30.8
城南	53	60.4	18.9	66.0	26.4	24.5	5.7	1.9	13.2	17.0
大和	15	60.0	26.7	73.3	46.7	20.0	-	-	26.7	6.7
大山田東	129	59.7	23.3	58.9	24.8	13.2	6.2	-	17.8	14.7
大山田北	73	53.4	21.9	63.0	30.1	12.3	1.4	1.4	23.3	17.8
大山田西	11	36.4	9.1	45.5	-	9.1	9.1	-	27.3	45.5
大山田南	36	38.9	19.4	47.2	44.4	16.7	5.6	5.6	11.1	22.2
藤が丘	56	51.8	17.9	55.4	32.1	16.1	-	-	26.8	23.2
星見ヶ丘	32	56.3	9.4	71.9	34.4	15.6	3.1	-	21.9	12.5
多度東	4	50.0	50.0	25.0	75.0	25.0	25.0	-	-	-
多度中	49	69.4	20.4	61.2	26.5	6.1	2.0	-	14.3	10.2
多度北	13	46.2	7.7	15.4	15.4	7.7	-	7.7	7.7	30.8
多度青葉	4	100.0	-	50.0	50.0	25.0	-	-	25.0	-
長島北部	21	71.4	28.6	66.7	28.6	14.3	4.8	-	19.0	4.8
長島中部	46	50.0	13.0	52.2	37.0	17.4	4.3	2.2	10.9	10.9
伊曾島	20	40.0	10.0	45.0	35.0	20.0	5.0	-	5.0	25.0

放課後児童クラブの利用希望者に、下校時から何時まで利用したいかをたずねたところ、「17時超～18時」が43.2%と最も高く、次いで「16時超～17時」が26.7%などとなっています。

母親の就労状況別にみると、フルタイム及び産休・育休等は17時以降、パート等及び非就労は17時までの意向が高くなっています。

図表 1-86 放課後児童クラブを何時まで利用したいか（低学年）



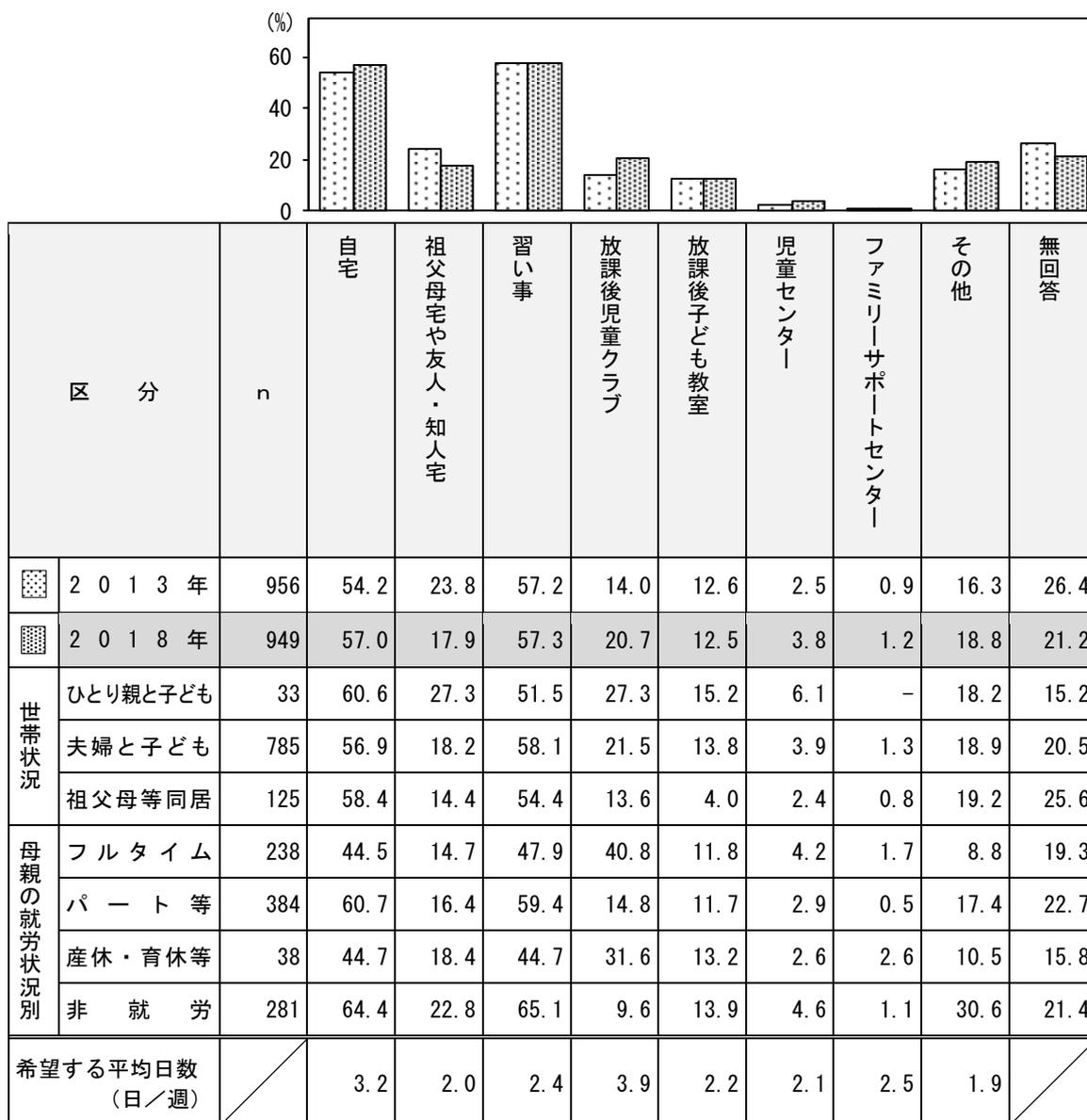
(2) 高学年になった時の放課後の過ごし方 [Q34]

子どもの年齢が5歳以上の人を対象に、子どもが小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後の時間をどこで過ごさせたいと考えているかをたずねたところ、「習い事」が57.3%と最も高く、次いで「自宅」が57.0%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が20.7%、「祖父母宅や友人・知人宅」が17.9%などの順となっています。

2013年の調査結果との比較では、「放課後児童クラブ(学童保育)」が6.7ポイント上昇しています

図表 1-87 高学年になった時の放課後の過ごし方(複数回答)

単位：nは人、他は%



図表 1-88 高学年のうちの放課後の過ごし方（小学校区別／複数回答）

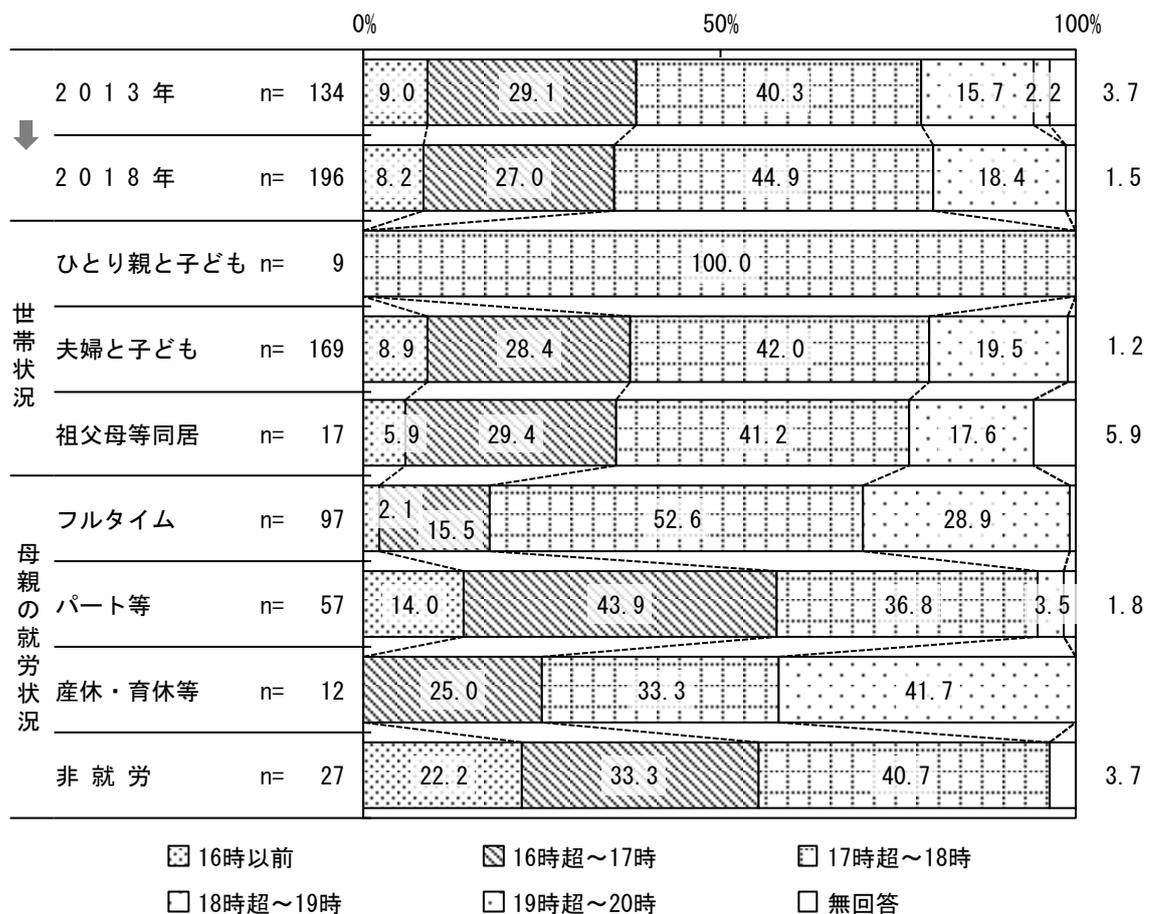
単位：nは人、他は%

区 分	n	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	放課後児童クラブ	放課後子ども教室	児童センター	ファミリーサポートセンター	その他	無回答
日進	33	57.6	18.2	54.5	27.3	9.1	3.0	-	9.1	27.3
精義	24	54.2	29.2	58.3	8.3	25.0	4.2	4.2	29.2	33.3
立教	11	45.5	18.2	72.7	36.4	27.3	-	-	45.5	9.1
城東	3	66.7	33.3	66.7	33.3	33.3	-	-	-	-
益世	50	58.0	30.0	62.0	18.0	14.0	8.0	2.0	22.0	16.0
修徳	32	56.3	3.1	46.9	15.6	12.5	-	-	6.3	28.1
大成	68	58.8	20.6	57.4	19.1	10.3	1.5	-	26.5	20.6
桑部	24	62.5	16.7	50.0	29.2	4.2	-	-	25.0	8.3
在良	48	68.8	18.8	60.4	18.8	14.6	6.3	6.3	20.8	14.6
七和	37	59.5	27.0	51.4	18.9	18.9	-	-	18.9	21.6
久米	38	52.6	13.2	50.0	13.2	7.9	5.3	-	21.1	28.9
深谷	13	38.5	15.4	30.8	7.7	15.4	30.8	-	23.1	38.5
城南	53	62.3	13.2	66.0	13.2	15.1	3.8	1.9	13.2	22.6
大和	15	60.0	20.0	80.0	46.7	6.7	-	-	26.7	6.7
大山田東	129	62.8	14.0	58.1	14.7	11.6	6.2	0.8	15.5	18.6
大山田北	73	54.8	20.5	60.3	17.8	11.0	1.4	-	28.8	26.0
大山田西	11	18.2	9.1	45.5	-	9.1	9.1	-	27.3	45.5
大山田南	36	41.7	19.4	50.0	38.9	13.9	5.6	5.6	11.1	27.8
藤が丘	56	48.2	16.1	53.6	25.0	12.5	-	1.8	25.0	30.4
星見ヶ丘	32	46.9	9.4	75.0	31.3	6.3	3.1	-	25.0	12.5
多度東	4	50.0	50.0	25.0	75.0	25.0	25.0	-	-	-
多度中	49	65.3	20.4	67.3	26.5	8.2	2.0	-	14.3	12.2
多度北	13	46.2	7.7	30.8	15.4	7.7	-	7.7	-	30.8
多度青葉	4	100.0	-	50.0	50.0	50.0	-	-	25.0	-
長島北部	21	71.4	23.8	71.4	23.8	19.0	4.8	-	14.3	4.8
長島中部	46	63.0	21.7	52.2	19.6	13.0	2.2	-	10.9	17.4
伊曽島	20	45.0	10.0	50.0	25.0	15.0	5.0	-	5.0	25.0

放課後児童クラブの利用希望者に下校時から何時まで利用したいかをたずねたところ、「17時超～18時」が44.9%と最も高く、次いで「16時超～17時」が27.0%などとなっています。

母親の就労状況別にみると、フルタイム及び産休・育休等は17時以降、パート等及び非就労は17時までの意向が高くなっています。

図表 1-89 放課後児童クラブを何時まで利用したいか（高学年）



9 仕事と子育ての両立

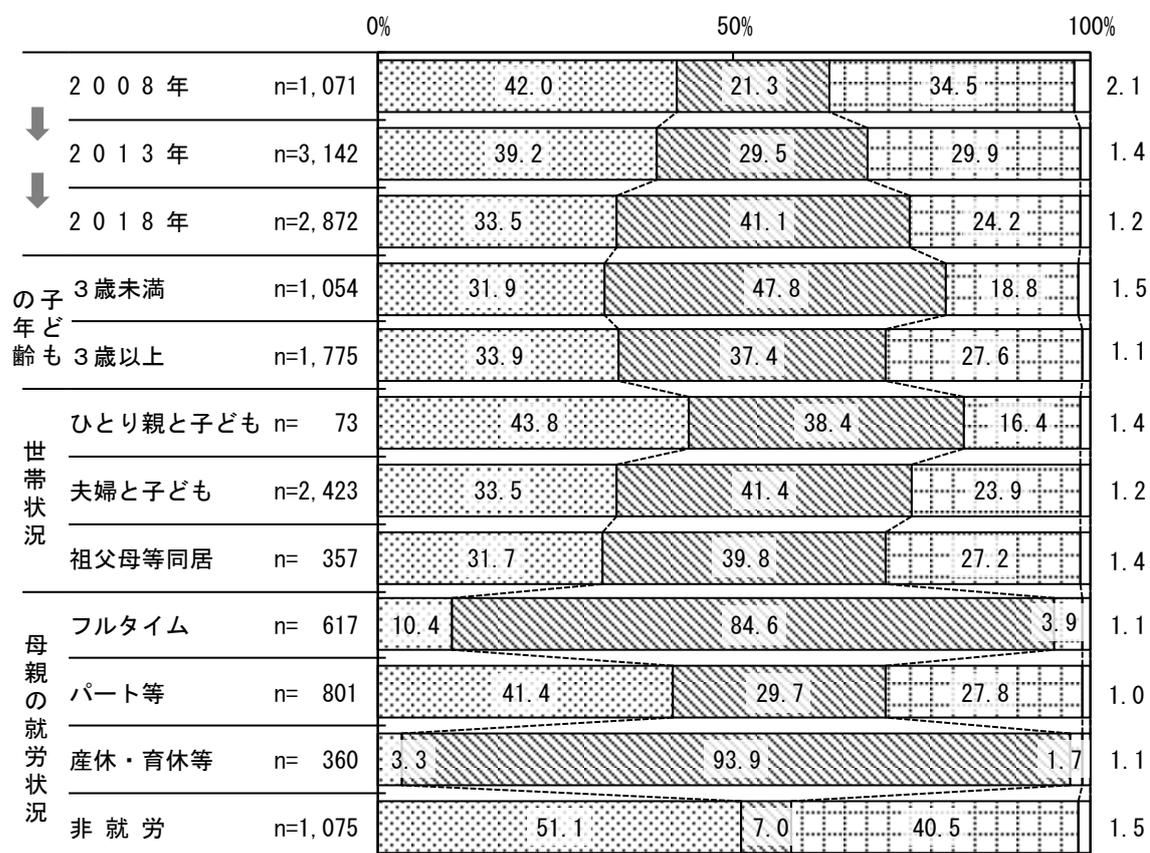
(1) 出産前後の母親の就労状況 [Q35]

出産前後（前後それぞれ1年以内）の母親の就労状況は、「継続的に働いていた（育児休業中、転職も含む）」が41.1%と最も高く、「仕事をやめていた」が33.5%、「出産1年前にすでに働いていなかった」が24.2%です。

過去の調査との比較では、「継続的に働いていた（育児休業中、転職も含む）」が大幅に上昇しています。

母親の現在の就労状況別にみると、フルタイムの人の85%近くが「継続的に働いていた（育児休業中、転職も含む）」と答えています。

図表 1-90 出産前後の就労状況



- 仕事をやめていた
- 継続的に働いていた（育児休業中、転職も含む）
- 出産1年前からすでに働いていなかった
- 無回答

(2) 仕事を続けた理由 [Q36]

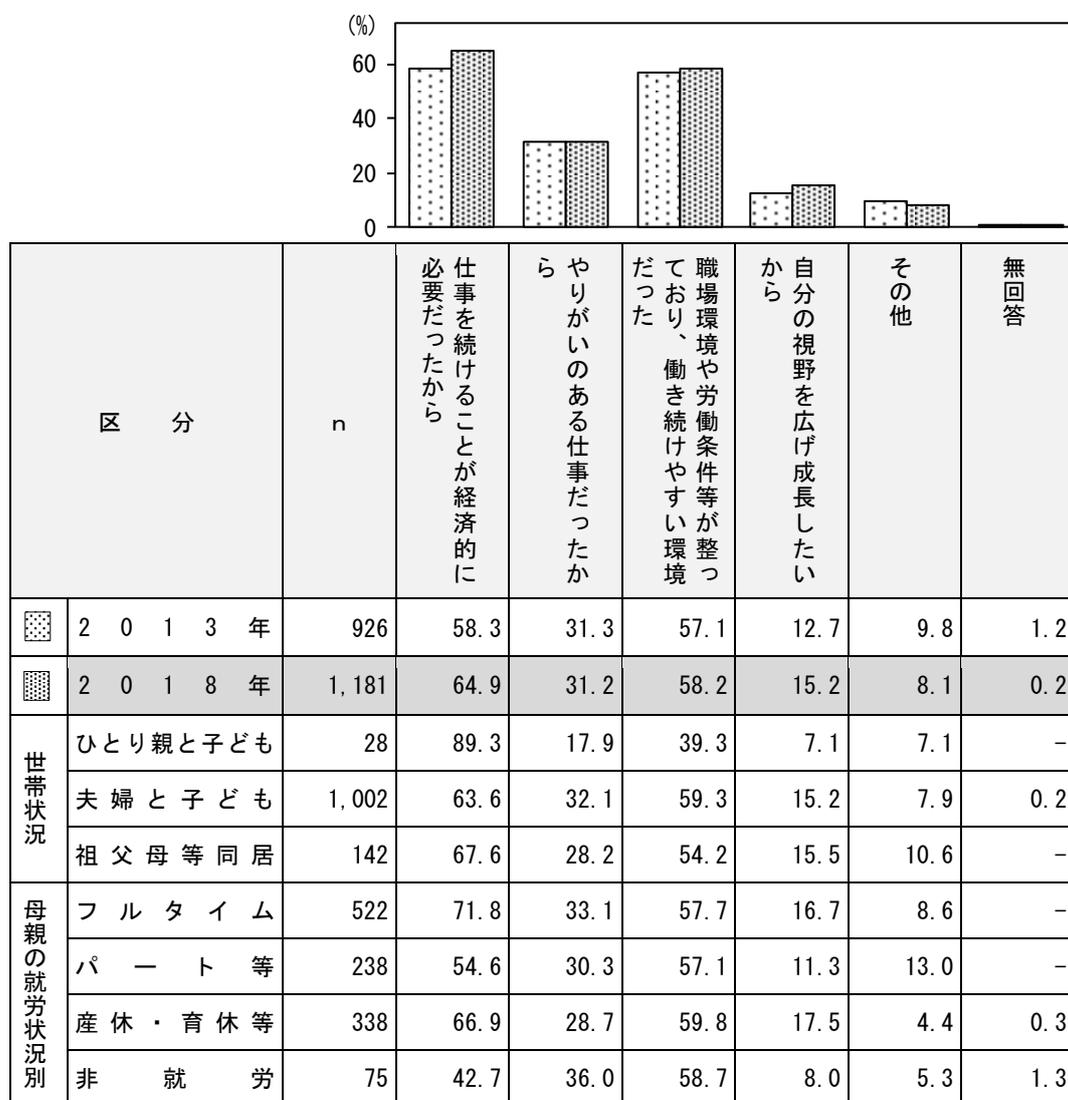
出産前後に母親が「継続的に働いていた（転職も含む）」と回答した人に、子育てをしながら仕事を続けた理由をたずねたところ、「仕事を続けることが経済的に必要だったから」が64.9%と最も高くなっています。次いで「職場環境や労働条件等が整っており、働き続けやすい環境だったから」が58.2%、「やりがいのある仕事だったから」が31.2%です。

2013年の調査結果との比較では、「仕事を続けることが経済的に必要だったから」が6.6ポイント上昇しています。

「その他」として、「自営だから」「辞める理由がないから」「社会人として働くことが当然と考えていたから」「再び正社員になるのは難しいと思ったから」などの記載がありました。

図表 1-91 仕事を続けた理由（複数回答）

単位：nは人、他は%



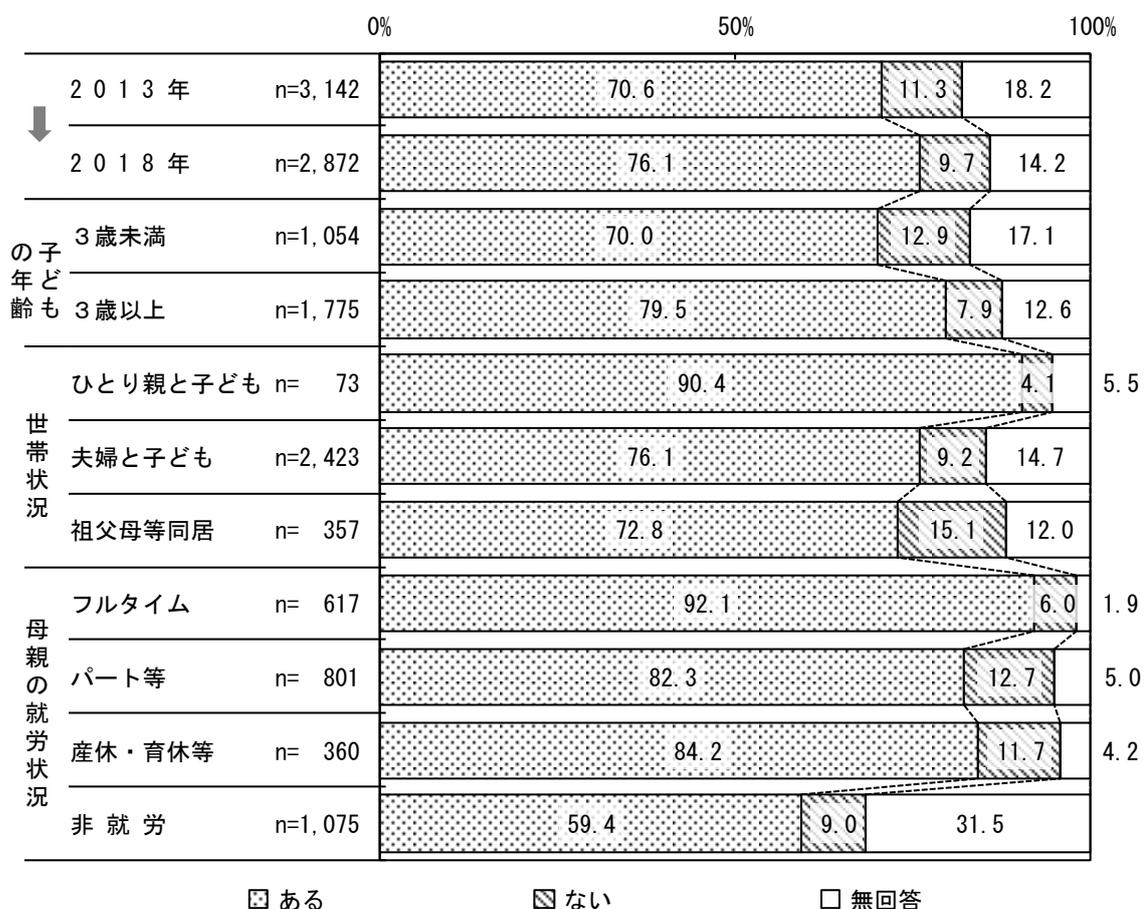
(3) 仕事と子育ての両立が難しいと感じたことの有無 [Q37]

仕事と子育てを両立させる上で難しいと感じたことの有無については、76.1%が「ある」と回答しています。

2013年の調査結果との比較では、「ある」が5.5ポイント上昇しています。

世帯状況別にみると、ひとり親と子どもの世帯では「ある」が他の世帯より高く90%を超えています。また、母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「ある」が92.1%を占めています。

図表 1-92 仕事と子育てを両立させる上で難しいと感じたことの有無



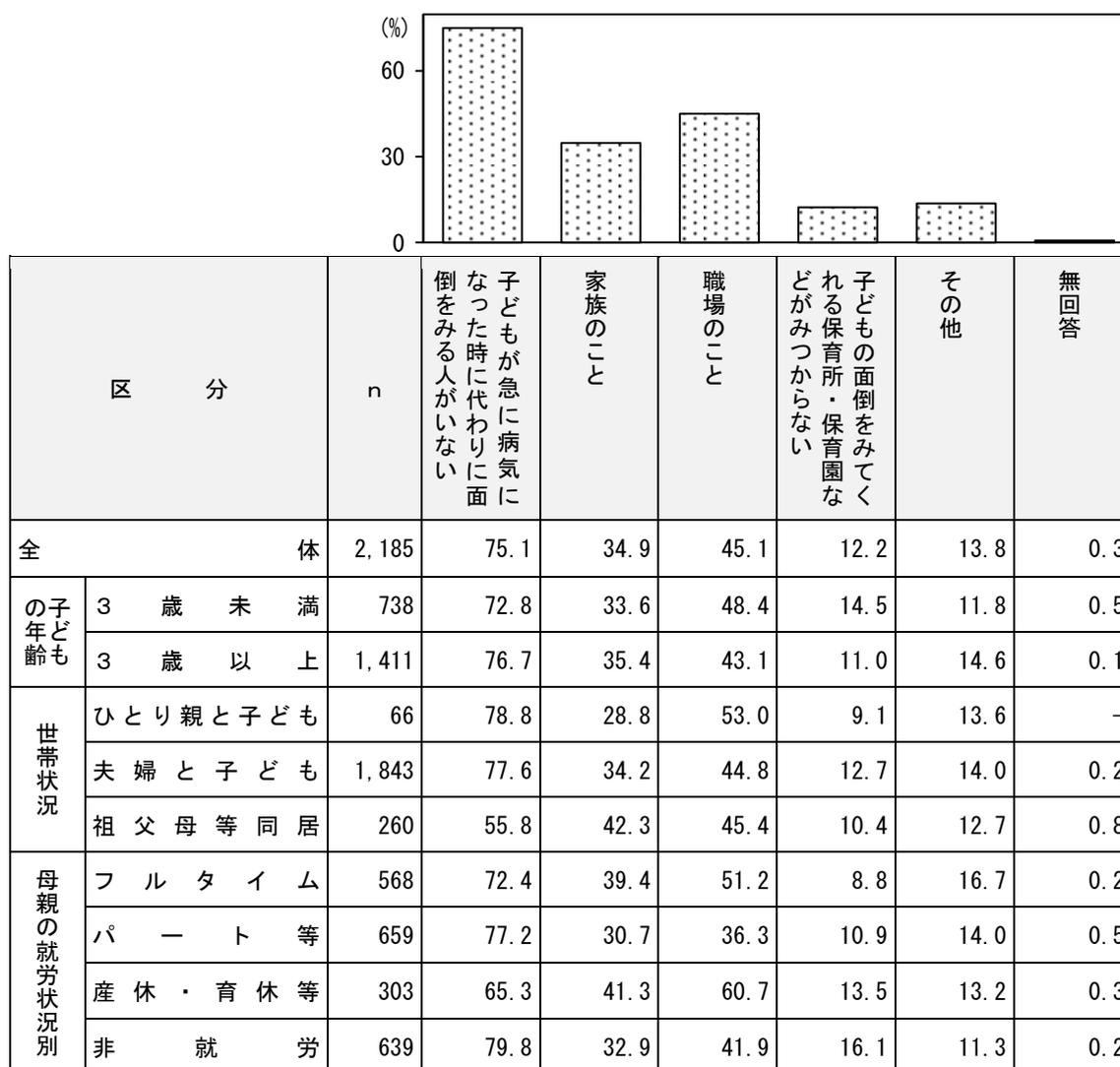
(4) 仕事と子育ての両立が難しいと感じたこと [Q38]

仕事と子育てを両立させる上で難しいと感じたことが「ある」と回答した2,185人に、どんなことで感じたかをたずねたところ、「子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない」が75.1%と最も高く、次いで「職場のこと」が45.1%、「家族のこと」が34.9%などとなっています。

世帯状況別にみると、祖父母等同居では他の世帯状況に比べ「子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない」が低くなっています。母親の就労状況別にみると、いずれも「子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない」が最も高くなっていますが、フルタイム及び産休・育休等では「職場のこと」が比較的高くなっています。

「その他」として、「精神的・身体的な負担が大きい」「子どもと関わる時間が限られてしまう」「時間に追われる」「家事が大変」などの記載がありました。

図表 1-93 仕事と子育てを両立させる上で難しいと感じたこと(複数回答) 単位：nは人、他は%

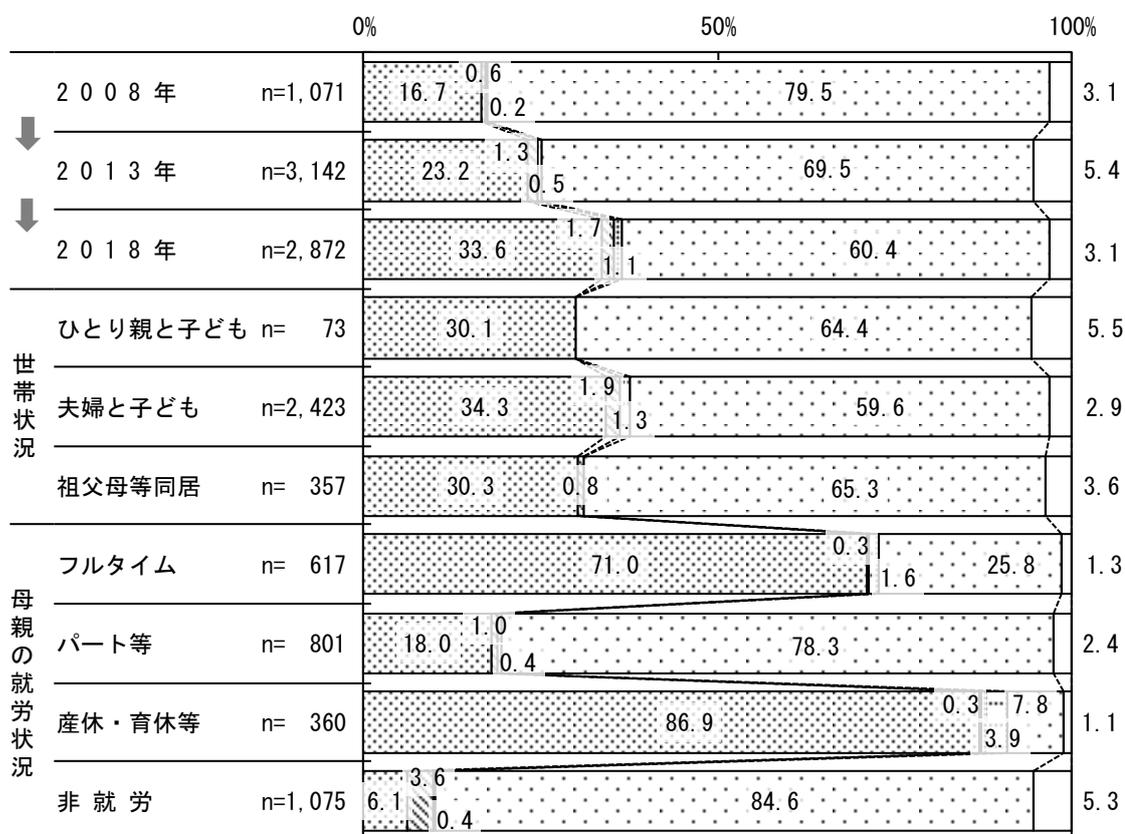


(5) 育児休業制度の利用状況 [Q39]

育児休業制度については、「利用しなかった」が60.4%を占めています。「母親が利用した」が33.6%、「父親が利用した」が1.7%、「母親と父親の両方が利用した」が1.1%となっており、これらの合計《利用した》は36.4%です。過去の調査との比較では回を追うごとに高くなっており、2013年に比べ10ポイント以上上昇しています。

母親の就労状況別にみると、《利用した》はフルタイム及び産休・育休等で70%を超えています。

図表 1-94 育児休業制度の利用状況



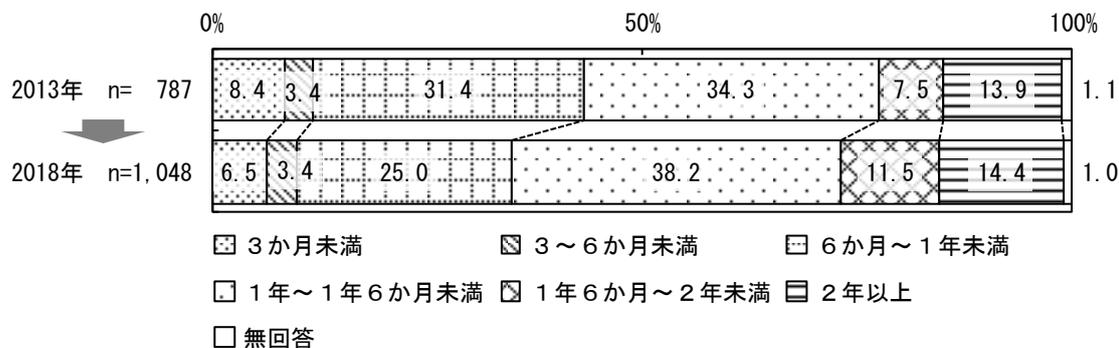
- ☑ 母親が利用した
- ☑ 父親が利用した
- ☑ 母親と父親の両方が利用した
- ☐ 利用しなかった
- ☐ 無回答

(6) 育児休業の期間 [Q40-1]

育児休業制度を利用した人に、その期間をたずねたところ、「1年～1年6か月未満」が38.2%と最も高く、次いで「6か月～1年未満」が25.0%となっています。

2013年の調査結果との比較では、1年以上が高くなっています。

図表 1-95 育児休業の取得期間

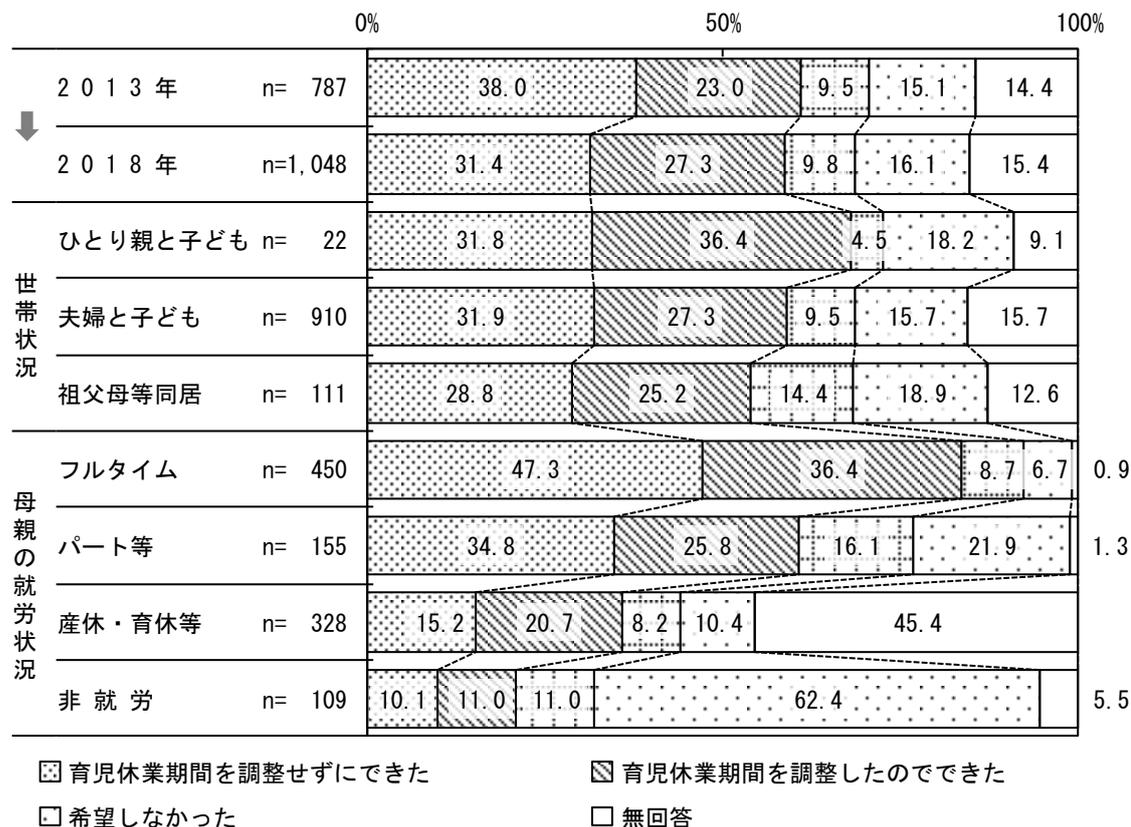


(7) 育児休業明けの保育事業の利用 [Q40-2]

育児休業制度を利用した人に、休業明けに希望する保育事業を利用できたかについてたずねたところ、「育児休業期間を調整せずにできた」が31.4%と最も高く、次いで「育児休業期間を調整したのでできた」が27.3%となっています。

2013年の調査結果との比較では、「育児休業期間を調整せずにできた」が6.6ポイント低下しています。

図表 1-96 育児休業の取得期間



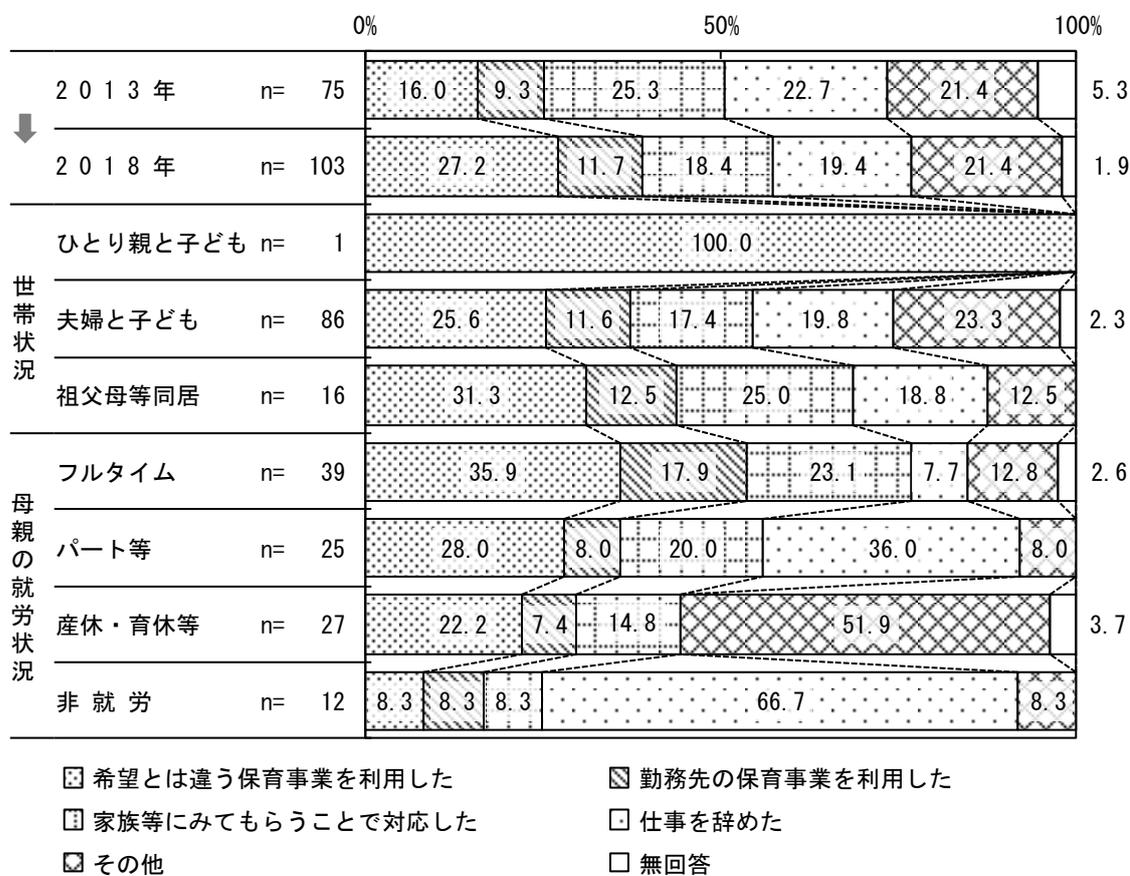
(8) 育児休業明けに希望する保育事業が利用できなかった人の対応 [Q40-3]

Q40-2で育児休業明けに希望する保育事業が利用できなかった人に、対応策をたずねたところ、「希望とは違う保育事業を利用した」が27.2%と最も高くなっています。「仕事を辞めた」は19.4%、「家族等にみてもらうことで対応した」は18.4%です。

2013年の調査結果との比較では、「希望とは違う保育事業を利用した」が10ポイント以上上昇しています。

「その他」として、「育児休業の期間を延長した」などの記載がありました。

図表 1-97 育児休業明けに希望する保育事業が利用できなかった人の対応



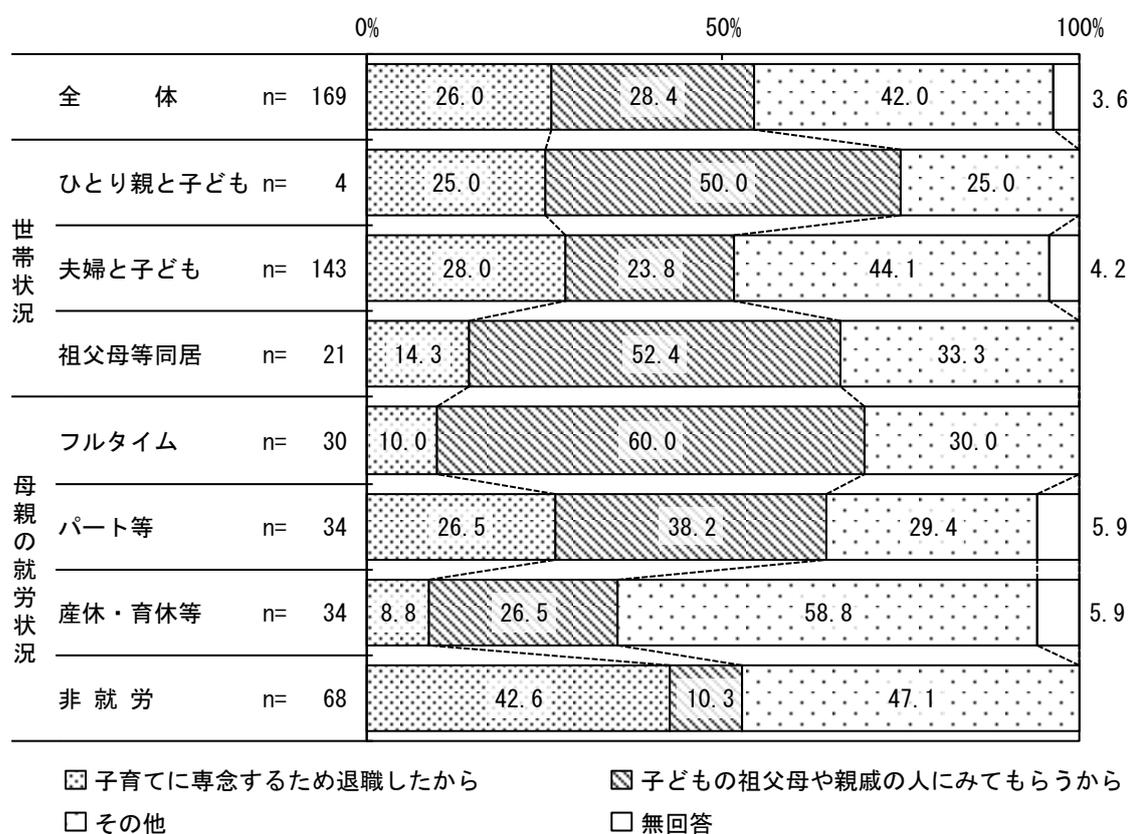
(注) 「その他」には、2013年の選択肢「上記以外の保育事業を利用した」を含みます。

(9) 育児休業明けに保育事業を希望しなかった人の理由 [Q40-4]

Q40-2で育児休業明けに保育事業を希望しなかった人に、その理由をたずねたところ、「子どもの祖父母や親戚の人にみてもらうから」が28.4%、「子育てに専念するため退職したから」が26.0%となっています。「その他」が最も高く42.0%です。

「その他」として、「母親が子育てに専念できるから」「職場の託児所を利用した」「職場に連れて行けるから」「家でリモートワークができたから」「配偶者が転勤になったから」などの記載がありました。

図表 1-98 育児休業明けに保育事業を希望しなかった理由

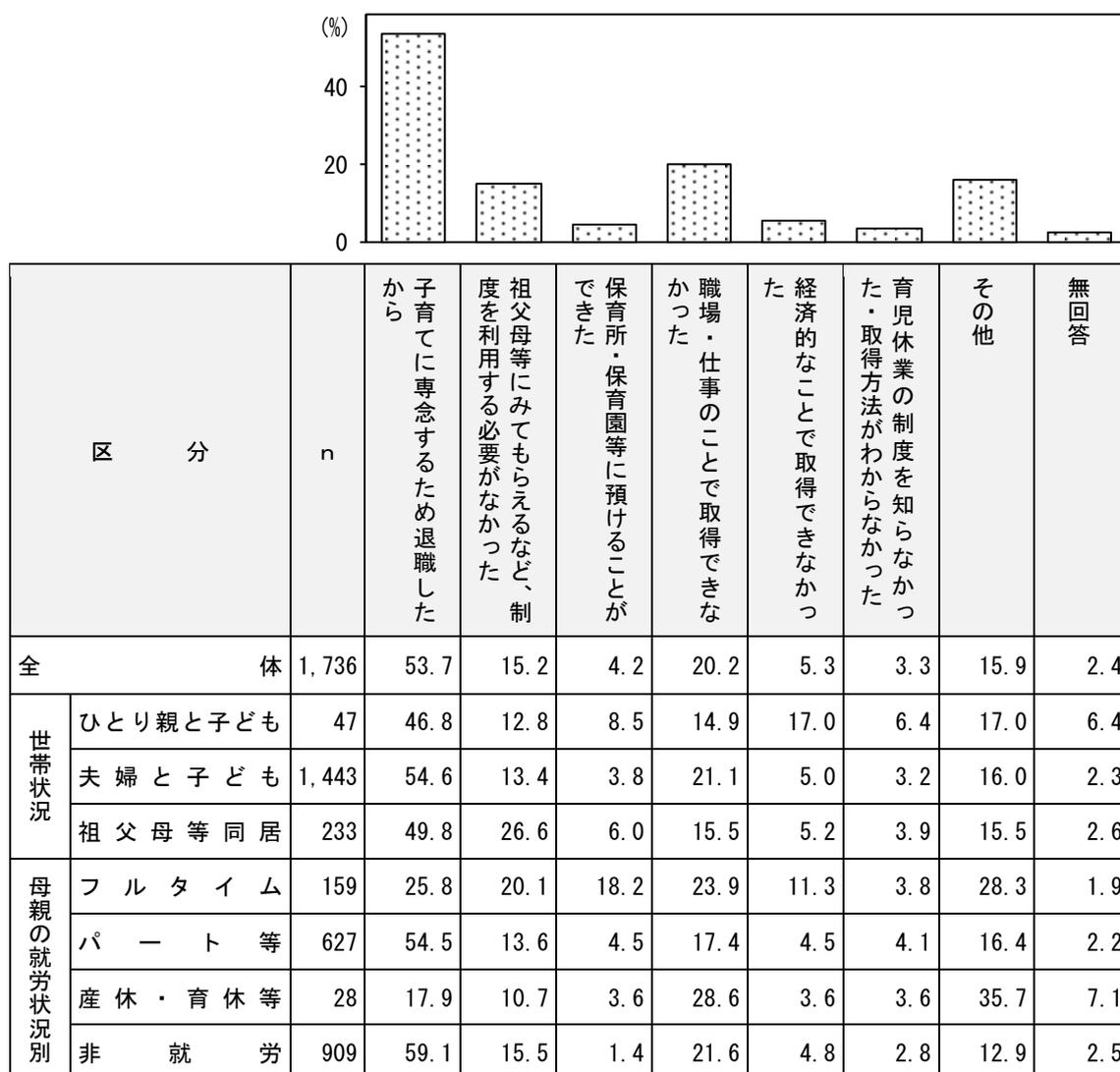


(10) 育児休業明けに保育事業を利用しなかった人の理由 [Q41]

Q40-2で育児休業明けに保育事業を利用しなかった人に、その理由をたずねたところ、「子育てに専念するため退職したから」が53.7%と最も高く、次いで「職場・仕事のこと
で取得できなかった」が20.2%などとなっています。

「その他」として、「自営業のため」「働いていなかった」「母親が専業主婦だった」「パートのため育児休業制度がなかった」「職場に育児休業制度がなかった」「配偶者が転勤になっ
たから」などの記載がありました。

図表 1-99 育児休業明けに保育事業を希望しなかった理由



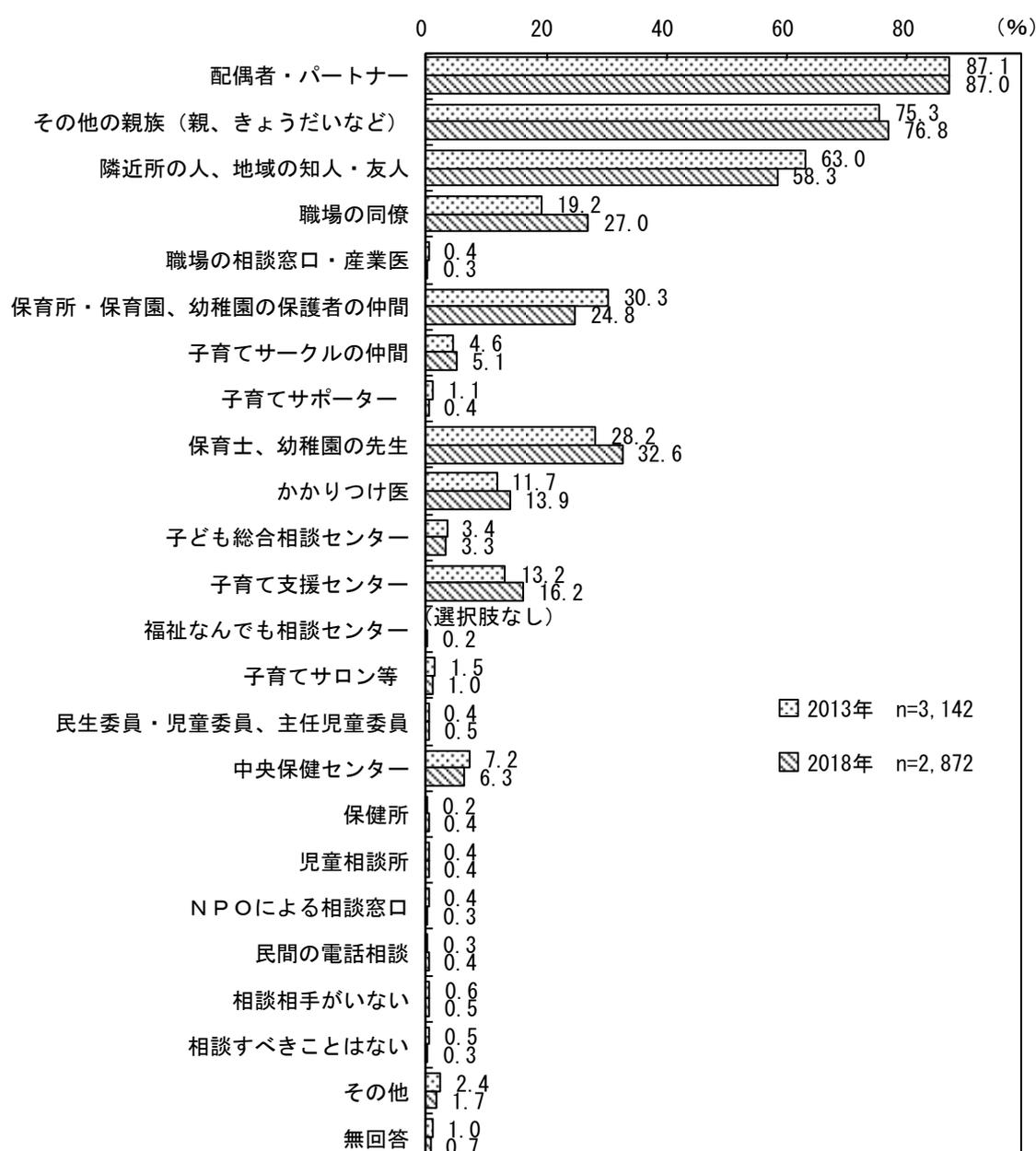
10 相談・情報提供

(1) 子育てに関する悩みや不安の相談相手 [Q42]

身近な地域における子育てに関する悩みや不安の相談相手としては、「配偶者・パートナー」が87.0%と最も高く、次いで「その他の親族（親・きょうだいなど）」が76.8%、「隣近所の人、知人・友人」が58.3%、「保育士、幼稚園の先生」が32.6%、「職場の同僚」が27.0%、「保育所・保育園、幼稚園の保護者の仲間」が24.8%などとなっています。「その他」として「昔からの友人」「遠方の友人」「インターネット・SNS」などの記載がありました。

2013年の調査結果との比較では、「職場の同僚」「保育士、幼稚園の先生」「子育て支援センター」などが上昇しています。

図表 1-100 子育てに関する悩みや不安の相談相手（過去の調査結果との比較／複数回答）



図表 1-101 子育てに関する悩みや不安の相談相手（複数回答）

単位：nは人、他は%

区 分	年 齢							母親の就労状況			
	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	フル タイム	パ ー ト 等	産 休 ・ 育 休 等	非 就 労
n	248	412	394	387	439	470	479	617	801	360	1,075
配偶者・パートナー	92.3	88.3	86.5	88.4	86.8	84.0	85.8	81.0	86.5	93.1	88.9
その他の親族（親、きょうだいなど）	84.3	78.2	79.4	76.0	73.8	73.8	76.2	76.8	76.2	82.2	75.6
隣近所の人、地域の知人・友人	52.0	57.0	55.1	58.4	58.3	60.6	62.4	46.0	62.5	56.7	63.0
職場の同僚	18.1	18.7	26.6	25.3	29.6	31.1	34.2	50.9	38.3	32.5	3.5
職場の相談窓口・産業医	-	0.2	0.5	0.3	0.7	0.2	0.2	0.3	0.4	0.3	0.3
保育所・保育園、幼稚園の保護者の仲間	5.2	12.1	14.0	22.2	31.2	39.8	35.5	24.8	32.6	13.1	23.0
子育てサークルの仲間	5.6	8.3	4.8	5.4	5.7	3.0	3.5	1.8	3.9	8.1	7.0
子育てサポーター	0.4	0.7	0.3	0.3	0.5	0.4	0.2	0.6	0.2	0.6	0.3
保育士、幼稚園の先生	9.7	15.0	28.2	34.9	41.5	41.5	43.4	44.9	41.8	16.9	23.9
かかりつけ医	18.1	18.2	15.0	13.4	13.9	10.4	10.9	13.8	12.1	15.0	14.8
子ども総合相談センター	0.8	1.9	1.0	2.3	5.2	5.3	4.8	2.9	3.6	1.1	4.1
子育て支援センター	19.8	31.1	28.2	16.5	10.7	7.7	5.2	5.7	7.5	32.2	23.3
福祉なんでも相談センター	-	0.2	0.5	0.3	-	0.4	-	0.2	0.2	-	0.3
子育てサロン等	0.8	1.7	1.8	1.8	0.9	0.4	0.2	0.6	0.5	1.7	1.5
民生委員・児童委員、主任児童委員	0.4	1.0	0.8	0.5	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.8	0.7
中央保健センター	6.5	9.5	9.9	5.4	3.4	5.5	4.2	3.9	4.9	7.2	8.4
保健所	0.4	1.2	1.0	0.5	-	-	-	0.3	0.4	0.6	0.5
児童相談所	-	-	0.3	-	0.9	0.6	0.6	0.5	0.1	-	0.7
NPOによる相談窓口	0.8	-	0.3	0.3	0.2	0.4	0.2	0.2	0.6	0.3	0.1
民間の電話相談	0.4	-	0.3	0.8	0.5	0.6	0.4	0.5	0.5	0.3	0.4
相談相手がいない	0.4	1.2	-	0.3	0.2	0.2	0.8	0.8	0.4	-	0.5
相談すべきことはない	0.8	-	-	0.3	-	0.2	0.6	0.5	0.2	0.3	0.2
その他	4.0	2.9	1.0	1.8	1.1	0.9	1.5	1.3	1.4	2.2	2.1
無回答	-	0.2	1.0	1.3	0.7	0.9	0.6	1.3	1.0	0.6	0.2

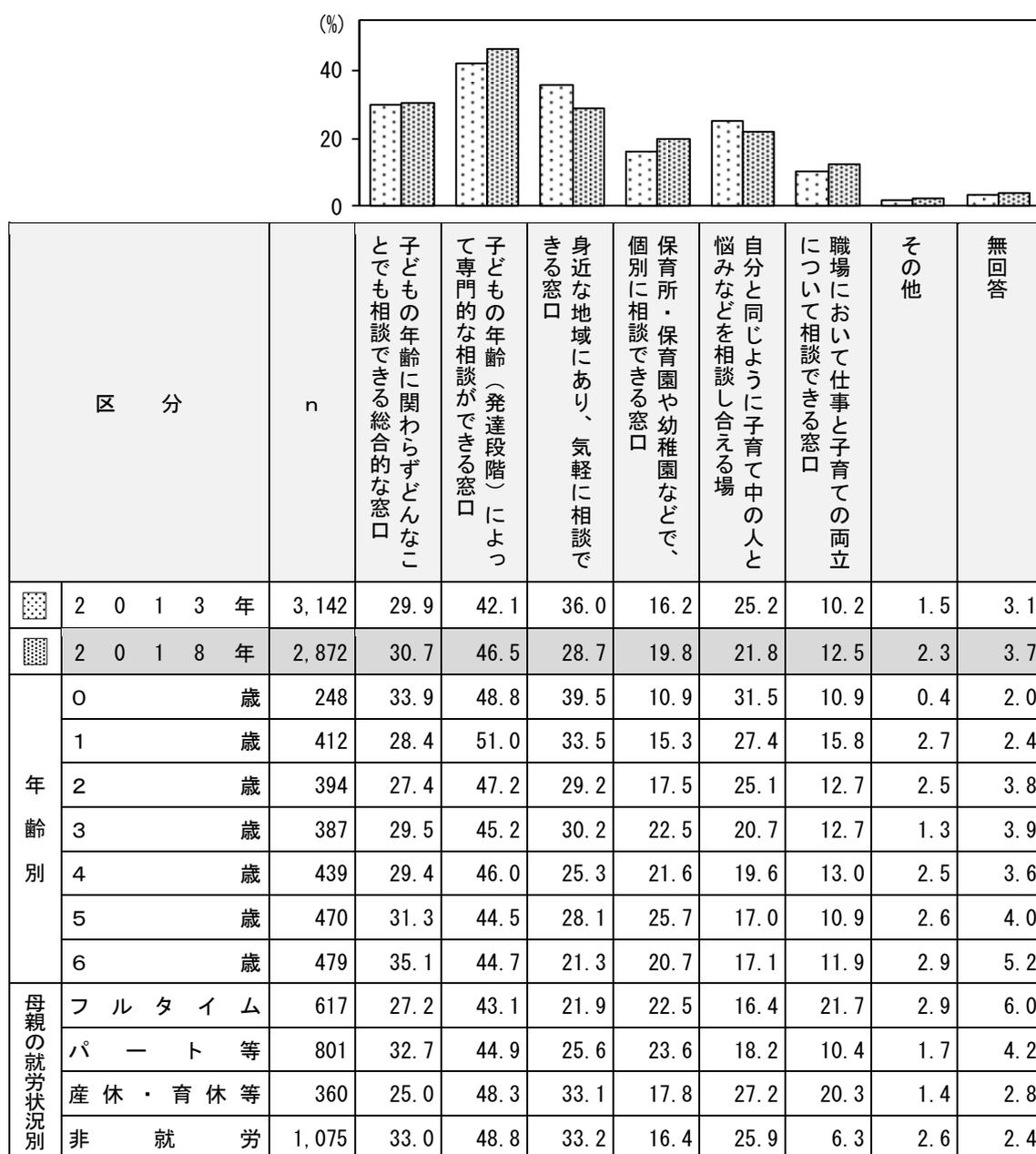
(2) 子育てに関する悩みや不安を解消するために求められる相談窓口 [Q43]

子育てに関する悩みや不安を解消するために求められる相談窓口としては、「子どもの年齢（発達段階）によって専門的な相談ができる窓口」が46.5%と最も高く、次いで「子どもの年齢に関わらずどんなことでも相談できる総合的な窓口」が30.7%、「身近な地域にあり、気軽に相談できる窓口」が28.7%などとなっています。

「その他」として、「インターネット・SNSでの対応窓口」「曜日・時間に関係なく利用できる相談窓口」「障害について気軽に相談できる窓口」「匿名で相談できる窓口」などの記載がありました。

図表 1-102 子育てに関する悩みや不安を解消するために求められる相談窓口（複数回答・2つまで）

単位：nは人、他は%



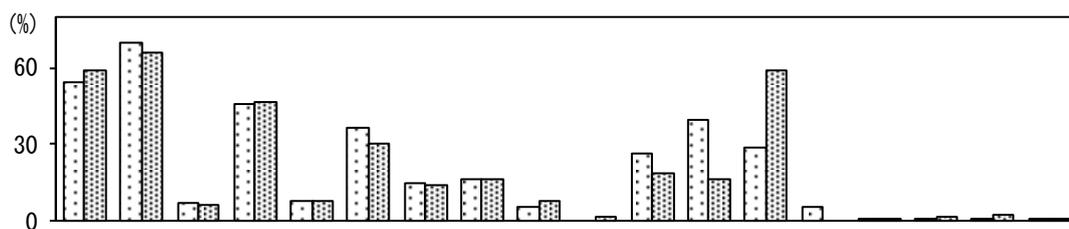
(3) 子育て情報の入手方法 [Q44]

子育てに関する情報の入手方法としては、「隣近所の人、知人・友人」が65.7%と最も高く、次いで「親族（親、きょうだいなど）」が59.1%、「インターネット」が59.0%、「保育所・保育園、幼稚園」が46.4%などとなっています。

2013年の調査結果との比較では、「インターネット」が大幅に上昇しています。

子どもの年齢別にみると、年齢が低くなるにしたがい「親族（親、きょうだいなど）」が高くなる傾向にあります。

図表 1-103 子育て情報の入手方法（複数回答）



区分	n	親族（親、きょうだいなど）	隣近所の人、知人・友人	子育てサークルの仲間	保育所・保育園、幼稚園	市役所や市の機関	市の広報やパンフレット	市のくわな子育てガイドブック	市の子育て情報誌「すくすくだより」	市の子育て支援情報のメールマガジン	市の子育て情報提供アプリ「マチカゴ」	テレビ、ラジオ、新聞	子育て雑誌・育児書	インターネット	携帯サイト	情報の入手先がない	情報の入手手段がわからない	その他	無回答	
2013年	3,142	54.2	70.1	7.0	45.6	8.1	36.2	14.6	16.3	5.5	-	20.1	20.9	36.7	13.8	0.4	1.6	0.7	1.2	
2018年	2,872	59.1	65.7	6.4	46.4	7.9	30.4	13.8	16.4	7.7	2.1	18.8	16.6	59.0	-	0.7	1.7	2.3	0.9	
子どもの年齢	0 歳	248	70.6	58.5	8.5	12.1	11.3	28.6	18.1	23.0	8.5	8.9	15.3	23.4	71.4	-	0.4	1.2	2.4	-
	1 歳	412	63.1	62.4	10.2	22.6	11.7	26.7	17.2	26.2	12.6	4.1	18.0	22.6	65.3	-	-	1.5	3.2	1.0
	2 歳	394	60.7	61.2	6.6	37.3	8.9	27.9	19.8	27.2	12.7	2.8	19.8	17.5	57.9	-	0.3	2.5	1.5	1.3
	3 歳	387	58.1	63.6	6.5	49.4	4.9	33.1	13.2	17.6	7.8	1.0	18.6	16.5	62.3	-	0.8	2.3	2.8	0.8
	4 歳	439	57.2	68.3	7.1	55.8	7.3	29.8	12.3	13.4	6.2	0.5	15.9	15.5	52.6	-	1.6	1.8	2.7	0.5
	5 歳	470	55.7	67.4	3.8	64.7	8.3	34.3	11.3	8.5	5.3	0.2	22.8	13.8	56.4	-	0.9	1.7	2.1	0.6
	6 歳	479	55.3	72.7	3.3	63.5	5.0	31.5	8.8	5.8	2.3	0.6	19.8	12.3	54.9	-	0.6	1.0	1.7	1.9
母親の就労状況別	フルタイム	617	60.9	56.6	2.4	59.5	6.5	27.4	10.9	8.1	4.5	0.5	18.2	14.9	58.0	-	1.0	2.8	2.4	1.5
	パート等	801	56.7	72.7	4.6	58.9	6.5	31.3	11.1	8.4	4.9	0.6	18.2	12.5	55.6	-	0.9	1.6	2.0	1.4
	産休・育休等	360	66.4	61.9	10.3	23.9	9.4	34.2	21.4	30.8	13.3	6.7	20.6	23.3	66.4	-	1.1	0.8	3.3	0.6
	非就労	1,075	57.6	67.5	8.7	37.2	9.2	30.0	15.0	22.2	9.6	2.7	19.1	18.6	60.1	-	0.2	1.4	2.2	0.4

11 子育てに対して感じていること

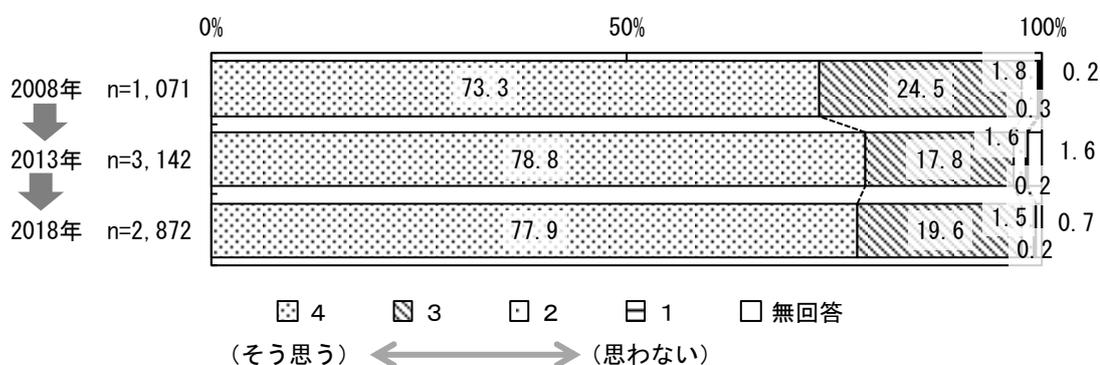
(1) 子育てに対して感じていること [Q46]

子育てに関する7つの項目について、「そう思う」を4点、「思わない」を1点とした場合、最もあてはまる点数をつけてもらった結果、①～③の項目について「そう思う」（4点）が70%を超えており、子どもの存在が自分の人生や生活に対してプラスに働いていると感じている人が多いことがわかります。

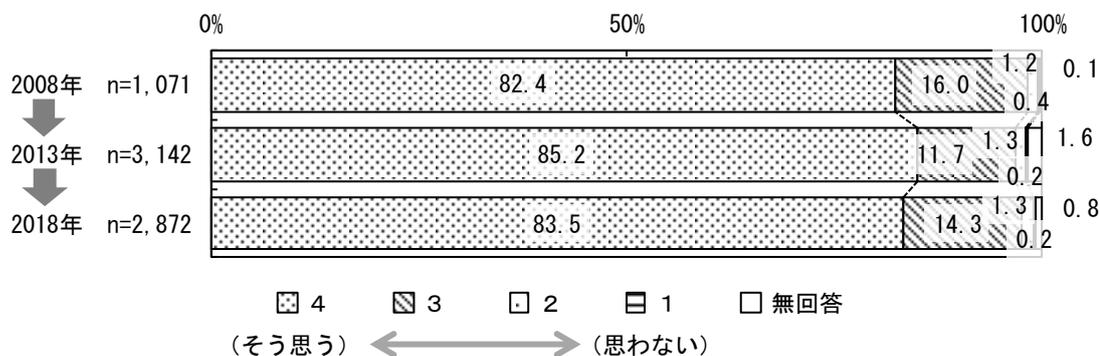
しかし、過去の調査結果との比較では、④～⑥のマイナス面の項目について「そう思う」が回を追うごとに上昇しています。

図表 1-105 子育てに対して感じていること（過去の調査結果との比較）

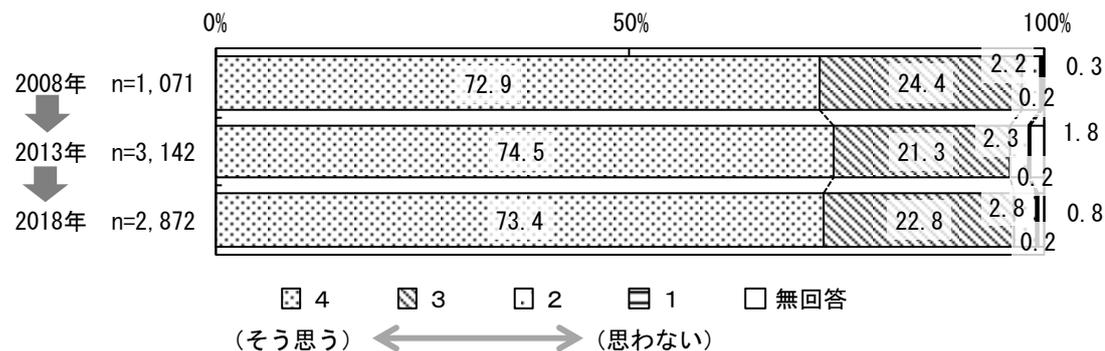
①子どもがいると生活が楽しく豊かになる



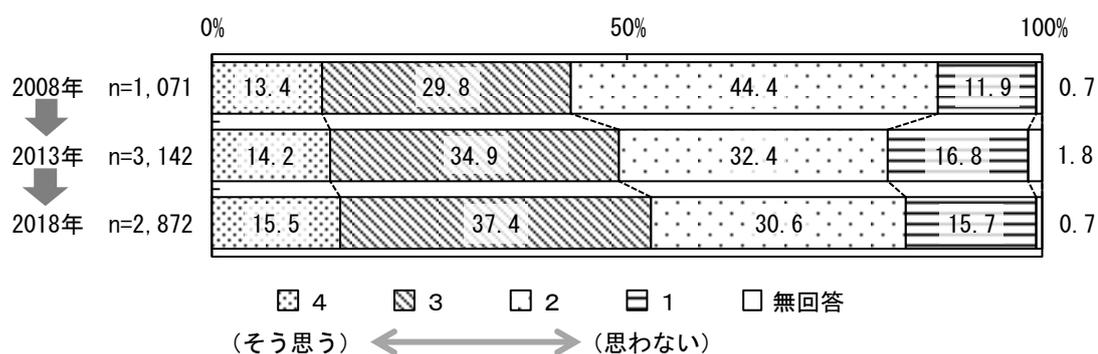
②子育てを通じて自分も成長すると思う



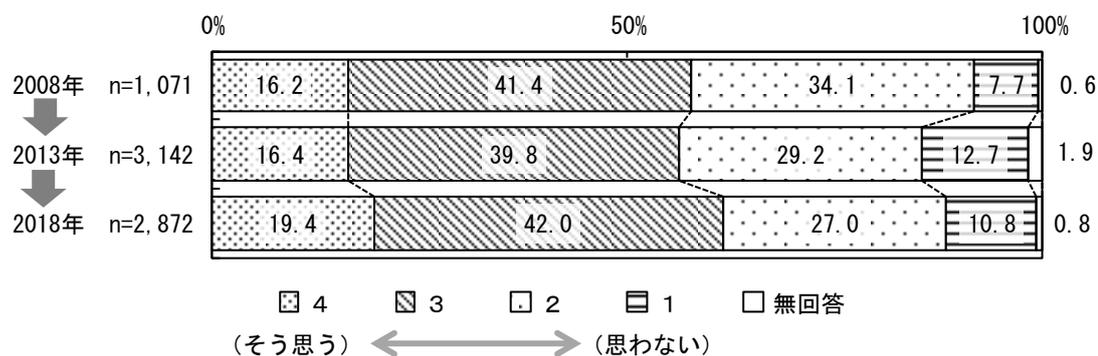
③子どもは心のやすらぎや生きがいを与えてくれると思う



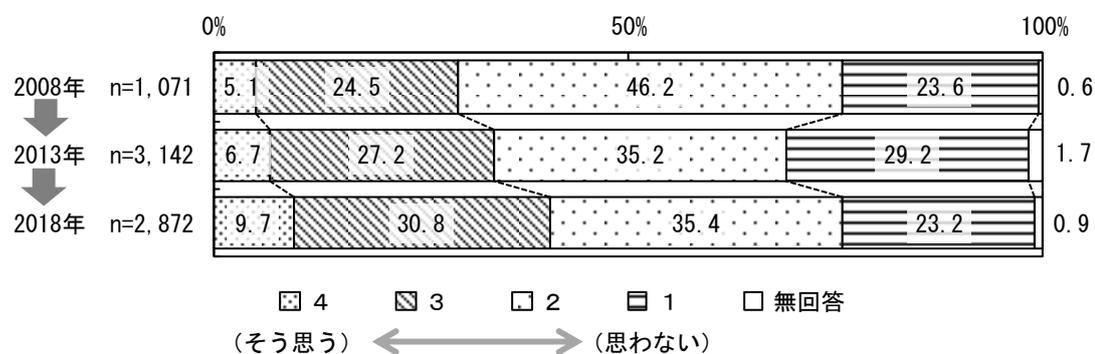
④子育てに対して不安を感じている



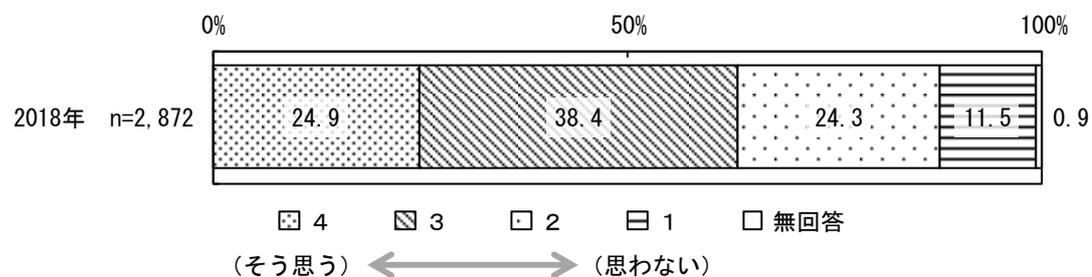
⑤仕事や自分のやりたいことができない



⑥子どもがいると生活や気持ちにゆとりがなくなる



⑦子どもに強く当たったり、強い口調で言ってしまう



(2) 子育てする上での不安や悩み [Q47]

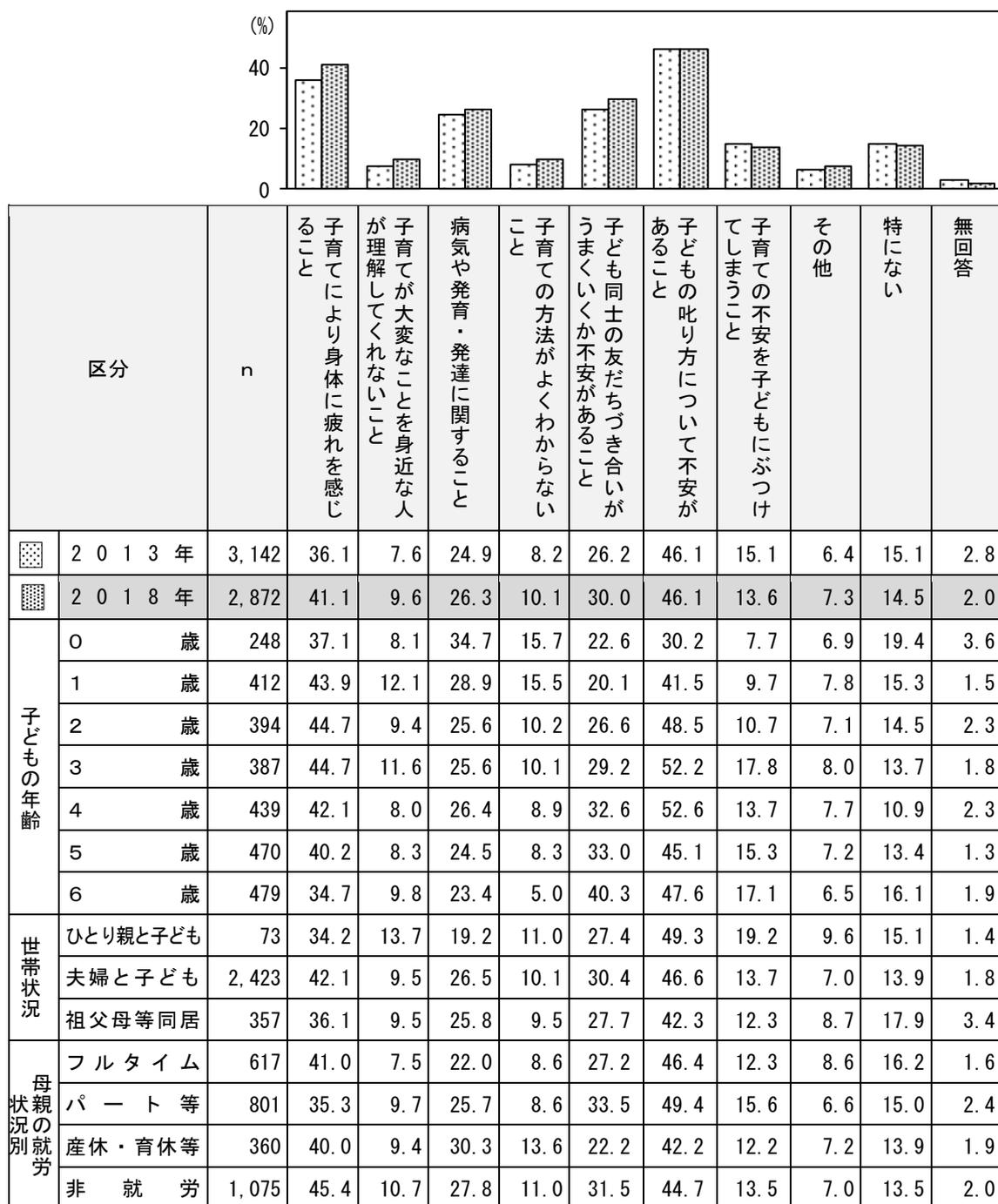
子育てをする上での不安や悩みについては、「子どもの叱り方について不安があること」が46.1%と最も高く、次いで「子育てにより身体に疲れを感じる事」が41.1%、「子ども同士の友だちづき合いがうまくいか不安があること」が30.0%などとなっています。

2013年の調査結果との比較では、「子育てにより身体に疲れを感じる事」が5ポイント上昇しています。

「その他」として、「教育費など経済的な不安」「仕事と子育ての両立」「子どもの将来」「親同士の付き合い」「父親の育児参加」「子どもの発達」などが記載されていました。

図表 1-106 子育てする上での不安や悩み（複数回答）

単位：nは人、他は%



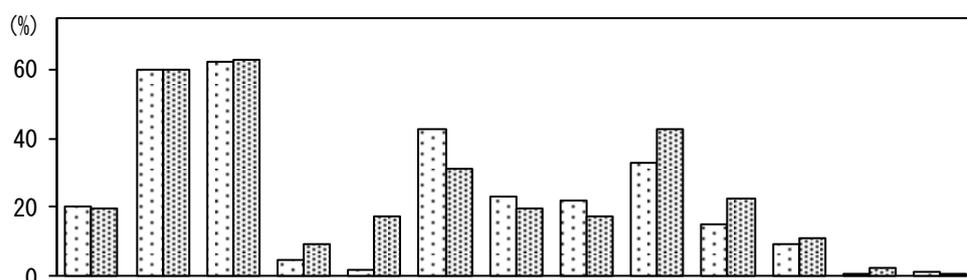
(3) 子どもを育てる環境として重要だと思うこと [Q48]

子ども育てる環境として重要だと思うことについては、「治安がよく安全に生活できるまち」が62.8%と最も高く、次いで「自由にのびのび遊べる場所」が59.7%、「充実した学校や教育施設」が42.5%、「地域医療の充実」が30.9%などとなっています。

2013年の調査結果との比較では、「地域医療の充実」が低下した反面、「充実した学校や教育施設」や「充実した保育施設や放課後児童クラブ」などが上昇しています。

「その他」として「経済的な支援」「公園・広場の充実」「子育て中の人がりフレッシュできる場」などの記載がありました。

図表 1-107 子どもを育てる環境として重要だと思うこと（複数回答・3つまで）単位：nは人、他は%



区分	n	豊かな自然	自由にのびのび遊べる場所	治安がよく安全に生活できるまち	利便性のある居住環境	居心地のよい住宅	地域医療の充実	同年代の子どもの多いまち	地域の人達とのつながり	充実した学校や教育施設	充実した保育施設や放課後児童クラブ	児童館など充実した公共施設	その他	無回答	
2013年	3,142	20.0	60.0	62.1	4.7	2.0	42.9	23.0	21.9	32.8	15.1	9.5	0.8	1.3	
2018年	2,872	19.7	59.7	62.8	9.1	17.4	30.9	19.5	17.5	42.5	22.5	10.9	2.4	0.9	
子どもの年齢	0歳	248	21.0	62.9	65.7	9.7	24.6	26.2	16.5	17.3	36.3	18.1	8.5	1.6	2.4
	1歳	412	17.2	61.7	63.1	11.2	18.0	31.1	21.1	15.8	34.0	20.6	12.6	1.7	0.7
	2歳	394	21.8	64.0	60.2	11.7	16.2	29.9	19.8	15.5	39.3	22.1	11.2	1.5	1.5
	3歳	387	19.9	56.8	60.7	8.8	16.3	32.6	18.3	19.6	37.5	23.5	11.1	4.9	0.8
	4歳	439	18.0	60.1	64.5	9.1	16.9	33.7	18.5	18.7	44.4	23.0	10.7	2.7	0.5
	5歳	470	21.3	54.9	61.9	7.7	17.4	33.0	20.6	19.1	48.3	23.6	11.1	2.1	0.6
	6歳	479	18.6	59.9	64.3	6.5	15.2	28.2	20.0	16.1	51.8	25.1	10.0	2.1	0.8
母親の就業状況	フルタイム	617	18.0	54.9	60.6	9.9	14.4	30.1	19.1	15.9	43.6	42.0	9.6	2.6	0.8
	パート等	801	20.8	59.3	60.8	7.7	15.6	31.3	19.0	18.5	42.4	20.1	10.5	2.6	1.5
	産休・育休等	360	21.7	58.6	60.0	10.0	20.6	28.3	17.5	19.2	36.4	29.4	10.0	1.4	1.4
	非就労	1,075	19.1	63.3	66.7	9.5	19.5	31.8	20.8	17.2	44.0	10.8	12.5	2.3	0.5

注：2013年の選択肢では「居心地のよい住宅」は「質のよい安価な住宅」

12 子育てと地域との関わり

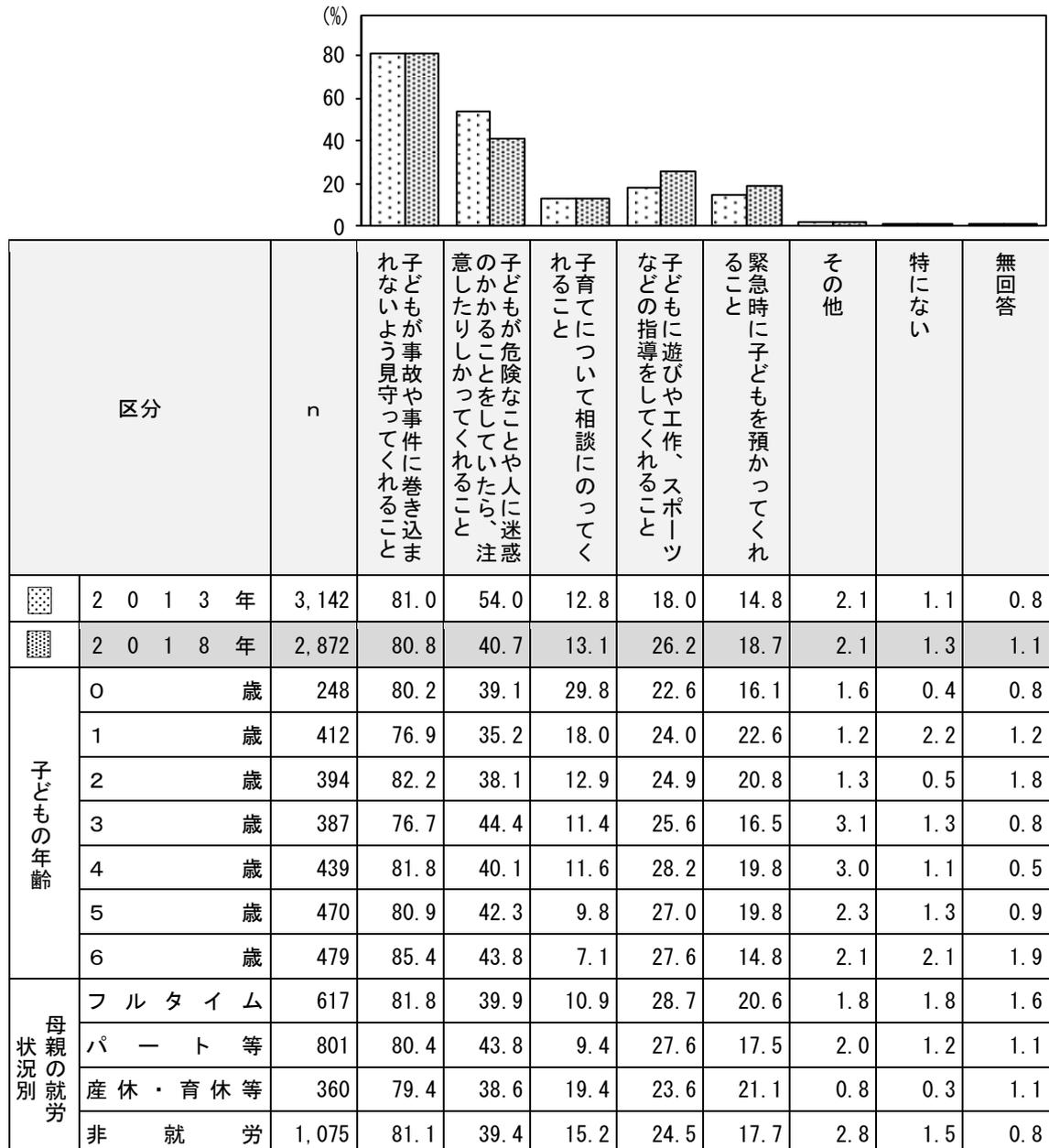
(1) 子育てに関して地域に望むこと [Q49]

子育てに関して地域に望むことについては、「子どもが事故や事件に巻き込まれないよう見守ってくれること」が80.8%と最も高く、次いで「子どもが危険なことや人に迷惑がかかることをしていたら、注意したりしかってくれること」が40.7%などとなっています。

2013年の調査結果との比較では、「子どもが危険なことや人に迷惑がかかることをしていたら、注意したりしかってくれること」が10ポイント以上低下しています。

「その他」として、「公園など遊ぶ場所の充実」「子どもを暖かく見守ってほしい」「救急医療・小児医療の充実」などの記載がありました。

図表 1-108 子育てに関して地域の望むこと（複数回答・2つまで）単位：nは人、他は%

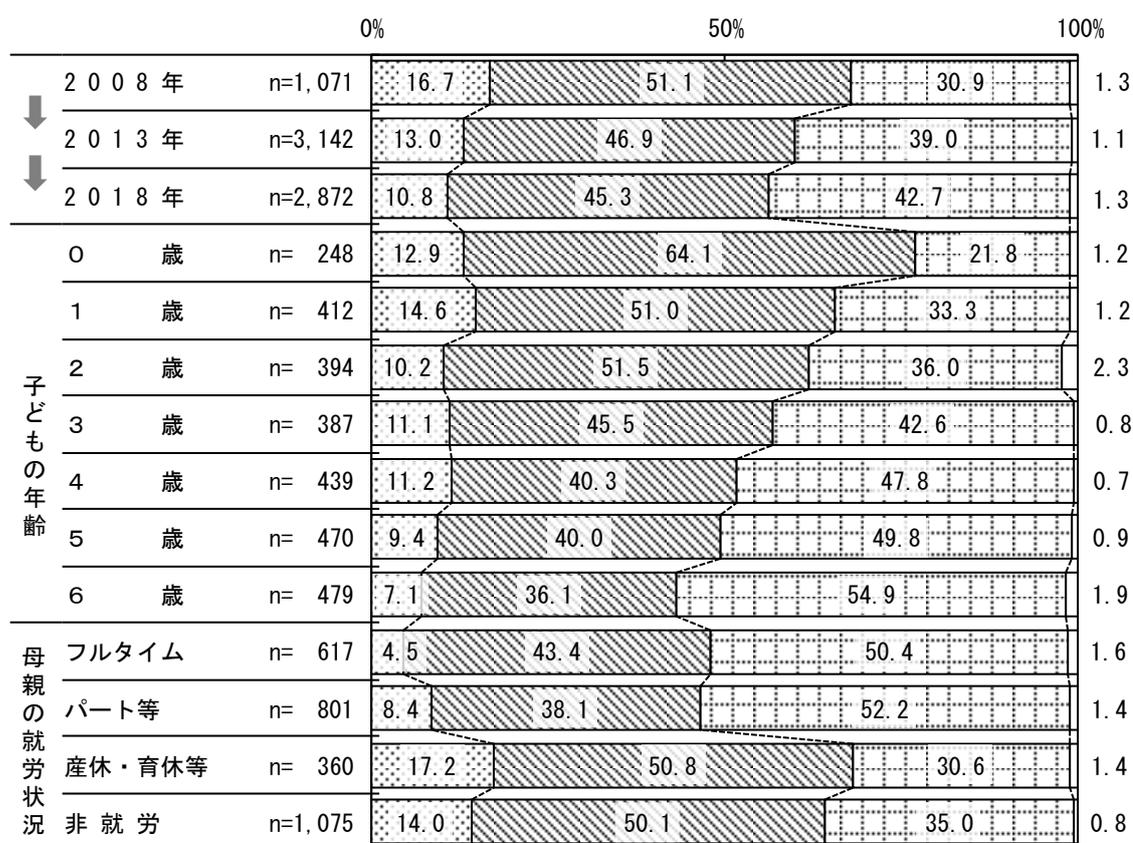


(2) 子育てサークルなど自主的な活動への参加 [Q50]

子育てサークルなど自主的な活動への参加については、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が45.3%と最も高くなっており、「現在参加している」の10.8%と合わせると、約55%に参加意向があるといえます。しかし、過去の調査結果との比較では、利用意向は低下しています。

子どもの年齢別にみると、年齢が低いほど参加意向が高くなっており、0歳では「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が64.1%となっています。

図表 1-109 子育てサークルなど自主的な活動への参加



- 現在参加している
- 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい
- 現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない
- 無回答

(4) 子育てサークルなど自主的な活動に必要な支援 [Q54]

子育てサークルなど自主的な活動を継続させるために必要と思う支援については、「活動する場の提供」が49.8%と最も高く、次いで「保育士や保健師など専門的な人材の派遣」が36.7%、「活動に必要な費用の補助」が33.1%、「活動に関する情報の提供」が30.5%などとなっています。

「その他」として、「新メンバーが入りやすい仕組みづくり」「自主的な活動なので支援は必要ない」などの記載がありました。

図表 1-110 子育てサークルなど自主的な活動に必要な支援（複数回答・2つまで）単位：nは人、他は%

